

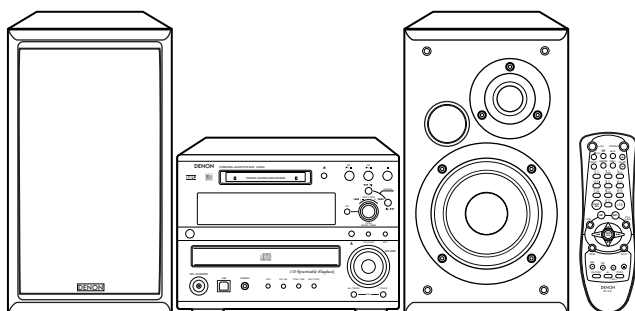
# DENON

## 取扱説明書

### D-MS3

PERSONAL AUDIO SYSTEM

パーソナル オーディオ システム



**安全にお使いいただくために—必ずお守りください。**

お買い上げいただき、ありがとうございます。  
 ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。  
 お読みになったら後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

## 目次

は じ め に	1 安全上のご注意	2~5
	2 取り扱い上のご注意	6
	3 付属品について	7
	4 保証とサービスについて	7
	5 本機の特長	8
	6 CDの取り扱いとご注意	9
	7 MDの取り扱いとご注意	10、11
	8 各部の名前	12~16
	9 リモコンについて	17
接続	10 接続のしかた	18~21
準 備	11 電源『ON』/『スタンバイ』について	21、22
	12 音量や音質を調整する	22、23
	13 セット機能について	24
	14 ECOモードの設定	25
	15 時計の合わせかた	26、27
	16 表示部の明るさを変える	28
	17 オートパワーオフの設定	29
基本 操 作	18 CDの再生のしかた【基本動作】	30~33
	19 MDの再生のしかた【基本動作】	33~36
	20 ラジオ放送を聞くとき	37~39
い ろ ろ い ろ な 操 作	21 CDやMDのいろいろな聞きかた	40~42
	22 録音をする前に	42~47
	23 録音レベルを調節する	48、49
	24 CDからMDへ録音する	50
	25 CDのすべての曲を録音する (オールトラックシンクロ録音)	51
	26 CDの任意の1曲を録音する (1トラックシンクロ録音)	52
	27 曲の途中でその曲の始めから録音する	53~56
	28 プログラム録音	57
	29 録音状態を確かめる	58
	30 ラジオ放送をMDへ録音する	59
	31 MDグループ機能について	60
	32 グループを作る	61~64
	33 グループを再生する	65~67
	34 MDの編集のしかた	68~87
	35 他の機器と接続して使う	88~90
	36 パソコンと接続して使う	91~93
	37 タイマーの使いかた	94~101
そ の 他	38 MDの規格上の制約について	101
	39 故障かな?と思ったら	102、103
	40 メッセージについて	104、105
	41 主な仕様	106
	42 著作権についてのご注意	107

# 1 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

絵表示について この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

【絵表示の例】



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

## 警告

### 安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、  
電源プラグをすぐに抜く



電源プラグを  
コンセント  
から抜け

煙が出ている、変なおいがる、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

内部に異物を入れない



ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

水が入ったり、濡らしたりしないように



雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、  
改造したりしない



内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

# 安全上のご注意（つづき）

## ⚠ 警告 つづき

### 安全上お守りいただきたいこと

ご使用は正しい電源電圧で



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

ACアウトレットのご使用は  
表示供給電力内で



接続する装置の消費電力の合計が表示供給電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。  
また供給電力内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具・ヘアードライヤー・電磁調理器など）は接続しないでください。

雷が鳴り出したら



電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

乾電池は充電しない



電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は



まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

### 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない



火災・感電の原因となります。

水場での  
使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない



こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない



万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

# 安全上のご注意（つづき）

## ⚠ 注意

### 安全上お守りいただきたいこと

#### 電源コードを熱器具に近付けない



コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

#### 電源プラグを抜くときは



電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



#### 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

#### CD挿入口やMD挿入口に手を入れない



指を挟まれないように注意

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

#### レーザー光源をのぞき込まない



レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。

#### 電池を交換する場合は



極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

#### 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する



テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

#### ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

#### 長時間音が歪んだ状態で使わない



スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

### 置き場所について

#### 不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

#### 次のような場所には置かない



火災・感電の原因となることがあります。  
調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるようなところ  
湿気やほこりの多いところ  
直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど、高温になるところ

#### 壁や他の機器から少し離して設置する



壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

# 安全上のご注意（つづき）

## ⚠ 注意 つづき

### 取り扱いについて

#### 通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



仰向けや横倒し、逆さまにする  
押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む  
テーブルクロスをかけたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する

#### この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない



特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

#### 重いものをのせない



機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。

#### 移動させる場合は



まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となります。

### 使わないときは

#### 長時間の外出・旅行の場合は



安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

### お手入れについて

#### お手入れの際は



安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

#### 5年に一度は内部の掃除を



販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。

なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

## 2 取り扱い上のご注意

### 結露現象について

#### 結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

#### 結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。

結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。



#### 結露後の処置は

結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1~2時間で使用できるようになります。

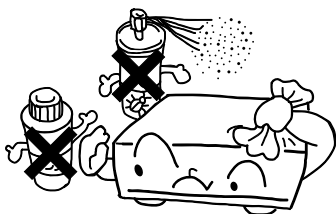
ディスクに露が付いている場合がありますので、きれいに拭き取ってください。

### お手入れについて

キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。



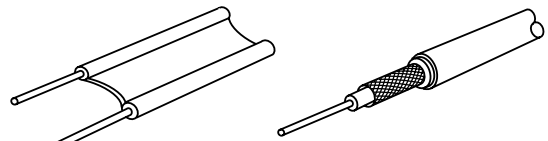
### 設置の際のご注意

本機やマイコンを搭載した電子機器をチューナーやテレビと同時に使用する場合、チューナー・テレビの音声や映像に雑音や画面の乱れが生じることがあります。このような場合には次の点に注意してください。

本機をチューナーやテレビからできるだけ離してください。

チューナーやテレビのアンテナ線を本機の電源コードおよび入出力などの接続コードから離して設置してください。

特に室内アンテナや300 フィーダー線をご使用の場合に起こりやすいので、屋外アンテナおよび75 同軸ケーブルのご使用をおすすめします。



300 フィーダー線 75 同軸ケーブル

### 携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音（ノイズ）が入ることがあります。携帯電話は本機から離れた位置でお使いください。

### 使わないときは

#### ふだん使わないとき

電源を切ってください。

外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

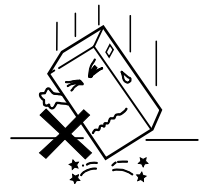


#### 移動させるとき

衝撃を与えないでください。

MDやCDを取り出し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、他のオーディオ機器との接続コードなどを外したことを確認してから移動させてください。

ディスクを装着したまま移動させると、ディスクが本機の内部に脱落して故障の原因になることがあります。

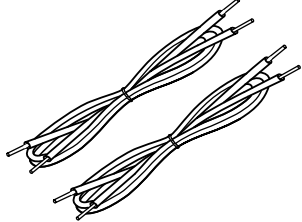
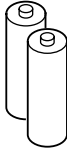


### ご注意

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

### 3 付属品について

本体とは別に下記の付属品がついています。ご使用前にご確認ください。

FM用アンテナ 	1本	AM用ループアンテナ 	1個	スピーカーコード 	2本
リモコン (RC-918) 	1個	単4形乾電池 	2本	取扱説明書 (本書) 製品のご相談と 修理・サービス窓口一覧表 保証書 (本体部の梱包箱に貼り付 けられています。)	1冊 1枚

スピーカーは別梱包になっています。

### 4 保証とサービスについて

- この商品には保証書が添付されております。保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。詳しくは、保証書をご覧ください。修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。
- 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

#### ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮 (おもいやり) を十分にいたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。

特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

## 5 本機の特長

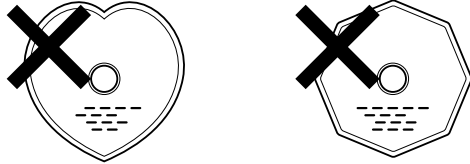
1. 外観品位の高さと高音質を徹底訴求  
アルミフロントパネルをベースに、ポリウムノブ、POWERボタンにもアルミキャップを使用し、アルミの高級感を創出。  
高音質設計のスピーカーをはじめとし、パワーアンプ回路も上位モデルと同一のものを採用するなど徹底した高音質設計を実施しています。
2. パソコン音源再生のためのUSB端子装備  
パソコンからのリニアPCM信号を、USB端子を介して本機で高音質再生が可能です。インターネットからパソコンにダウンロードした音楽データを楽しむときなどにお使いください。
3. CDからMDへ最大4倍速録音  
CDからMDへ最大4倍速録音機能を搭載しています。  
著作権保護のため、一度高速録音すると録音を開始した時点から74分間、同じ曲は高速で録音することはできません。
4. MDグループ管理機能搭載  
1枚のMDに録音された多数の曲を、任意のグループに分けて編集できる、MDグループ管理機能を搭載しています。グループ分けした曲はグループ名を付けたり、グループでの編集が可能です。
5. CD-R/RWディスクの再生  
音楽用CDレコーダーで録音されたCD-R/RWの再生が可能です。但し、一部記録状態の悪いCD-R/RWは再生できない場合があります。
6. コピープロテクト済みのディスクもMDに録音可能（シンクロ録音時のみ）  
デジタル録音されたCD-R/RWなど、SCMSによりコピープロテクト記録済みのディスクであってもMDに録音が可能です。但し、この場合はアナログ録音になります。
7. 徹底した高音質設計を施したスピーカー  
ウーハーのコーン素材には、コンポスピーカーでも使用している高音質素材のグラスファイバーを採用しています。口径は12cmと余裕の大型設計。高域の伸び、きめの細かいクリアな音質と定評のある、ソフトドームツイーターとあいまってひとクラス上の高音質を再現します。  
本機のスピーカーは防磁設計です。



## 6 CDの取り扱いとご注意

### CDについて

本機では、右のマークが入ったCDをご使用ください。  
但し、ハート型や八角形など特殊形状のCDは再生できません。機器の故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。



### CDの持ちかた

CDを装着したり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

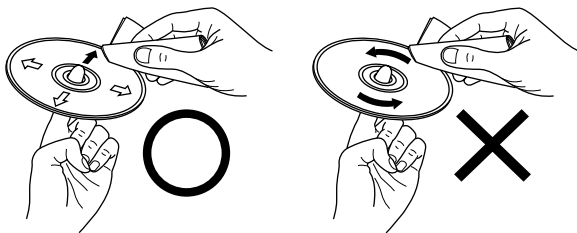
信号記録面（虹色に光っている面）には、指紋などを付けないようにしてください。



### CDのお手入れのしかた

CDに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。CDの信号には影響しませんが、音質が低下したり音が途切れることがあります。

拭き取るときは、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽く拭く。円周に沿っては拭かない。

### ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。



### 取り扱いについてのご注意

指紋、油、ゴミなどを付けないでください。表面に傷を付けないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。曲げたりしないでください。熱を加えないでください。中心の穴を大きくしないでください。レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと表面に水滴が付くことがあります。ヘアードライヤーなどで乾かさないうでください。

### 保存についてのご注意

再生後は必ずCDを取り出してください。ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。

次のような場所には置かないでください。

1. 直射日光が長時間当たるところ
2. 湿気、ほこりなどが多いところ
3. 暖房器具などの熱が当たるところ

### CDを装着する際のご注意

CDは1枚だけ装着してください。2枚以上重ねて装着しますと故障の原因になり、CDを傷付けることにもなります。

8cm CDは、確実にディスクガイド（凹部）に合わせて装着してください。正しく装着しないとCDが脱落し、ディスクホルダーが開かなくなる場合があります。

ディスクホルダーが引き込まれるときに、指を挟まないように注意してください。

CD以外のものをディスクトレイに載せないでください。

ひび割れ、変形または接着剤などで補修したCDは使用しないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものは使用しないでください。そのまま使用しますと、CDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

# 7 MDの取り扱いとご注意

MDには、再生専用MDと再生/録音用MDがあります。

本機で再生/録音できるMDは右のマークがついているものです。

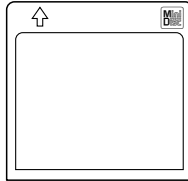


## 再生専用MD

再生のみが可能なMDで、市販のミュージックMDソフトはこのタイプです。

再生専用MDは、CDと同じ光ディスクです。

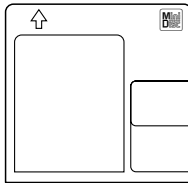
曲の編集などはおこなえません。



## 再生/録音用MD

再生/録音が可能なMDで光磁気ディスクを使用しており、磁界変調方式で録音をおこないます。

書き替えも可能です。



## 取り扱いについてのご注意

MDはカートリッジの中にディスクが収納されているため、汚れや傷を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。しかしカートリッジの汚れやソリなどが誤動作の原因になることもあります。

次のことに注意してください。

ディスク面に直接触れないでください。

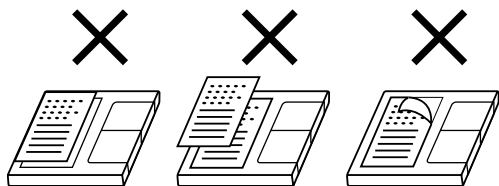
シャッターを手で開けないでください。

ほこりやチリ、湿気の多いところには置かないでください。

直射日光が当たるところなど温度の高いところには置かないでください。

カートリッジにラベルを貼り付けるときは、必ず次のことをお守りください。

正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。



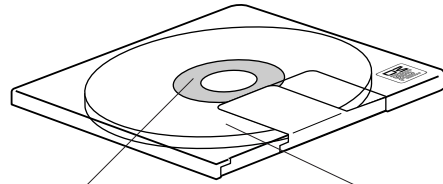
ラベルは指定の場所（エリア内）に正しく貼ってください。（指定エリア以外には貼り付けしないでください。）

ラベルを重ねて貼り付けしないでください。

ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り替えて使用してください。

## MDの書き込みについて

MDには曲や音声を録音する部分と、曲番や曲名などの情報を記録する部分があります。



曲番や曲名などを記録する部分(TOC)

曲や音声を録音する部分

トック  
TOCとは

MDには曲や音声とともに曲番、曲名や録音場所など曲を認識するための目次情報（TOC：Table of Contents）が記録されます。再生するときはこのTOCを手がかりにします。また、曲の編集はTOCを書き替えることによっておこなわれます。

このTOCは、編集の後にMD取り出しボタン(▲)を押してMDを排出する操作と、電源操作ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする操作をしたときにMDに書き込まれます。またTOCは録音が終わったときや録音を途中で止めるために停止ボタン(■)を押したときにもMDに書き込まれます。

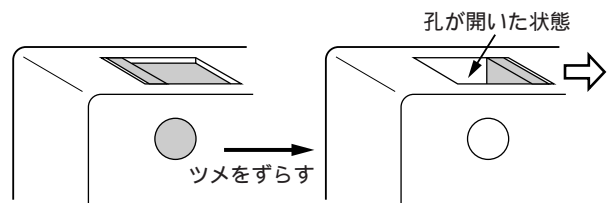
書き込みをはじめると、“TOC”表示が点滅します。このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。

## 誤録音/誤消去防止ツメについて

再生/録音用MDには誤録音や誤消去を防止するためのツメが付いています。

録音した内容を誤って消さないために、このツメをずらして孔を開けた状態にしてください。（下図参照）この状態にすることで録音や消去などの編集ができなくなり、録音内容を保護することができます。

再び録音や消去などの編集をおこなう場合は、ツメを元に戻して孔を閉じてください。



## お手入れについて

カートリッジの汚れやほこりなどは無理な力を加えないで、乾いた布で拭き取ってください。

# MDの取り扱いとご注意 (つづき)

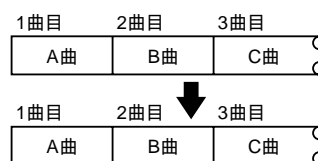
## 曲番について

MDに曲や音声を録音すると、自動的に曲番が付けられます。追加録音したときは順に曲番が上がります。

デジタル (CD、OPT) でMDに録音したとき

CDについている曲番と同じところに、1曲ごとの曲番が自動的に付きます。

CDからMDに録音したときにCDの曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。



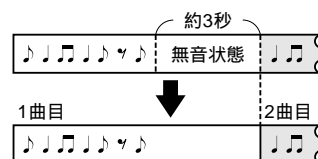
アナログ (TUNER、CD-R、TAPE) でMDに録音したとき

オートトラックインクリメント機能がオンのとき、約3秒以上の無音部分を曲間として、曲番が自動的に付きます。

信号に雑音があるときなど録音する内容によっては、正しい位置に曲番が付かないこともあります。

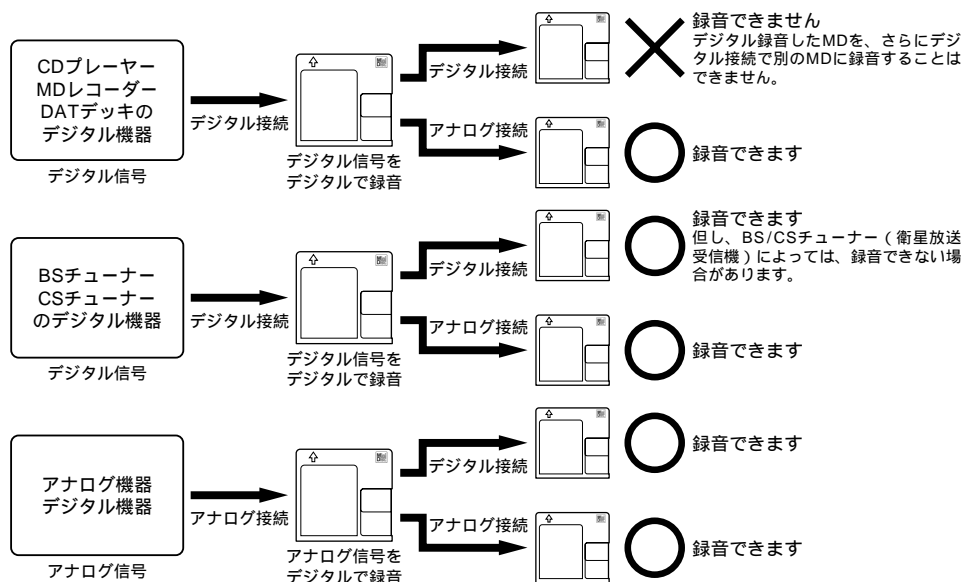
オートトラックインクリメント機能をオフにすることもできます。

(47ページ参照)



## デジタルコピーについて

デジタル入力でCDなどを録音したMDをさらに別のMDやDATなどにデジタル録音 (コピー) することはできません。これは、SCMS (シリアルコピーマネージメントシステム) により定められた規格です。

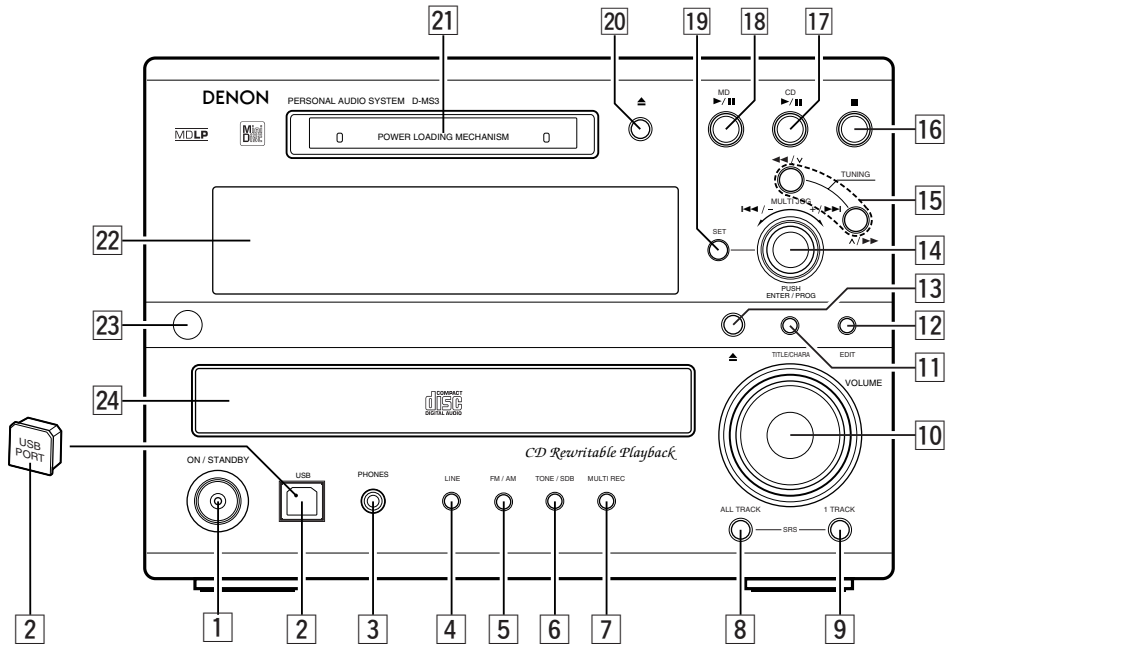


他の機器でデジタル信号をデジタル録音されたCD-R/RWは、本機ではアナログで録音することができます。(51、52ページ参照)

# 8 各部の名前

各部のはたらきなど詳しい説明については( )内のページを参照してください。

## (1) フロントパネル

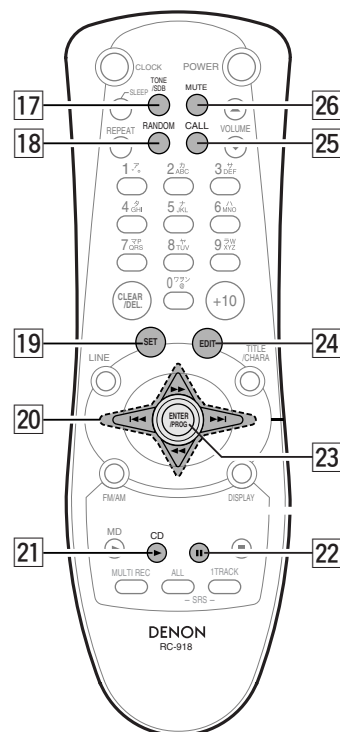
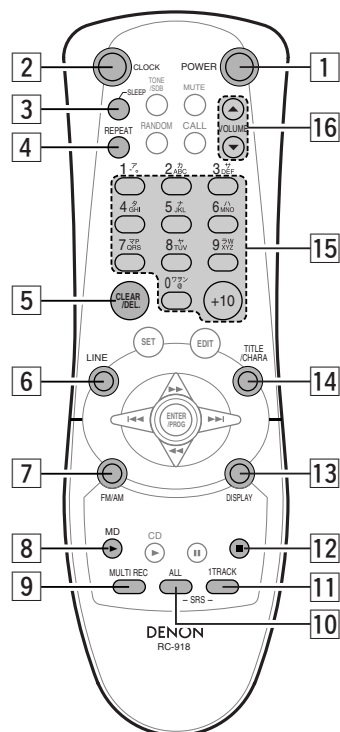


- |   |              |   |          |
|---|--------------|---|----------|
| 1 電源操作ボタン<br>(ON/STANDBY)                           | (21, 22)     | 【チューナーファンクション】<br>プリセットボタン ( -, + )         | (39)     |
| 2 USB端子 (USB)                                       | (88)         | 【CD/MDファンクション】<br>オートマチックサーチボタン<br>(◀◀, ▶▶) | (32, 36) |
| 2 : 防塵ゴムキャップ  | (91)         | 【各モード設定】<br>マルチジョグダイヤル                      | (24)     |
| 3 ヘッドホン端子 (PHONES)                                  | (21)         | 15【チューナーファンクション】<br>チューニングボタン (∨, ∧)        | (37)     |
| 4 ライン切り替えボタン (LINE)                                 | (46)         | 【CD/MDファンクション】<br>マニュアルサーチボタン<br>(◀◀, ▶▶)   | (32, 36) |
| 5 FM/AM切り替えボタン (FM/AM)                              | (37)         | 16 停止ボタン (■)                                | (31)     |
| 6 音質/重低音ボタン<br>(TONE/SDB)                           | (22, 23)     | 17 CD再生/一時停止ボタン<br>(CD ▶/  )                | (30)     |
| 7 MD録音ボタン<br>(MULTI REC)                            | (43, 50, 53) | 18 MD再生/一時停止ボタン<br>(MD ▶/  )                | (34)     |
| 8 シンクロ録音 (オールトラック)<br>ボタン (ALL TRACK)               | (51)         | 19 セットボタン (SET)                             | (24)     |
| 9 シンクロ録音 (任意の1トラック)<br>ボタン (1 TRACK)                | (52)         | 20 MD取り出しボタン (▲)                            | (34)     |
| 10 音量調節つまみ (VOLUME)                                 | (22, 23)     | 21 MD挿入口                                    | (34)     |
| 11 タイトル/キャラクターボタン<br>(TITLE/CHARA)                  | (34, 67, 70) | 22 ディスプレイ                                   | (14, 15) |
| 12 編集ボタン (EDIT)                                     | (61)         | 23 リモコン受光部                                  | (17)     |
| 13 CD開閉ボタン (▲)                                      | (30)         | 24 ディスクホルダー                                 | (30)     |
| 14 マルチジョグダイヤル<br>エンター/プログラムボタン<br>(PUSH ENTER/PROG) | (41)         |   |          |

# 各部の名前 (つづき)

## (2) リモコン

は、リモコンだけの操作ボタンです。



- |  |              |   |          |
|--|--------------|---|----------|
| 1 電源操作ボタン (POWER)                      | (21, 22)     | 16 音量調節ボタン (VOLUME ▲ ▼)                   | (22, 23) |
| 2 クロックボタン (CLOCK)                      | (26)         | 17 音質/重低音ボタン<br>(TONE/SDB)                | (22, 23) |
| 3 スリープボタン (SLEEP)                      | (100)        | 18 ランダムボタン (RANDOM)                       | (40)     |
| 4 リピートボタン (REPEAT)                     | (40)         | 19 セットボタン (SET)                           | (24)     |
| 5 クリアー/消去ボタン<br>(CLEAR/DEL.)           | (41, 71)     | 20【チューナーファンクション】<br>チューニングボタン (◀◀, ▶▶)    | (37)     |
| 6 ライン切り替えボタン (LINE)                    | (46)         | プリセットボタン (◀◀◀, ▶▶▶)                       | (39)     |
| 7 FM/AM切り替えボタン (FM/AM)                 | (37)         | 【CD/MDファンクション】<br>マニュアルサーチボタン<br>(◀◀, ▶▶) | (32, 36) |
| 8 MD再生ボタン (MD ▶)                       | (34)         | オートマチックサーチボタン<br>(◀◀◀, ▶▶▶)               | (32, 36) |
| 9 MD録音ボタン<br>(MULTI REC)               | (43, 50, 53) | 【各モード設定】<br>◀◀◀, ▶▶▶ボタン                   | (24)     |
| 10 シンクロ録音 (オールトラック)<br>ボタン (ALL TRACK) | (51)         | 21 CD再生ボタン (CD ▶)                         | (30)     |
| 11 シンクロ録音 (任意の1トラック)<br>ボタン (1 TRACK)  | (52)         | 22 一時停止ボタン (⏸)                            | (31, 34) |
| 12 停止ボタン (■)                           | (31)         | 23 エンター/プログラムボタン<br>(ENTER/PROG)          | (41)     |
| 13 ディスプレイボタン (DISPLAY)                 | (31)         | 24 編集ボタン (EDIT)                           | (61)     |
| 14 タイトル/キャラクターボタン<br>(TITLE/CHARA)     | (34, 67, 70) | 25 コールボタン (CALL)                          | (42)     |
| 15 文字入力/MD/CD/チューナー<br>ダイレクトボタン        | (33, 35, 39) | 26 ミュートボタン (MUTE)                         | (23)     |

# 各部の名前 (つづき)

## (3) ディスプレイ

ディスプレイの明るさは、3段階に調節できます。(28ページ参照)

CDやMDの再生時は“▶”表示が点灯し、一時停止時は“||”表示を点灯します。

CD/MDの有無、録音状態がマークと矢印により表示します。  
CD/MDの再生時にディスクマークが点滅します。

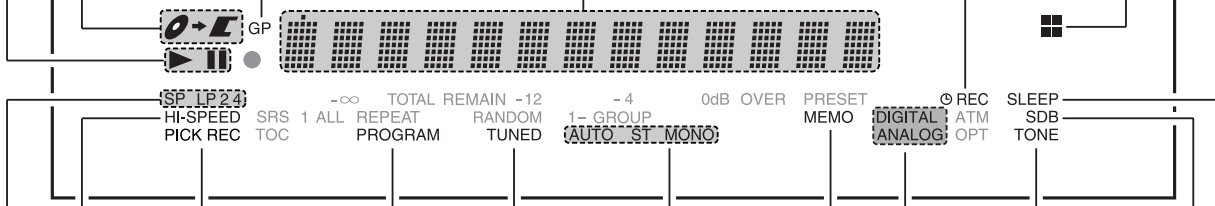
グループ登録されているMDを入れると点灯します。

受信バンド、受信周波数、時計およびタイマーの時刻を表示します。  
CDの曲数、曲番、再生時間、各種動作内容を表示します。  
MDの曲数、曲番、再生時間、タイトル、各種動作内容、メッセージなどを表示します。  
録音レベル調整モードのとき、レベルメーターとなります。

スリープ動作中に点灯します。

セットモード、エディットモードに入っているときに点滅します。

スタンバイ状態で点灯時、タイマー動作をします。



ピッキング中に点灯または点滅します。

高速録音のときに点灯します。

録音モードを点灯します。  
MD再生時は、再生しているMDの録音モードを表示します。

プログラム選曲時に点灯します。

正しく同調したときに点灯します。

FMステレオ受信モードの状態を表示します。

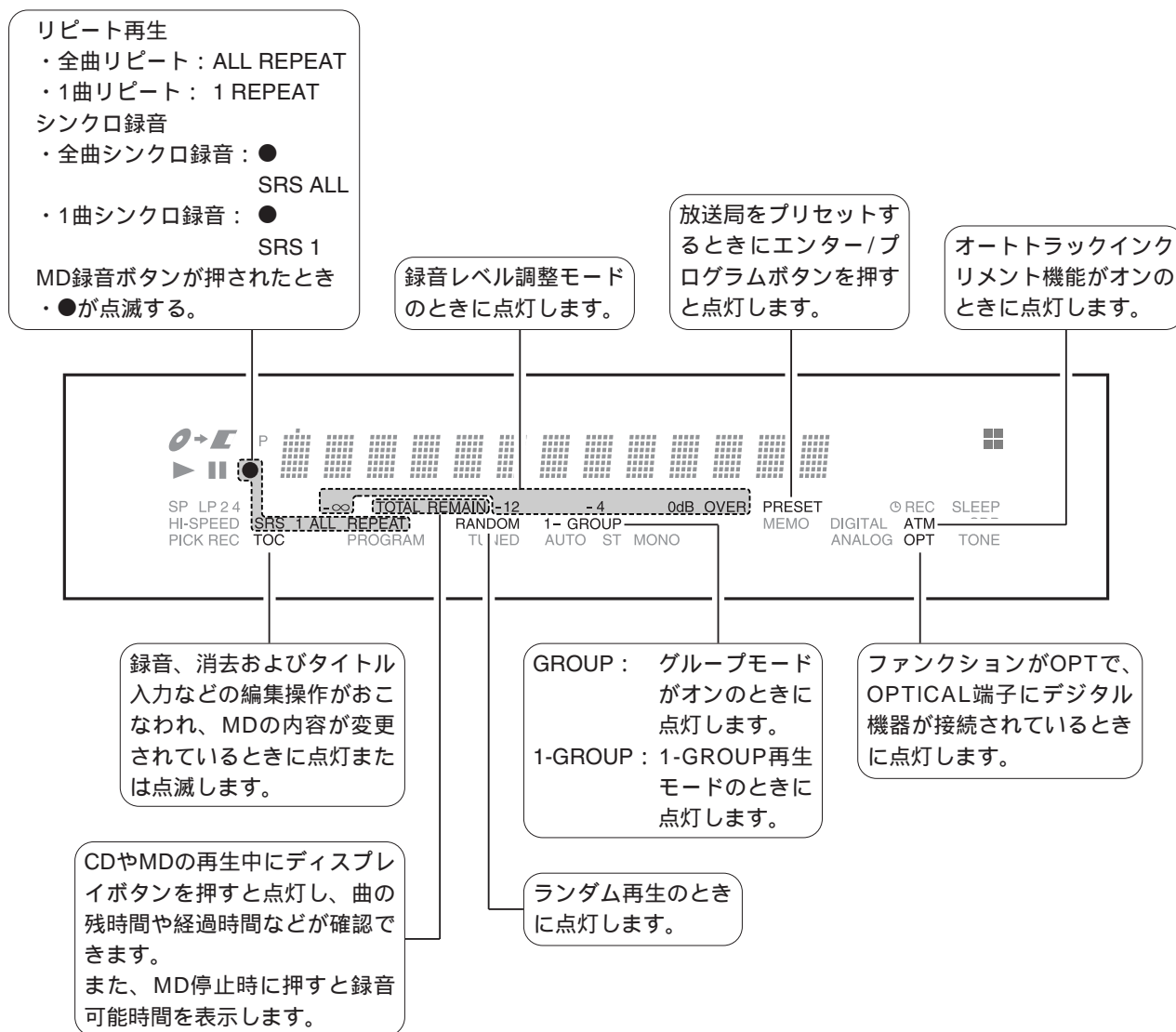
放送局をメモリーするときにエンター/プログラムボタンを押すと点灯します。

BASS、TREBLEレベルが調節されているときに点灯します。

SDBモードがオンのときに点灯します。

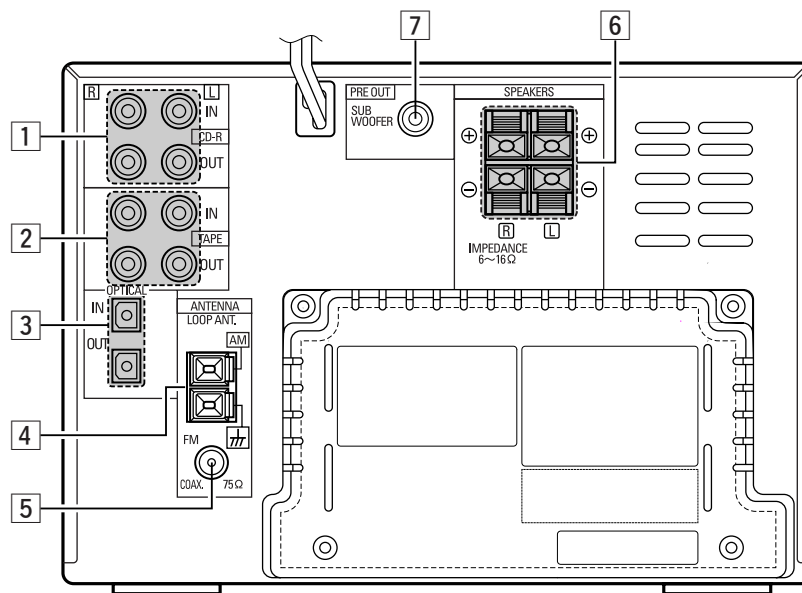
録音状態(DIGITAL/ANALOG)を表示します。

# 各部の名前 (つづき)



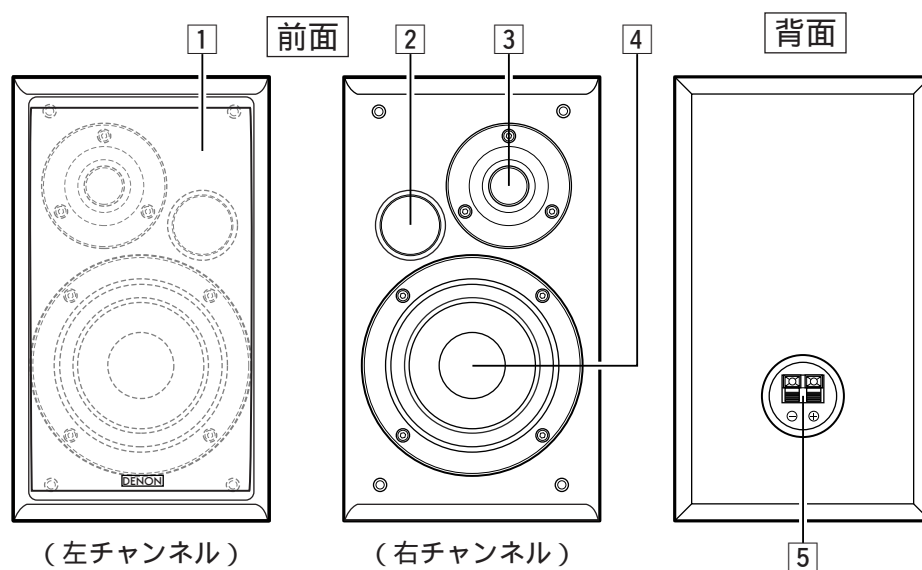
# 各部の名前 (つづき)

## (4) リアパネル



- |   |                        |          |   |                    |          |
|---|------------------------|----------|---|--------------------|----------|
| 1 | CDレコーダー入出力端子<br>(CD-R) | (88, 89) | 4 | AMアンテナ端子 (AM)      | (18, 19) |
| 2 | カセットデッキ入出力端子<br>(TAPE) | (88, 89) | 5 | FMアンテナ端子 (FM)      | (18, 19) |
| 3 | 光入出力端子 (OPTICAL)       | (88, 89) | 6 | スピーカー端子 (SPEAKERS) | (18, 20) |
|   |                        |          | 7 | プリアウト端子 (PRE OUT)  | (89)     |

## (5) スピーカー



- |   |                |   |           |
|---|----------------|---|-----------|
| 1 | スピーカーネット (着脱式) | 4 | ウーハー      |
| 2 | バスレフダクト        | 5 | スピーカー接続端子 |
| 3 | ツイーター          |   |           |

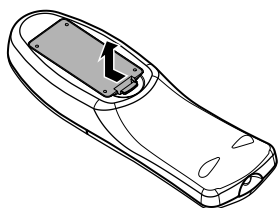


## 9 リモコンについて

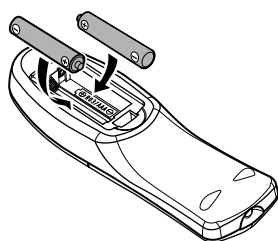
付属のリモコン (RC-918) を使用すると、離れたところから本機をコントロールすることができます。

### (1) 乾電池の入れかた

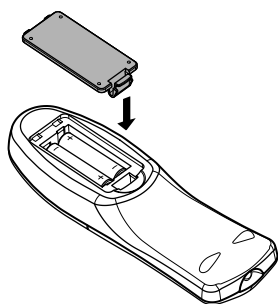
リモコンの裏ぶたを外してください。



単4形乾電池 (2本) をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。



裏ぶたを元通りにしてください。



#### 乾電池についてのご注意

リモコンには単4形乾電池をご使用ください。リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。1年経っていなくても、リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。(付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。)

乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに、⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。

破損・液漏れの恐れがありますので、

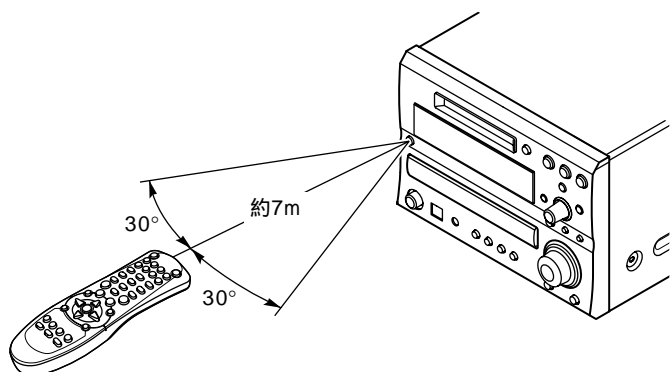
- ・新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・乾電池をショートさせたり、分解や加熱、または火に投入したりしないでください。
- リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

### (2) リモコンの使いかた

リモコンは、図のようにリモコン受光部に向けて使用してください。

直線距離では約7m離れたところまで使用できますが、障害物があったり、リモコン受光部に向いていませんと受信距離は短くなります。

リモコン受光部を基準にして左右30°までの範囲で操作できます。



#### ご注意

リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。

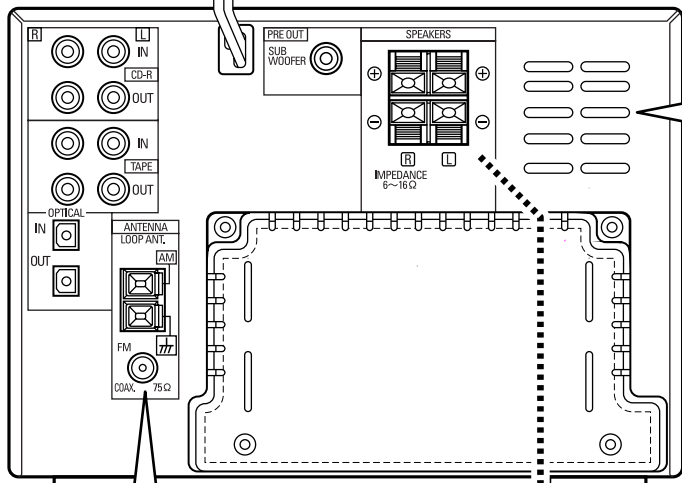
本機とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因になります。

# 10 接続のしかた

時計機能を内蔵しているため、本機の電源コードは常時通電されている壁の電源コンセントに接続してください。

電源コンセント  
AC100V 50/60Hz

【本機背面】

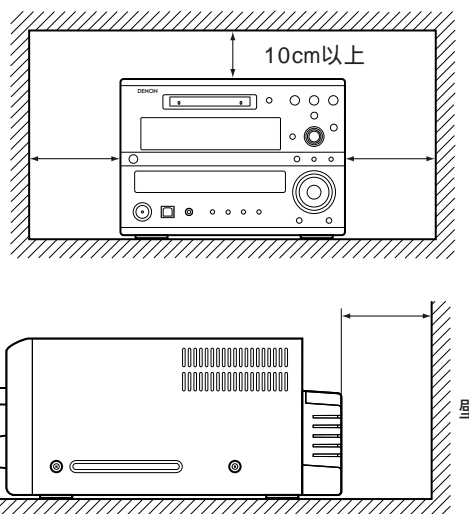


## ご注意

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。接続コードは確実に差し込んでください。不完全な接続は雑音発生の原因になります。

## 通風孔について

確実に放熱をするために、通風孔（背面、天面、側面、底面）をふさがないようにご注意ください。  
本機の背面と壁との間隔は十分（10cm以上）に確保してください。

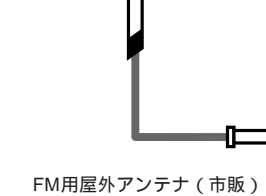


## アンテナ端子

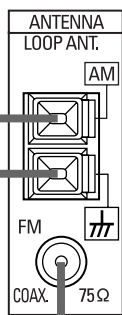
AM用ループアンテナ  
（付属）



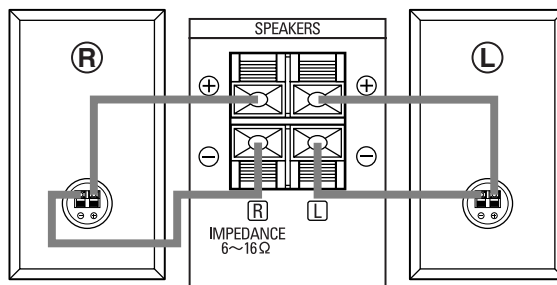
FM用屋内アンテナ  
（付属）



FM用屋外アンテナ（市販）



## スピーカー端子



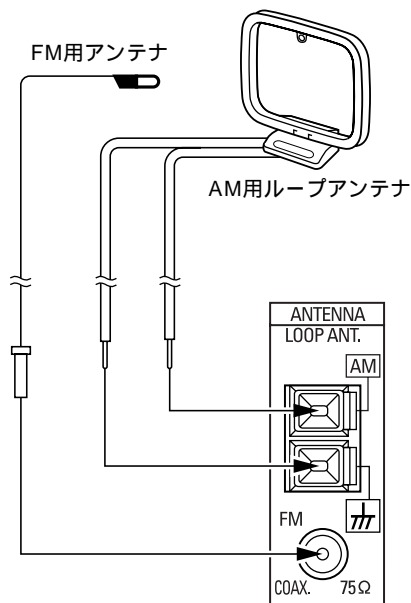
## スピーカーシステムの接続

左チャンネル（L側）のスピーカーシステムをL端子に、右チャンネル（R側）のスピーカーシステムをR端子に接続します。スピーカーは必ずインピーダンスが6以上のもを使用してください。（20ページ参照）

# 接続のしかた(つづき)

## FM用屋内アンテナの設置方法

FM放送を受信(37ページ参照)し、音を聞きながら歪みや雑音の最も少ない位置にアンテナの先端をテープや押しピンなどで固定してください。付属のFM用アンテナは電波が十分強い場所などでの一時的な受信のためのものです。良好な受信のためには、FM用屋外アンテナを使用した75 同軸ケーブルの接続をおすすめします。



## FM用屋外アンテナのつなぎかた

付属のFM用アンテナで放送がきれいに受信できないときはFM用屋外アンテナを使用し、同軸ケーブルに市販の変換アダプターをつないで、本機のFMアンテナ端子(FM COAX. 75 )に接続してください。

## 屋外アンテナを立てる場所について

放送局の受信アンテナがある方向に立てます。ビルや山のかげなどでは、最も良く受信できる場所に立てて方向を変えてください。送電線の下には立てないでください。送電線がアンテナに触れると大変危険です。自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路から離れたところへ立ててください。落雷の恐れがありますので、あまり高いところには立てないでください。

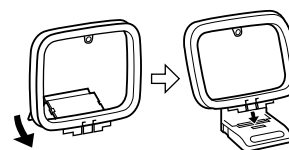
## AM用ループアンテナの設置方法

AM放送を受信(37ページ参照)し、音を聞きながら本機からできるだけ離して歪みや雑音の最も少ない位置に設置してください。接続の極性を逆にした方が良い場合もあります。

AM用ループアンテナを接続しなかったり、また接続しても金属部分に接近していると、AM放送を良好に受信することができません。

## AM用ループアンテナの組み立てかた

付属のAM用ループアンテナを図のように組み立てます。



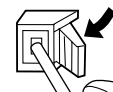
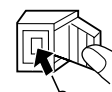
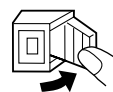
## AM用ループアンテナのつなぎかた

付属のAM用ループアンテナを図のようにアンテナターミナルに接続してください。

レバーを倒します。

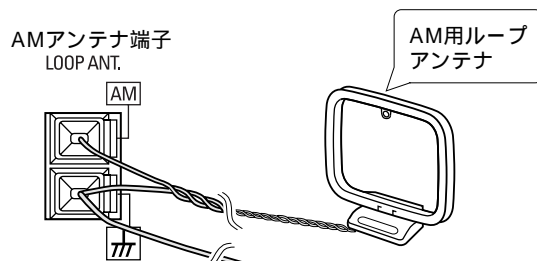
アンテナ線を差し込みます。

レバーを戻します。



## AM用屋外アンテナのつなぎかた

付属のAM用ループアンテナは取り外さないで、一緒に接続しておいてください。



窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。

ケーブル(電線): 約12m(市販)

# 接続のしかた(つづき)

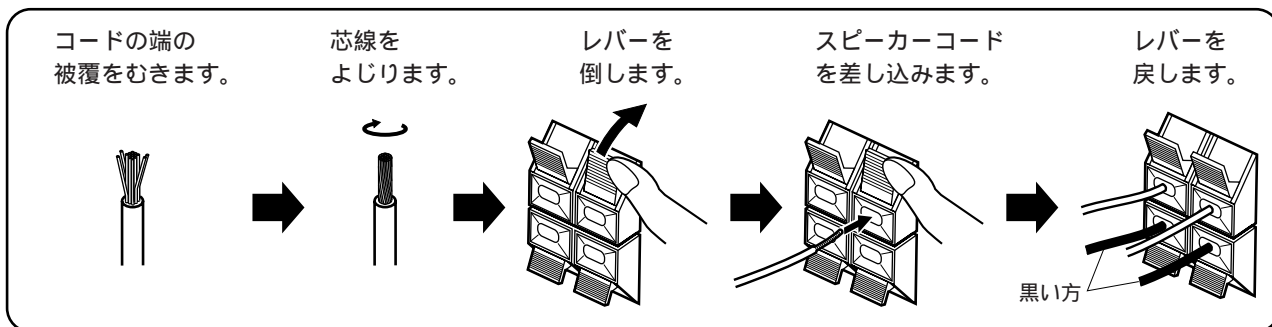
## スピーカーのつなぎかた

付属のスピーカーコードを使用して、本体とスピーカーを接続します。

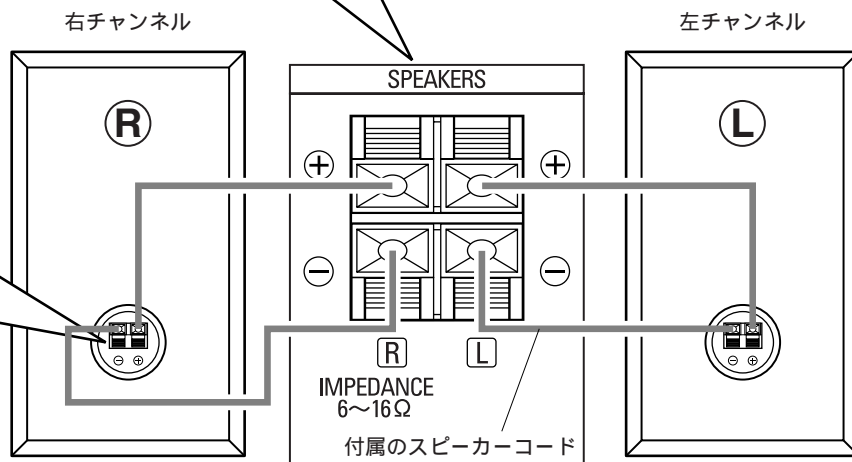
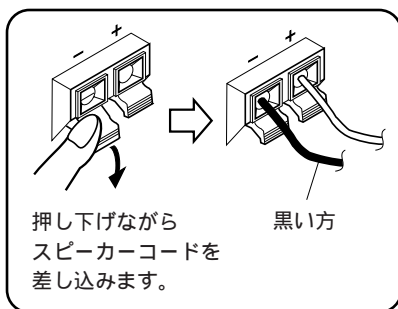
スピーカーを本体に接続する場合は、必ず電源コードを抜いてからおこなってください。

スピーカーは左右非対象です。左チャンネル(L側)のスピーカーをL端子に、右チャンネル(R側)のスピーカーをR端子に接続します。

スピーカーとコードのつなぎかた【赤端子が(+)、黒端子が(-)です。】



コードを軽く引いてみて、しっかり接続されているか確認してください。



### 使用上のご注意

スピーカー端子とスピーカーは必ず同じ極性(⊕と⊕、⊖と⊖)を接続してください。極性を間違えて接続しますと、中央の音が抜けたようになり、楽器の定位がはっきりせず、ステレオの方向感が損なわれます。

テープレコーダーの早送り信号や正弦波などの特定な信号を連続して再生することは、絶対に避けてください。

### 設置上のご注意

低音域が不自然に強調されたりする場合には、コンクリートブロックなどの固い台の上ののせるようにしてください。

スピーカーの背面や前面に壁やガラス戸などがある場合には、共振や反射を防止するために、厚手のカーテンなどを掛けるようにしてください。

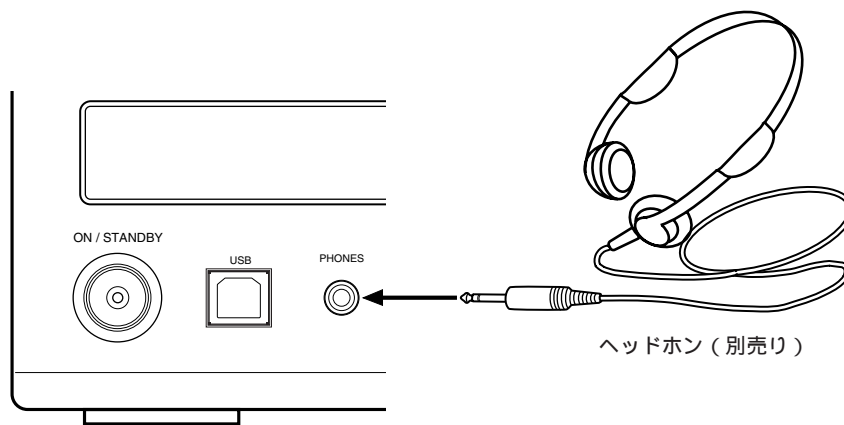
スピーカーには強力なマグネットがついていますので、テレビ・時計・磁気テープなどの近くには置かないでください。

スピーカーをレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置しますと、ハウリングを起こすことがありますのでご注意ください。

スピーカーを移動させる場合、サランネットに強く触れますと、スピーカーを破損させることがありますのでご注意ください。

# 接続のしかた(つづき)

## ヘッドホンで聞く



ヘッドホンのプラグをPHONES端子に差し込む。  
ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。  
スピーカーから音が出なくなります。

音量や音質の調整は、22、23ページを参照してください。

### ご注意

耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

## 11 電源『ON』/『スタンバイ』について

電源を『ON』にするには...

電源操作ボタンを押します。インジケーターが緑色になります。

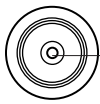
電源を『スタンバイ』にするには...

電源『ON』の状態から電源操作ボタンを押すと、スタンバイ状態になります。

スタンバイ状態には、『ECOモードON』と『ECOモードOFF』があります。(25ページ参照)

ECOモードがONのとき：電源をONにすることができるのは、電源操作ボタンだけです。

ON / STANDBY



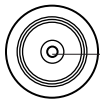
消灯



時間表示『無』

ECOモードがOFFのとき：電源操作ボタン以外でも電源をONにすることができます。(22ページ参照)

ON / STANDBY



点灯(赤色)

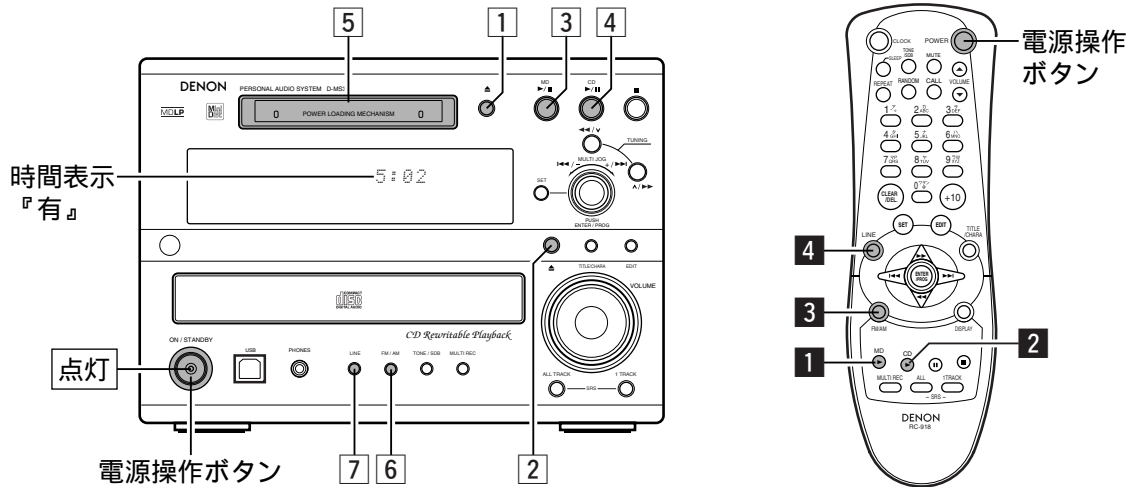


時間表示『有』

時間表示の明るさは、電源『ON』の明るさとなります。  
表示部の明るさを変えるには、28ページをご覧ください。

# 電源『ON』/『スタンバイ』について(つづき)

ECOモードが『OFF』で電源が『スタンバイ』のときに次の操作をすると、自動的に電源をONにします。



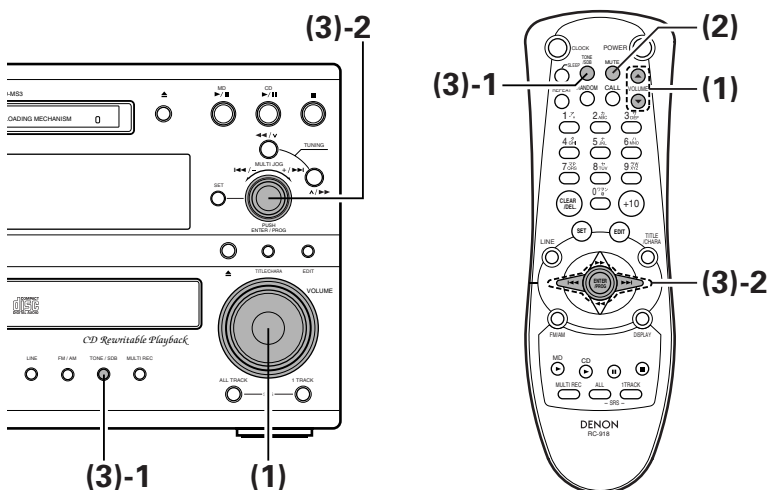
## 本体ボタンでの操作

- 1 MD取り出しボタン (▲)  
MDが入っているときは、MDが取り出せません。
- 2 CD開閉ボタン (▲)  
ディスクホルダーが出てきます。
- 3 MD再生/一時停止ボタン (MD ▶/||)  
MDデッキにMDが入っているときは、再生がはじまります。
- 4 CD再生/一時停止ボタン (CD ▶/||)  
ディスクホルダーにCDが入っているときは、再生がはじまります。
- 5 MD挿入口  
MDを入れると自動的に引き込み、電源をONにします。
- 6 FM/AM切り替えボタン (FM/AM)  
前回聞いていた放送局を受信します。
- 7 ライン切り替えボタン (LINE)  
前回のファンクションで電源をONにします。

## リモコンボタンでの操作

- 1 MD再生ボタン (MD ▶)  
MDデッキにMDが入っているときは、再生がはじまります。
- 2 CD再生ボタン (CD ▶)  
ディスクホルダーにCDが入っているときは、再生がはじまります。
- 3 FM/AM切り替えボタン (FM/AM)  
前回聞いていた放送局を受信します。
- 4 ライン切り替えボタン (LINE)  
前回のファンクションで電源をONにします。

# 12 音量や音質を調整する



## ご注意

電子コントロール式の音量調節のため、つまみの操作は音量レベルの表示を確認しながらゆっくりと回転させてください。

# 音量や音質を調整する(つづき)

## (1) 音量を調整する



 を回すか
 
 を押す。

VOLUME 20



 を右(▶)に回すと音量が大きくなり、  
 左(◀)に回すと音量が小さくなります。

お買い上げのときは、『VOLUME 12』になっています。

## (2) 一時的に消音する




 を押す。

MUTE ON

解除するときにはもう一度
 
 を押してください。



“MUTE OFF”が表示され、ミュートを解除します。

ミュートの解除は、以下の操作でもおこなえます。


 を回すか
 
 を押す。

電源を切る。

## (3) 音質を変える


 または
 
 を押す。

押すたびに次のように切り替わります。  
(低音を調整します。)

BASS 00dB

↓ (高音を調整します。)

TREBLE 00dB

↓ (ソースダイレクト)

S.DIRECT



↓ (重低音を調整します。)



SDB ON/OFF

↓  
解除



調整したいモードを選び、



**BASS/TREBLEレベルモードを設定するとき**


 を回すか
 
 を押して、レベルを調整した後、


 または
 
 を押す。

**SDBモードを設定するとき**


 を回すか
 
 を押して、『ON』または『OFF』に設定した後、


 または
 
 を押す。



強調する

SDB ON



強調しない

SDB OFF

**S.DIRECT (ソースダイレクト)を設定するとき**

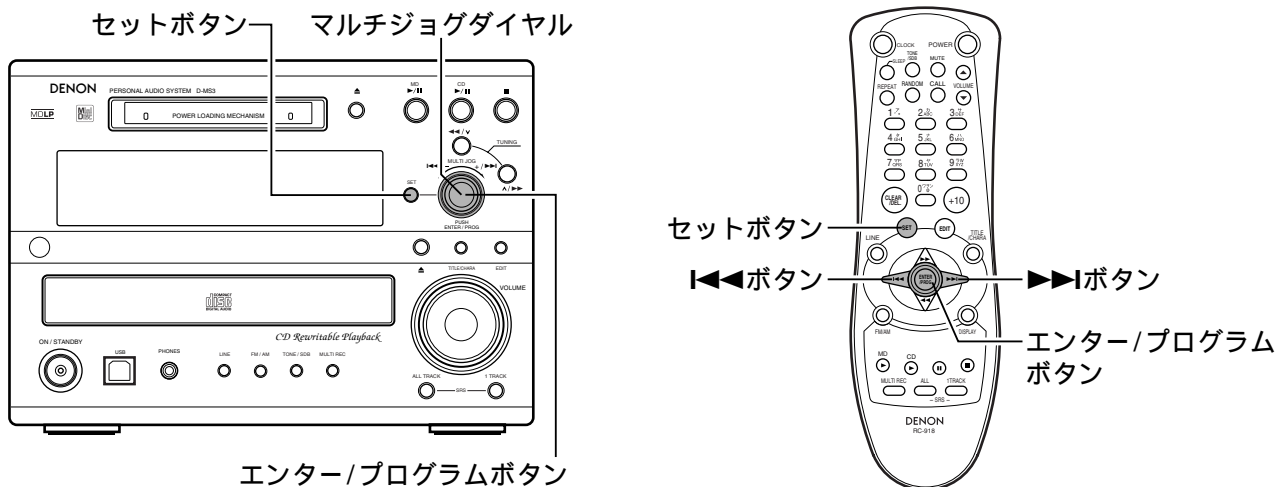

 または
 
 を押す。

S.DIRECTではトーンとSDBをOFFにし、フラットな特性になります。

各モードの設定は
 
 または
 
 を押さなくても設定されます。表示は操作後約5秒で自動的に通常表示に戻ります。

# 13 セット機能について

いろいろな機能の操作および設定をおこなうことができます。  
 セットボタンを押してからマルチジョグダイヤルを回すかリモコンの◀◀、▶▶ボタンを押すと、次の機能の操作および設定ができます。  
 表示される機能名称は、各ファンクションやファンクション内の動作状態により異なります。



	マルチジョグダイヤル (◀◀, ▶▶) で選択
1	REC LEVEL?
2	GROUP ON/OFF?
3	1-GROUP?
4	CLOCK
5	TIMER ON/OFF?
6	TIMER CHECK?
7	ECO MODE?
8	AUTO PWR OFF?
9	BRIGHTNESS?
10	ANALOG A.T.M?
11	AUTO PRESET?

エンター/プログラムボタンを押す。

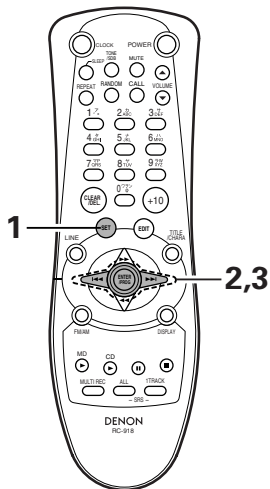
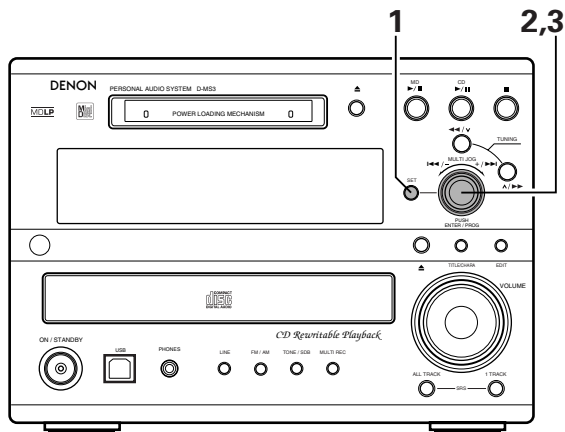
	マルチジョグダイヤル (◀◀, ▶▶) で選択	設定事項	参照ページ
1	REC LEVEL? (表示: =====)	録音レベルの調節	48, 49
2	GROUP ON/OFF?	グループ機能のON/OFF設定	45
3	1-GP ON/OFF?	1-GROUP機能のON/OFF設定	65
4	CLOCK	時計の確認/設定	27
5	TIMER ON/OFF?	タイマーON/OFF設定	97
6	TIMER CHECK?	タイマーの確認/設定	95 ~ 97
7	ECO MODE?	ECOモードの設定	25
8	AUTO PWR OFF?	オートパワーオフのON/OFF設定	29
9	BRIGHTNESS?	ディスプレイの明るさ設定	28
10	ANALOG A.T.M?	オートトラックインクリメント機能のON/OFF設定	47
11	AUTO PRESET?	チューニング自動設定	39

は、スタンバイ状態からでも設定が可能です。



# 14 ECOモードの設定

ECOモードを『ON』にすると、通常よりも待機（スタンバイ）時の消費電力を抑えることができます。  
 ECOモードの設定は、電源が『ON』 / 『スタンバイ』のどちらでもできます。  
 お買い上げのときは、『ON（時計表示消灯）』になっています。

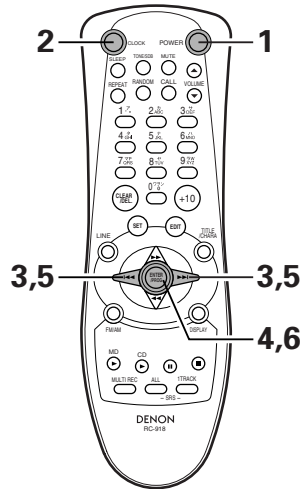


<b>1</b>	<p>SET (本体) または SET (リモコン) を押す。</p>
<b>2</b>	<p>MULTI JOG +/- を回すか (本体) を回すか (リモコン) を回すか (リモコン) を押し、          “ECO MODE?” が表示されたら、          PUSH ENTER / PROG (本体) または ENTER / PROG (リモコン) を押す。          “ON” が点滅します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             ECO ON OFF         </div>
<b>3</b>	<p>MULTI JOG +/- を回すか (本体) を回すか (リモコン) を回すか (リモコン) を押し、          “OFF” または “ON” を選び、          PUSH ENTER / PROG (本体) または ENTER / PROG (リモコン) を押す。</p>

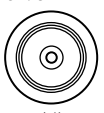
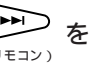

# 15 時計の合わせかた

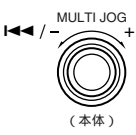

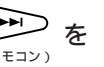


## 現在時刻の合わせかた (24時間表示)

### 1 クロックボタンからの操作



[例] 現在時刻を『19時30分 (午後7時30分)』に合わせるとき

<b>1</b>	<p>ON / STANDBY</p>  または  を押して、電源を入れる。
<b>2</b>	<p> を3秒以上押す。</p> <p>時の桁が点滅します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             ADJ 10:00         </div>
<b>3</b>	<p> を回すか   を押して、時の桁を『19』に設定する。</p> <p>時の桁の“19”が点滅します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             ADJ 19:00         </div>
<b>4</b>	<p> または  を押す。</p> <p>時の桁の“19”が点灯し、分の桁が点滅します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             ADJ 19:00         </div>

<b>5</b>	<p> を回すか   を押して、分の桁を『30』に設定する。</p> <p>分の桁の“30”が点滅します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             ADJ 19:30         </div>
<b>6</b>	<p>時計に合わせて、  または  を押す。</p> <p>分の桁の“30”が点灯し、現在時刻が表示されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             19:30         </div>

時計の精度は、月におよそ1~2分程度のズレが生じることがあります。  
このようなときは、時刻を合わせ直してください。  
電源コードを抜いていたり停電があったときなどは時計の設定は消えてしまいます。そのときはもう一度時計を合わせ直してください。

電源が入っているときに現在時刻を確認するには

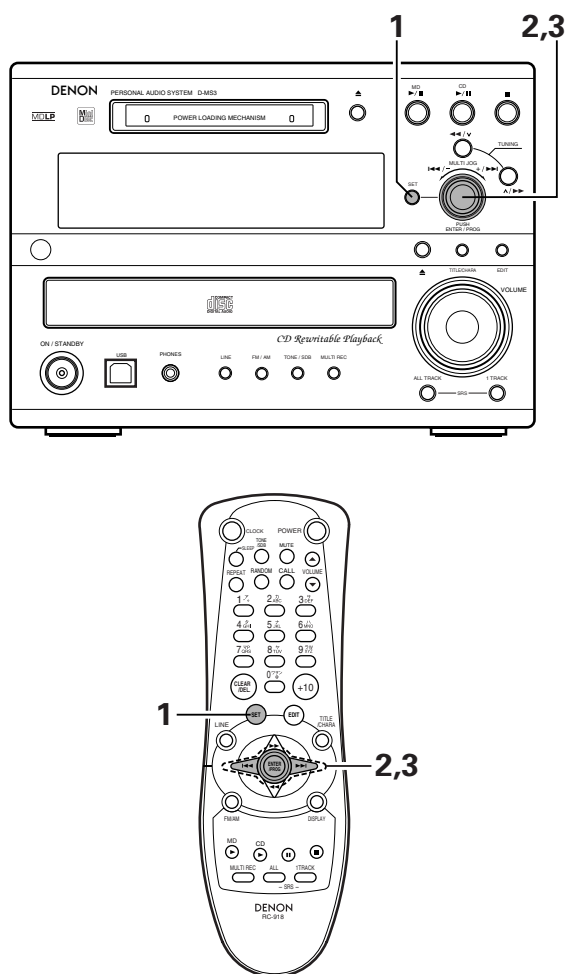
 を押す。

(リモコン)  
現在時刻が約5秒間表示されます。

# 時計の合わせかた(つづき)

## 2 セットボタンからの操作

電源が『ON』/『スタンバイ』のどちらでも操作できます。



### 時計を合わせるとき

<b>1</b>	<p>SET (本体) または SET (リモコン) を押す。</p>
<b>2</b>	<p>MULTI JOG (本体) を回すか (リモコン) (リモコン) を 押して“CLOCK”が表示されたら、</p> <p>PUSH ENTER / PROG (本体) または ENTER / PROG (リモコン) を押す。</p> <p>DISP. ADJUST</p>
<b>3</b>	<p>MULTI JOG (本体) を回すか (リモコン) (リモコン) を 押して“ADJUST”を選び、</p> <p>PUSH ENTER / PROG (本体) または ENTER / PROG (リモコン) を押す。</p>
<b>4</b>	<p>26ページ『クロックボタンからの操作』の 3～6の操作をおこなう。</p>

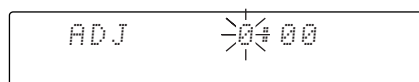
### 現在時刻を確認するとき

操作3で“DISP.”を選び、

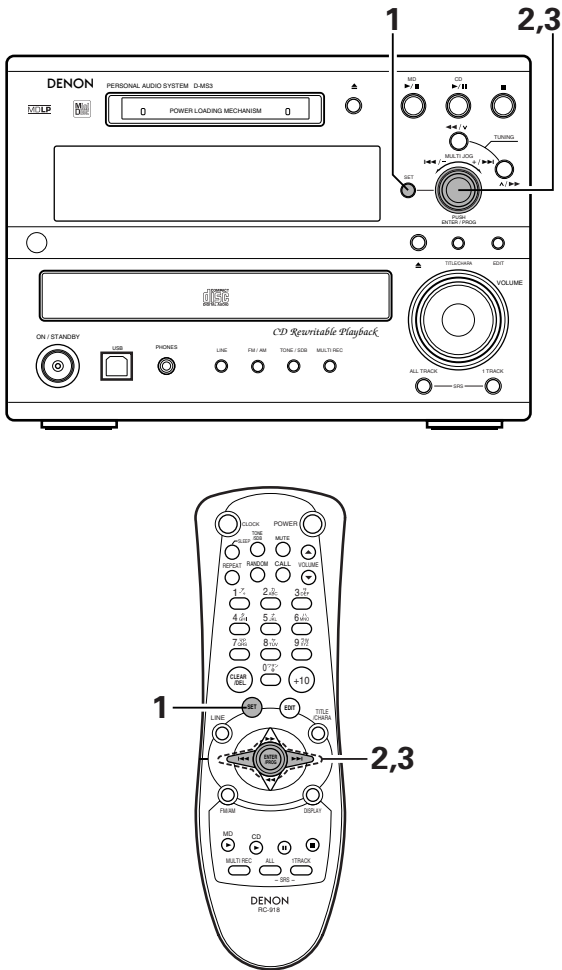
PUSH  
ENTER / PROG  
(本体) または ENTER / PROG  
(リモコン) を押す。

現在時刻が約5秒間表示されます。

時計の設定がされていないときは、自動的に設定モードになります。



# 16 表示部の明るさを変える



**1** SET または (リモコン) を押す。  
(本体)

**2** MULTI JOG を回すか (リモコン) (リモコン) を押して “BRIGHTNESS?” が表示されたら、 (本体) または (リモコン) を押す。

BRIGHTNESS? ※

↓

← NORM → LOW / OFF ※

MULTI JOG を回すか (リモコン) (リモコン) を押して、選択する。

**3** 暗くするとき

“LOW” を点滅させ、 (本体) または (リモコン) を押す。  
ディスプレイが暗くなります。

消すとき

“OFF” を点滅させ、 (本体) または (リモコン) を押す。  
ディスプレイを消灯します。  
電源操作ボタンのインジケータは点灯(緑色)のままです。  
何かボタンが押されると“LOW”より暗い明るさで約10秒間ディスプレイを点灯します。  
録音中はディスプレイを消すことはできません。録音中は“LOW”より暗い明るさでディスプレイを点灯します。  
各モード設定中(セット、エディット、MDLP/LP STAMP)は、ディスプレイを消しません。

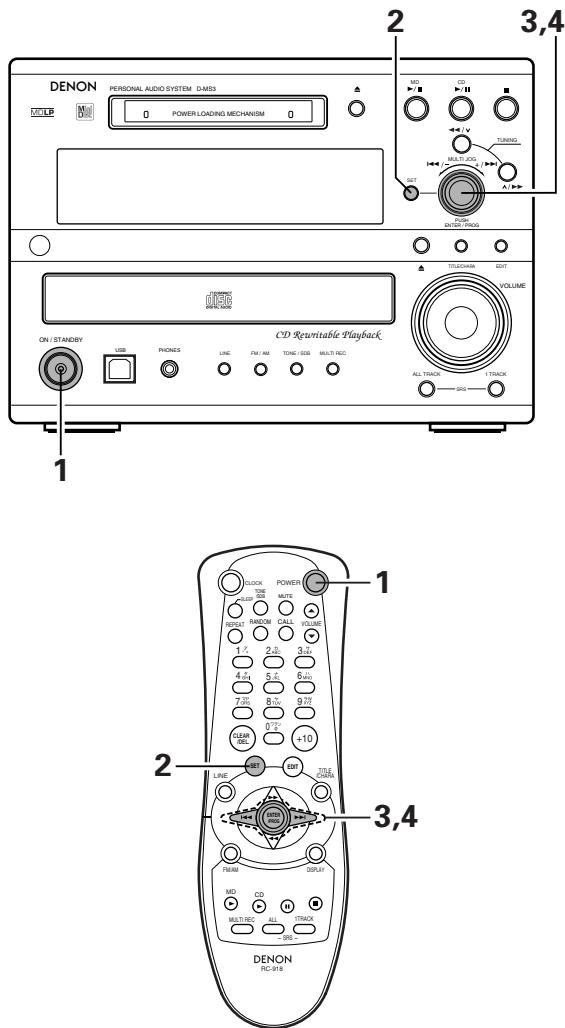
元の明るさに戻すとき

“NORM” を点滅させ、 (本体) または (リモコン) を押す。  
元の明るさに戻ります。










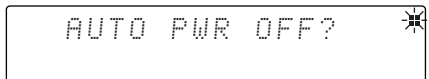

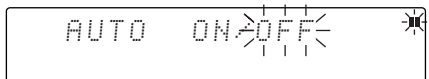





# 17 オートパワーオフの設定

ファンクションがCDまたはMDのときに無操作状態が約30分続くと、オートパワーオフが『ON』のとき、自動的に電源を『スタンバイ状態』にします。

お買い上げのときは、『OFF』の設定になっています。



## 【オートパワーオフを『ON』にするとき】

<b>1</b>	ON / STANDBY  または  を押して、 <small>(本体)</small> <small>(リモコン)</small> 電源を入れる。
<b>2</b>	SET  または  を押す。 <small>(本体)</small> <small>(リモコン)</small>
<b>3</b>	 を回すか   を <small>(本体)</small> <small>(リモコン)</small> <small>(リモコン)</small> 押して “AUTO PWR OFF?” が表示され たら、  または  を押す。 <small>(本体)</small> <small>(リモコン)</small>   
<b>4</b>	 を回すか   を <small>(本体)</small> <small>(リモコン)</small> <small>(リモコン)</small> 押して “ON” を点滅させ、  または  を押す。 <small>(本体)</small> <small>(リモコン)</small>

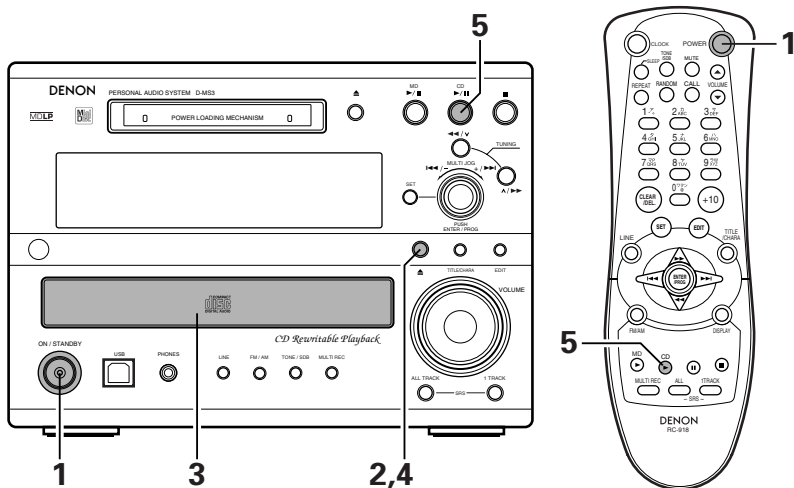
## オートパワーオフを解除するには

操作4で“OFF”を点滅させ、

 または  を押す。  
(本体) (リモコン)

# 18 CDの再生のしかた【基本動作】

## (1) 再生のしかた



CD-R/CD-RWディスクについて  
お客様が編集したCD-R/RWディスクは、  
ファイナライズされているディスクに限り  
本機でお楽しみいただけます。

音楽用のCDフォーマットで記録された  
CD-R/RWディスクが再生できます。  
但し、ディスクの特性・記録状態・傷・  
汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・  
結露などにより本機で再生できないこと  
があります。

CD-R/RWディスクをお使いになる前に、  
ディスクの使用上のご注意をお読みくだ  
さい。

MP3などの音声ファイルの再生またはCD  
テキストの表示には対応しておりません。  
音楽用のCDフォーマット以外で記録した  
ことのあるCD-RWディスクは、いったん  
全曲を消去してください。そのまま使用  
すると、突然大きな音が出てスピーカ  
ーを破損するなどの原因になります。

1	<p>ON / STANDBY</p> <p>または <b>POWER</b> を押して、電源を入れる。 (本体) (リモコン)</p>
2	<p>CD開閉ボタン  を押す。 (本体)</p> <p>ディスクホルダーが開きます。 入力が『CD』のときはディスプレイに“OPEN”が表示され ます。入力が『CD』以外のときは約3秒間“OPEN”が 表示されます。</p> <p>ディスクマーク“”が点灯します。</p>
3	<p>印刷のある面を上にしてCDを置く。</p>
4	<p>CD開閉ボタン  を押す。 (本体)</p> <p>ディスクホルダーが閉じます。 入力が『CD』のときはディスプレイに“CLOSE”が表示 されます。入力が『CD』以外のときは約3秒間“CLOSE” が表示されます。</p> <p>印刷面を上</p> <p>8cmのCDは、 内側のくぼみ に入れます。</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <p> または  を押しても自動的に (本体) (リモコン)</p> <p>ディスクホルダーが閉まります。 この場合、1曲目から再生がはじまります。</p>

# CDの再生のしかた【基本動作】(つづき)

5

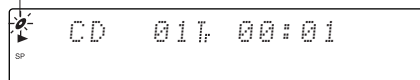


(本体)

または (リモコン) を押して、再生をはじめます。

1曲目から順に再生が始まり、最後の曲が終わると自動的に停止します。

再生中はディスクマーク “” が点滅します。



## 再生を止めるには

再生中に (本体) または (リモコン) を押す。

## 一時的に再生を止めるには

再生中に (本体) または (リモコン) を押す。

“▶”表示が消灯して“||”表示が点灯し、ボタンを押したところで再生を中断します。



(本体)

または (リモコン) を押すと、止めた位置から

再生します。(“||”表示は消灯します。)

## CDの取り出しかた

CDを停止させた後、CD開閉ボタン (本体) を押す。

CDを取り出した後は、再度CD開閉ボタン(▲)を押して、ディスクホルダーを閉じておいてください。

## ご注意

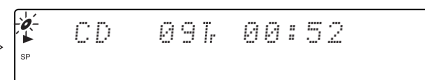
ディスクホルダーは無理に手で止めたり、押し込まないでください。故障の原因になります。  
ディスクホルダーに異物を入れないでください。故障の原因になります。  
CDを入れるときや取り出すときは、CDを傷つけないようご注意ください。  
製品を移動するときは、必ずCDを取り出してください。CDに傷がつくことがあります。

## 時間表示について

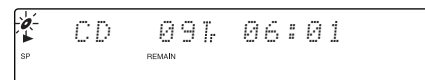
CDを再生中、 (リモコン) を押すたびに、ディスプレイの表示が切り替わります。

ランダム再生中には、と のみ表示されます。

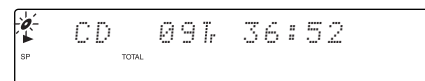
再生中の曲の経過時間



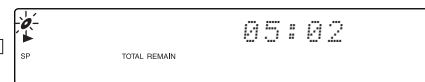
再生中の曲の残り時間 (“REMAIN”点灯)



全体の経過時間 (“TOTAL”点灯)

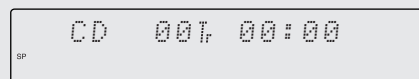


全体の残り時間 (“TOTAL REMAIN”点灯)



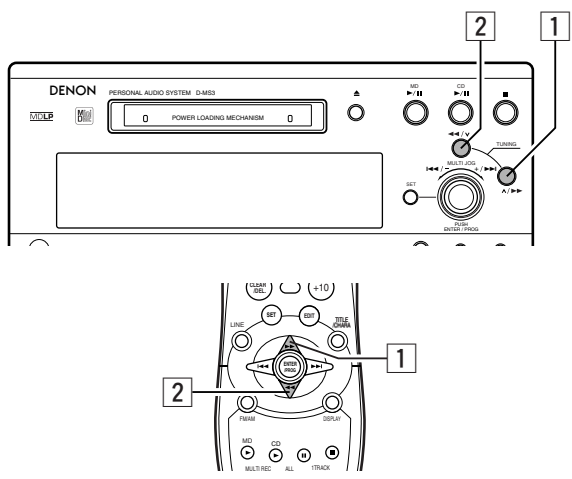
## ご注意

オートパワーオフの設定が『ON』のとき、停止状態が約30分続くと本機は自動的にスタンバイ状態になります。  
CDが装着されていない場合、CDを裏返しに装着された場合、ファイナライズされていないCD-R/RWが装着された場合およびCDの情報をCDの傷や汚れなどで正しく読み取れなかった場合は、ディスプレイが下図のようになり再生できません。



# CDの再生のしかた【基本動作】(つづき)

## (2) 早聞きしながら好きな曲を探すとき 『マニュアルサーチ』



### 1 早送りする

再生中に または を押し続ける。  
(本体) (リモコン)

ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。

本体の ボタンまたはリモコンの ボタンを押し続ける。

(再生) 飛ばす 飛ばす 飛ばす 飛ばす 飛ばす

### 2 早戻しする

再生中に または を押し続ける。  
(本体) (リモコン)

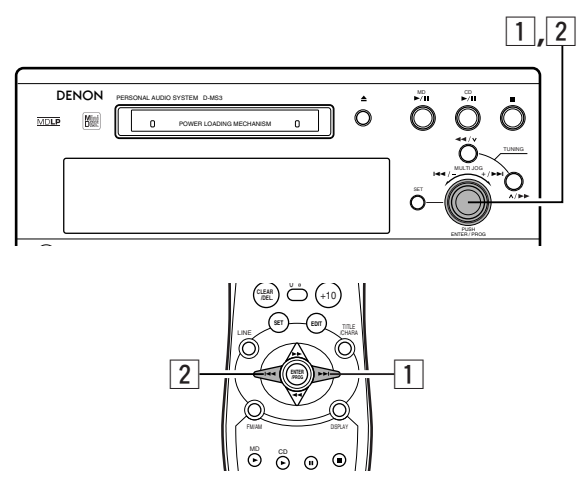
ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。

本体の ボタンまたはリモコンの ボタンを押し続ける。

飛ばす 飛ばす 飛ばす 飛ばす

**ご注意**  
マニュアルサーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

## (3) 再生途中で曲の頭出しをするとき 『オートマチックサーチ』



### 1 次の曲の頭出し

を右に回すか を押す。  
(本体) (リモコン)

本体のMULTI JOGダイヤルを右に回すか、リモコンの ボタンをくり返し押すと、次々と後ろの曲の頭出しをすることができます。  
最後の曲を再生中に押すと、1曲目を再生します。

本体のMULTI JOGダイヤルを右に回すか、リモコンの ボタンを押す。

### 2 聞いている曲の頭出し

を左に回すか を押す。  
(本体) (リモコン)

本体のMULTI JOGダイヤルを左に回すか、リモコンの ボタンをくり返し押すと、次々と前の曲の頭出しをすることができます。  
1曲目を再生中に押して、時間表示が“00:02”になっている間にもう一度押すと、最後の曲を再生します。

本体のMULTI JOGダイヤルを左に回すか、リモコンの ボタンを押す。

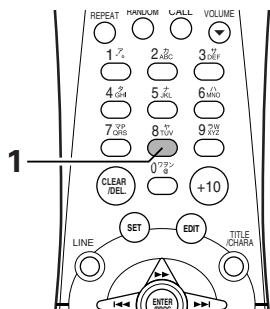


# CDの再生のしかた【基本動作】(つづき)

## (4) 好きな曲を聞くととき (リモコンのみ)

『ダイレクト再生』

[例] CDの8曲目を聞くととき



8<sup>10V</sup> を押す。  
(リモコン)

CD 08T 00:01

1

10曲目以上の曲番を選ぶとき

[例] 12曲目を聞きたいとき  
+10 (リモコン)、2<sup>ABC</sup> (リモコン) と押す。

[例] 20曲目を聞きたいとき  
+10 (リモコン)、+10 (リモコン)、0<sup>77%</sup> (リモコン) と押す。

# 19 MDの再生のしかた【基本動作】

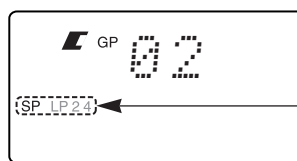
## (1) MDを再生する前に

MDの再生モードについて

MDは、録音したときの録音モードに従って再生されます。

再生が始まると、ディスプレイにそのMDの再生モードが表示されます。

(停止時は録音モードとなります。42、43ページをご覧ください。)



SP：本機でステレオ録音したMDまたはMDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき

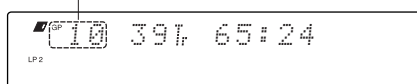
LP2：2倍長時間録音(ステレオ)したMDのとき

LP4：4倍長時間録音(ステレオ)したMDのとき

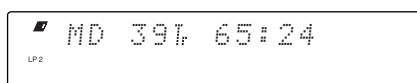
グループ管理MDについて (MDグループ機能については、60ページをご覧ください。)

本機には新しい機能としてグループ機能があります。グループ管理されているMDと管理されていないMDで、ディスプレイの表示が異なります。

グループ管理されているMDの場合

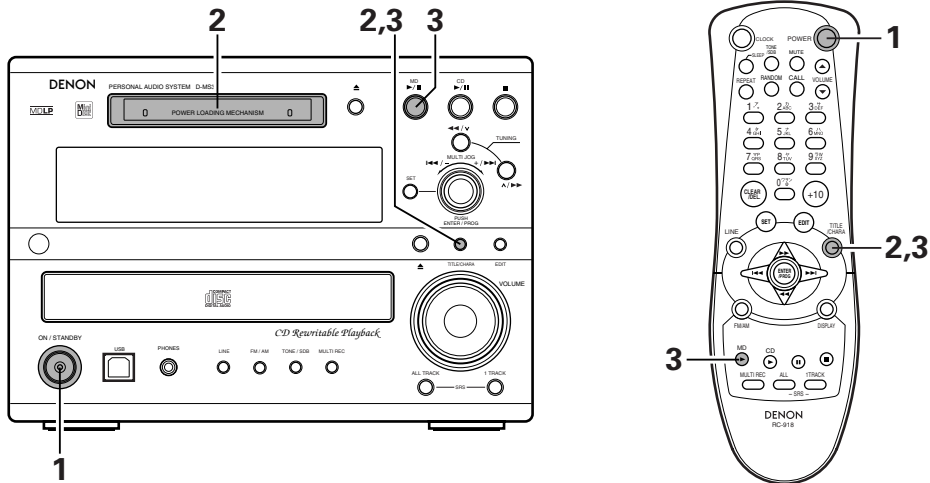


グループ管理されていないMDの場合



# MDの再生のしかた【基本動作】(つづき)

## (2) 再生のしかた



**1** ON / STANDBY  
 または を押して、  
 (本体) (リモコン)  
 電源を入れる。

**2** MD挿入口にMDを入れる。  
 入力が『MD』のときに次のようになります。

LOADING  
 ↓  
 READING  
 ↓  
 ディスク名  
 ↓  
 DENON  
 ↓  
 ディスク名が入力されていない場合、ディスク名は表示されません。  
 ↓  
 MD 081 38:19  
 収録曲数 収録時間

ディスク名を表示させたいときは、停止状態  
 または を押してください。  
 (本体) (リモコン)  
 もう一度押すと、時間表示に戻ります。

**3** MD  
 または を押して、  
 (本体) (リモコン)  
 再生をはじめる。  
 1曲目から順に再生が始まり、最後の曲が終わると自動的に停止します。

再生状態で または を押すと、  
 (本体) (リモコン)  
 再生している曲のタイトルが表示されます。  
 もう一度押すと、時間表示に戻ります。

### 再生を止めるには

再生中に または を押す。  
 (本体) (リモコン)

### 一時的に再生を止めるには

再生中に または を押す。  
 (本体) (リモコン)

“▶”表示が消灯して“||”表示が点灯し、ボタンを押したところで再生を中断します。

または を押すと、止めた位置から  
 (本体) (リモコン)

再生します。(“||”表示は消灯します。)

### MDの取り出ししかた

MDを停止させた後、

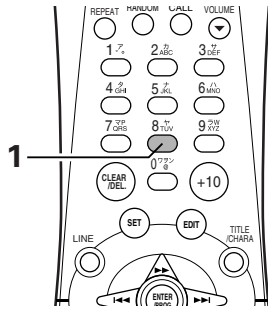
▲  
 MD取り出しボタン を押す。  
 (本体)

# MDの再生のしかた【基本動作】(つづき)

## (3) 好きな曲を聞くととき (リモコンのみ)

『ダイレクト再生』

[例] MDの8曲目を聞くととき



8<sup>10V</sup> を押す。  
(リモコン)

MD 08T 00:01


1

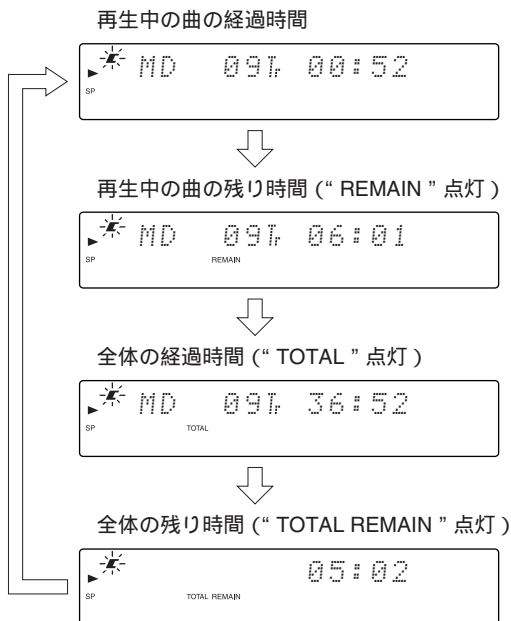
10曲目以上の曲番を選ぶとき

[例] 12曲目を聞きたいとき  
+10 (リモコン)、2<sup>ABC</sup> (リモコン) と押す。

[例] 20曲目を聞きたいとき  
+10 (リモコン)、+10 (リモコン)、0<sup>7%</sup> (リモコン) と押す。

## 時間表示について

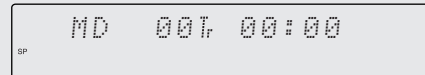
MDを再生中、 を押すたびに、ディスプレイの表示が切り替わります。  
ランダム再生中には、 と のみ表示されます。



## ご注意

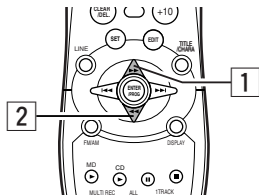
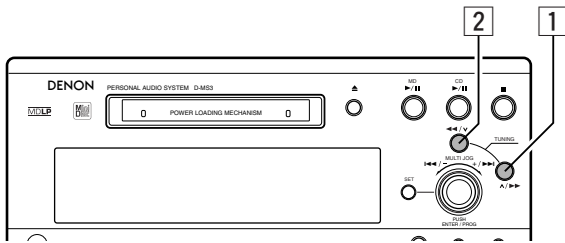
オートパワーオフの設定が『ON』のとき、停止状態が約30分続くと本機は自動的にスタンバイ状態になります。

MDが装着されていない場合およびMDの情報をMDの傷や汚れなどで正しく読み取れなかった場合は、ディスプレイが下図のようになり再生できません。



# MDの再生のしかた【基本動作】(つづき)



## (4) 早聞きしながら好きな曲を探するとき 『マニュアルサーチ』

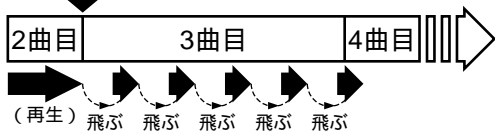


### 1 早送りする

再生中に  または  を押し続ける。

ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。



本体の  ボタンまたは  
リモコンの  ボタンを押し続ける。

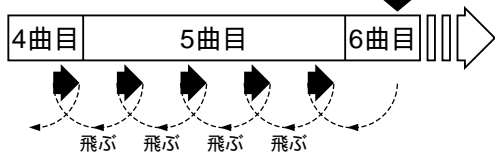


### 2 早戻しする

再生中に  または  を押し続ける。

ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。

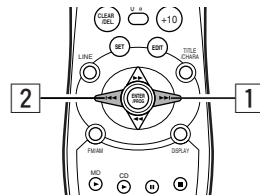
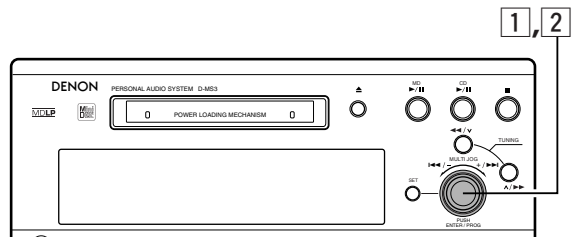
本体の  ボタンまたは  
リモコンの  ボタンを押し続ける。





### ご注意


マニュアルサーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

## (5) 再生途中で曲の頭出しをするとき 『オートマチックサーチ』




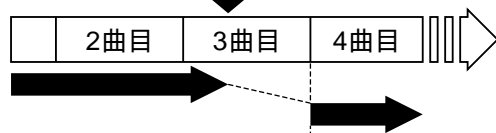
### 1 次の曲の頭出し

 を右に回すか  を押す。



本体のMULTI JOGダイヤルを右に回すか、リモコンの  ボタンをくり返し押すと、次々と後ろの曲の頭出しをすることができます。


最後の曲を再生中に押すと、1曲目を再生します。

本体のMULTI JOGダイヤルを右に回すか、  
リモコンの  ボタンを押す。




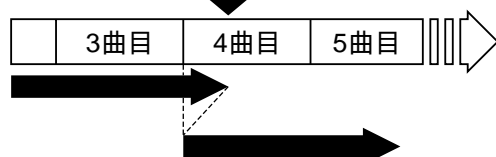
### 2 聞いている曲の頭出し

 を左に回すか  を押す。

本体のMULTI JOGダイヤルを左に回すか、リモコンの  ボタンをくり返し押すと、次々と前の曲の頭出しをすることができます。

1曲目を再生中に押して、時間表示“00:00”が表示される前にもう一度押すと、最後の曲を再生します。

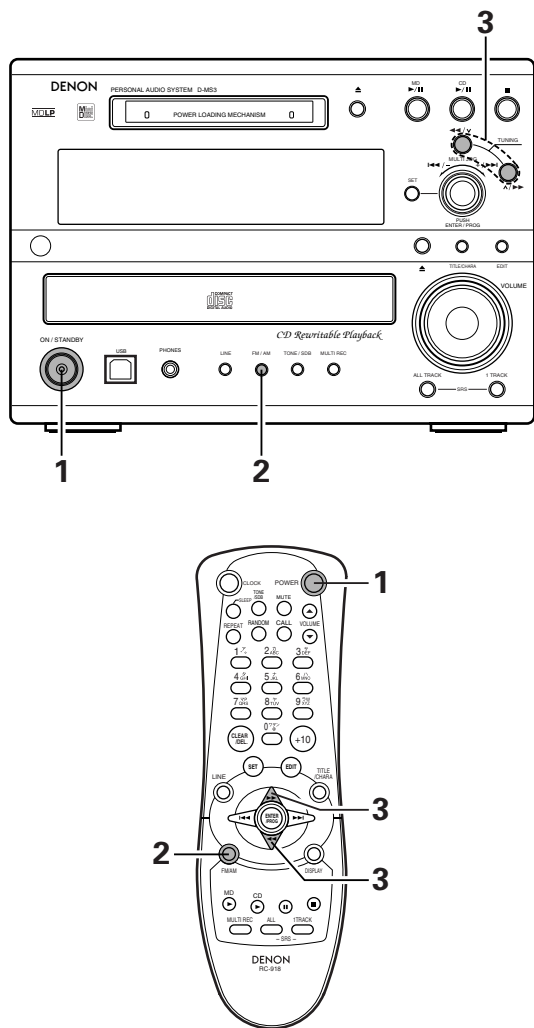
本体のMULTI JOGダイヤルを左に回すか、  
リモコンの  ボタンを押す。

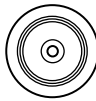
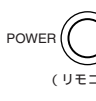


# 20 ラジオ放送を聞くととき



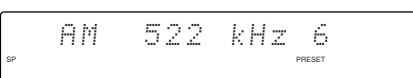
## (1) 選局のしかた



本機はFMワイドバンド仕様で、通常のFM放送のほか、テレビ1~3チャンネルの音声(モノラル)の受信ができます。




**1** ON / STANDBY  
 または  を押して、  
(本体) (リモコン)  
 電源を入れる。

FM / AM  
 または  を押して、  
(本体) (リモコン)  
 『FM AUTO』、『FM MONO』または『AM』  
 を選ぶ。  
 選択したバンドや受信モードが表示されます。  
 押すたびにディスプレイの表示が切り替わります。

**2** 『FM AUTO』  
  
 『FM MONO』 点灯  
  
 『AM』 点灯  


 または  を  
(本体) (リモコン) (リモコン)  
 押して、放送局を選ぶ。

**3**   
 FM放送を受信すると、点灯する。  
**自動同調(オートチューニング)：**  
 ボタンを2秒以上押し続けて離すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。  
 オートチューニングを止めたいときは、もう一度ボタンを押してください。  
**手動同調：**  
 ボタンを小さく押し続けて、希望する放送局を受信します。

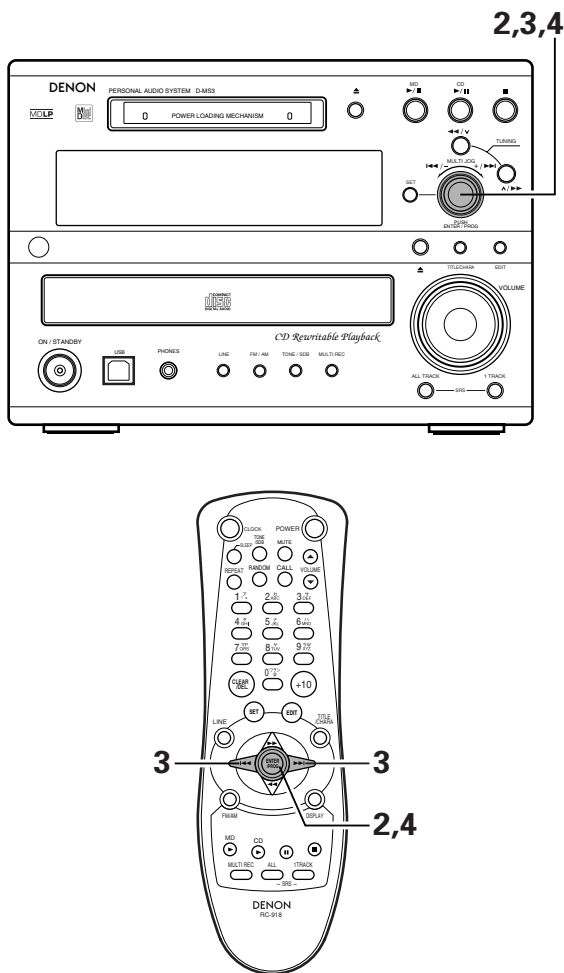
テレビ音声は、次の周波数で受信できます。  
 1チャンネル：FM 95.75MHz  
 2チャンネル：FM 101.75MHz  
 3チャンネル：FM 107.75MHz

**ご注意**  
 FM/AMアンテナは本体や電源コード、スピーカーコードから離してください。近づけて使用すると雑音が入ることがあります。  
 AM放送受信中に近くでテレビなどを使用すると、“ピー”という雑音が入る場合があります。このような場合は、本機をテレビなどからできるだけ離して設置してください。

# ラジオ放送を聞くとき (つづき)

## (2) FM/AM放送の登録 (プリセット) のしかた

[例] 選局したFM 82.5MHzをプリセット番号『3』にプリセットするとき



- 1 登録したい放送局を受信する。
  - 2 “MEMO”表示と“PRESET”表示が点灯し、プリセット番号が点滅します。
  - 3 リモコンで操作するときは、 を押してください。
  - 4 “MEMO”表示が消灯して、プリセットが完了します。
- 同じように操作して、FM/AMを合わせて30局までプリセットすることができます。

### プリセットについて

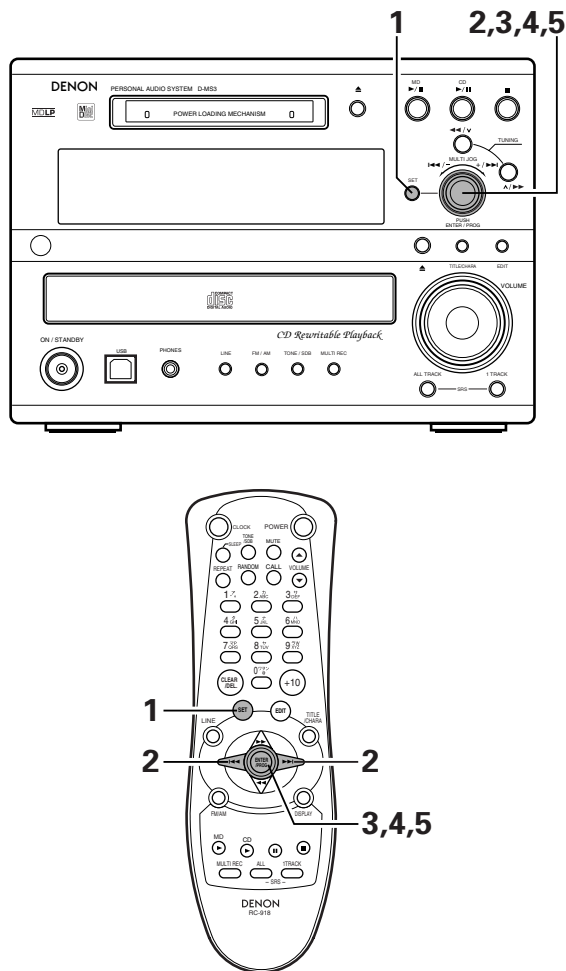
すでにプリセットされている番号にプリセットすると、前のメモリーは消去されて、新しい放送局がプリセットされます。

電源コードを抜いたり、停電などで一時的に電源が切れても、すぐにはプリセットされたメモリーは消えませんが、長時間放置してメモリーが消えてしまった場合は、もう一度プリセットし直してください。

# ラジオ放送を聞くととき (つづき)

## (3) オートプリセットのしかた

オートプリセットは、FM放送局のみ可能です。  
低い周波数から順番にプリセットします。



1	<p>ファンクションが『TUNER』のときに SET ○ または SET を押す。 (本体) (リモコン)</p>
2	<p>MULTI JOG /- +/▶▶ を回すか ◀◀ ▶▶ を (本体) (リモコン) (リモコン) を 押して、“AUTO PRESET?”を表示させ る。</p>
3	<p>○ または ENTER / PROG を押す。 PUSH ENTER / PROG (本体) (リモコン) “PRESET START?”が表示されます。</p>
4	<p>もう一度 ○ または ENTER / PROG を押す。 PUSH ENTER / PROG (本体) (リモコン) オートプリセットがはじまります。</p> <p>AUTO PRESET! -PROGRAM-</p> <p>↓</p> <p>FM 11.1 PRESET プリセットされた局数</p>
5	<p>○ または ENTER / PROG を押して、 PUSH ENTER / PROG (本体) (リモコン) プリセットした局数を確定する。</p>

### プリセットした放送局を選ぶには

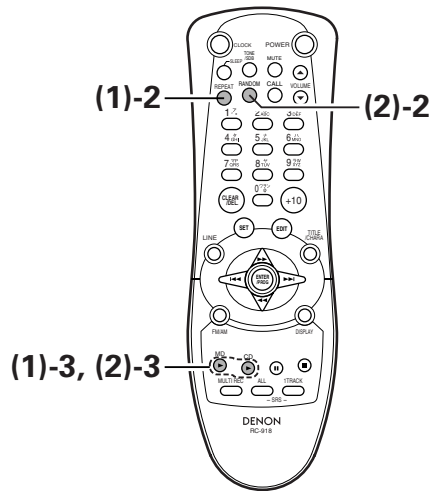
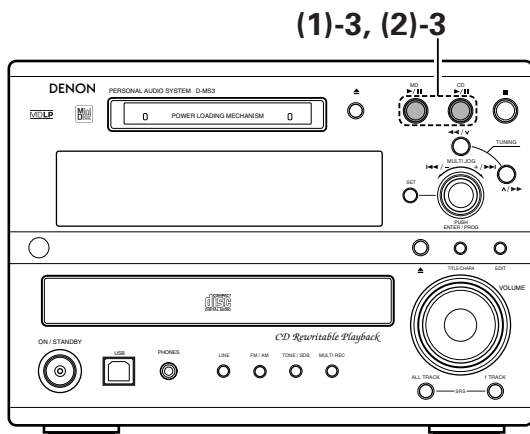
入力が『TUNER』の状態



て、登録した番号を選ぶ。

リモコンのダイレクトボタンで選ぶこともできます。

# 21 CDやMDのいろいろな聞きかた



## (1) くり返して聞くと 『リピート再生』

1	CDを操作するとき 入力が『CD』のとき	MDを操作するとき 入力が『MD』のとき
	<p>REPEAT ○ を押して、再生モードを選ぶ。 (リモコン)</p> <p>押すたびにディスプレイの表示が次のように切り替わります。</p> <p style="text-align: center;">(1曲リピートモード)</p> <p style="text-align: center;">1 REPEAT</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">(全曲リピートモード)</p> <p style="text-align: center;">ALL REPEAT</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">解除</p> <p>1 REPEAT : 1曲だけくり返し再生します。 ALL REPEAT : 全曲をくり返し再生します。</p>	
2	再生を開始する。	
	CDを操作するとき	MDを操作するとき
3	<p>CD ▶/   または ○ (本体) (リモコン)</p> <p>を押す。</p>	<p>MD ▶/   または ○ (本体) (リモコン)</p> <p>を押す。</p>
	再生中も設定できます。 リピート再生を止めるときは“REPEAT”表示が消灯するまで REPEAT ○ をくり返し押してください。 (リモコン)	

## (2) 順不同で聞くと 『ランダム再生』

1	CDを操作するとき 入力が『CD』のとき	MDを操作するとき 入力が『MD』のとき
	<p>RANDOM ○ を押す。 (リモコン)</p> <p style="text-align: center;">点灯</p> <p style="text-align: center;">RANDOM</p>	
2	再生を開始する。	
	CDを操作するとき	MDを操作するとき
3	<p>CD ▶/   または ○ (本体) (リモコン)</p> <p>を押す。</p>	<p>MD ▶/   または ○ (本体) (リモコン)</p> <p>を押す。</p>
	再生中も設定できます。 ランダム再生を止めるときは、ランダム再生中に もう一度 RANDOM ○ を押してください。 (リモコン) “RANDOM”表示が消灯します。	

**ご注意**

プログラムした状態ではランダムモードを設定することはできません。  
ランダム再生中に1曲リピート再生はできません。  
ランダム再生中に全体の残り時間は確認できません。



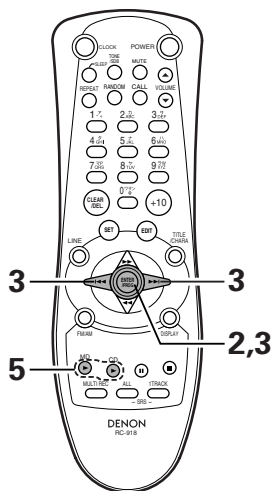
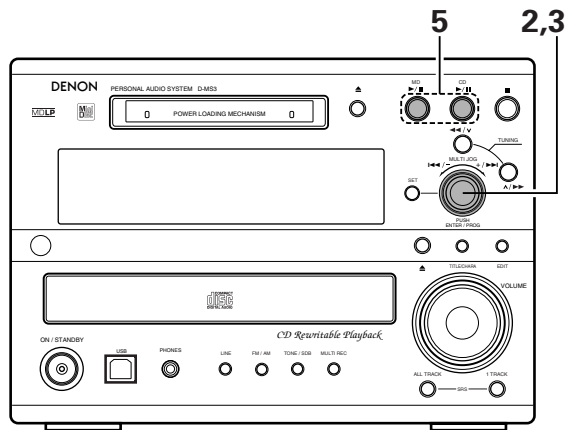
# CDやMDのいろいろな聞きかた(つづき)

## (3)好きな曲だけを選んで聞くとき

## 『プログラム再生』

最大25曲までプログラムすることができます。

グループ管理されているMDの操作は異なります。66、67ページをご覧ください。



<b>1</b>	CDを操作するとき 入力が『CD』のとき	MDを操作するとき 入力が『MD』のとき
	停止中に  または  を押す。 (本体) (リモコン)	
<b>2</b>	入力が『MD』のとき、“TRACK PROGRAM” が表示されます。	
	PROGRAM 点灯	

を回すか を  
 (本体) (リモコン) (リモコン)

押して聞きたい曲番を指定し、  
 または を押す。  
 (本体) (リモコン)

~ でも指定できます。  
 (リモコン) (リモコン)

**3** 【例】入力が『CD』で、 を押したとき  
 (リモコン)

CD 09T P-01  
PROGRAM

↓

CD P01 05:02  
PROGRAM

プログラム番号      再生時間

曲番を間違えたときは

登録中に を押すと、最後に選んだ曲が  
 (リモコン)

取り消されます。  
 続けて押すと、順に取り消されます。

**4** 3の操作をくり返し、聞きたい曲番を順に  
 指定する。  
 プログラムの総再生時間がCDは“99:59”、  
 MDは“999:59”を超えると“---:--”が  
 表示されますが、記憶はされています。

再生を開始する。

<b>5</b>	CDを操作するとき または (本体) (リモコン)	MDを操作するとき または (本体) (リモコン)
	を押す。	を押す。

(次ページに続く)

# CDやMDのいろいろな聞きかた(つづき)

## 登録した順番を確かめるには

CALL (リモコン) を押す。  
 押すたびに登録した曲番が順に表示されます。

## 曲を追加するには

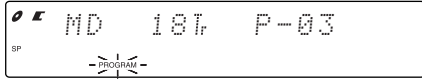
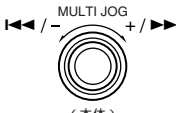





停止中に、3の操作をくり返します。  
 前に選んでいる曲の後に追加されます。  
 (曲の順番を入れ替えることはできません。)

## 登録を取り消すには

停止中に  または  を押す。  
 (CDやMDを取り出したときも、登録は取り消されます。)

## プログラム内容を訂正するには

[例] MDの3番目にプログラムした18曲目を5曲目に訂正するとき

1	<p>CALL (リモコン) を押して、訂正する曲を表示させる。                  “PROGRAM”表示が点滅します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  <p>点滅</p> </div>
2	<p>“PROGRAM”表示が点滅している間に   を回すか   を                  押して“05”を表示させ、   または  を押す。     を押しても訂正できます。</p>

## 22 録音をする前に

### 試し録音について

大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして正常に録音されることを確かめてください。  
 本機を使用中に万が一この製品の不具合により録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償についてはご容赦ください。

本機ではCD、ラジオ放送または接続した他の機器の音声を録音するとき、それぞれのソース(音源)ごとに次のような録音ができます。

### (1) 長時間録音

#### ステレオ長時間録音(MDLP)

従来モノラル録音でしかできなかったMDの長時間録音が本機ではステレオ音声のまま2倍または4倍の長時間で録音できます。

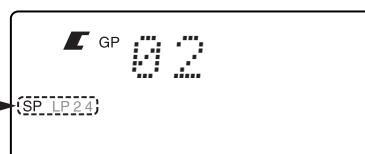
再生するソース(音源)に関係なく設定でき、各再生ソースの再生モードと組み合わせて使用できます。  
 また、1枚のMDに違う録音モード(SP:標準、LP2:2倍長時間、LP4:4倍長時間)の曲を混在させて録音することもできます。

SP: 標準のステレオ録音(MD80で最大80分の録音)

LP2: 2倍長時間録音(ステレオ)  
 (MD80で最大160分の録音)

LP4: 4倍長時間録音(ステレオ)  
 (MD80で最大320分の録音)

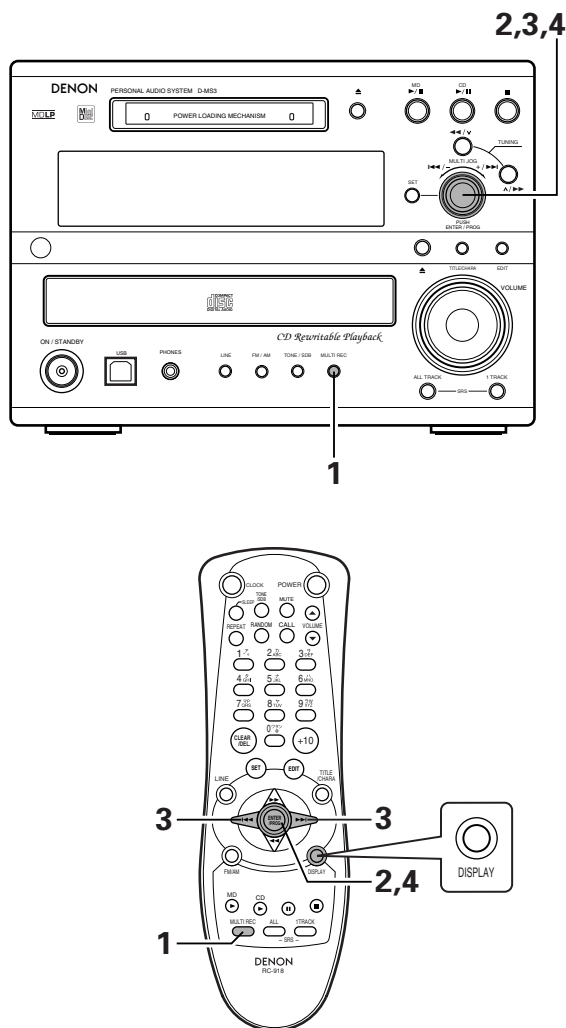
録音モード →



# 録音をする前に (つづき)

## 録音モードの設定

お買い上げのときは、『SP』になっています。



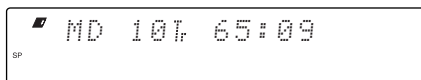
<b>1</b>	<p>MULTI REC (本体) または MULTI REC (リモコン) を長押しする。</p> <p>“MDLP/LP STAMP” が表示されます。</p>
<b>2</b>	<p>“MDLP” が点滅しているときに</p> <p>PUSH ENTER / PROG (本体) または ENTER / PROG (リモコン) を押す。</p> <p>“MDLP SP/LP2/4” が表示されます。</p>
<b>3</b>	<p>MULTI JOG +/- (本体) を回すか (リモコン) (リモコン) を押して、録音モードを選ぶ。</p> <p>選択されているモードが点滅します。</p>
<b>4</b>	<p>PUSH ENTER / PROG (本体) または ENTER / PROG (リモコン) を押して、録音モードを確定する。</p>
録音モードは、次に変更するまで変わりません。	

### 【録音可能時間の確認方法】

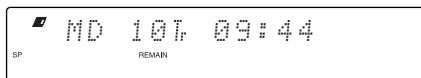
MDが停止状態のときに、DISPLAY (リモコン) を押す。

押すたびにディスプレイの表示が切り替わります。

収録曲数、収録時間表示



録音可能時間



録音可能時間は、録音モードによって異なります。(42ページ参照)

### ご注意

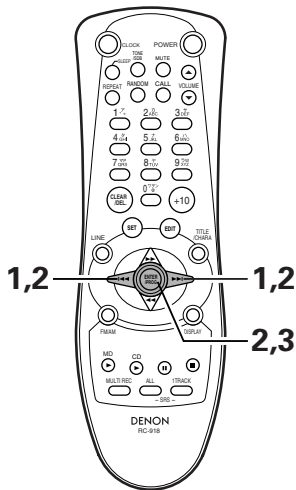
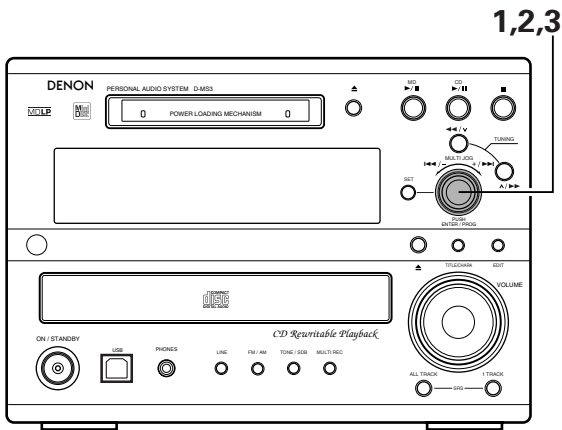
録音モード (SP、LP2、LP4) の設定によって、MDの録音残量表示も変わります。本機では、モノラル長時間録音はできません。録音モードが長時間 (SP LP2 LP4) になるに従って、音質に差が出ます。最良の音質で録音したいときは、録音モードを『SP』にしてください。本機でステレオ2倍長時間録音または4倍長時間録音された曲は、『MDLP』に対応したステレオ長時間再生機能を備えた機器以外では再生できません。曲タイトルのはじめに“LP:”と表示され、無音状態になります。『MDLP』に対応した機器で再生すると、“LP:”は表示されません。MDの編集をするとき、録音モード (SP、LP2、LP4) の異なる曲をつなげることはできません。






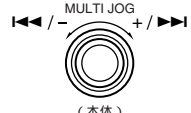




# 録音をする前に (つづき)

曲タイトルの頭に『LP : 』を付けない設定

お買い上げのときは、『LP : 』を自動で付ける設定 (『ON』) になっています。

ステレオ長時間録音された曲のタイトルの頭に『LP : 』を付けない設定にすることができます。



- |          |   |
|----------|---|
| <b>1</b> | 録音モードの設定 (43ページ) の操作2で、<br> を回すか   を<br><small>(本体)</small> <small>(リモコン)</small> <small>(リモコン)</small> を<br>押して、“LP STAMP” を点滅させる。   |
| <b>2</b> |  または  を押し、<br><small>(本体)</small> <small>(リモコン)</small><br> を回すか   を<br><small>(本体)</small> <small>(リモコン)</small> <small>(リモコン)</small> を<br>押して、“OFF” を選ぶ。 |
| <b>3</b> |  または  を押して、<br><small>(本体)</small> <small>(リモコン)</small><br>確定する。   |

# 録音をする前に (つづき)

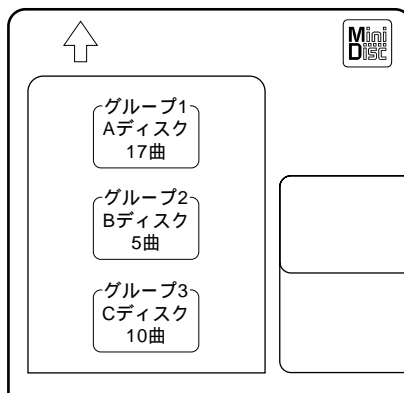
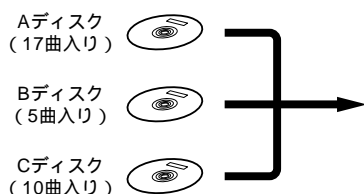
## (2) グループ録音

本機ではいずれのソース (音源) から録音したときも、録音開始から終わりまでを1つのグループとして録音することができます。ディスプレイの“GROUP”表示が点灯しているときは、グループ録音されます。(お買い上げ時の設定)

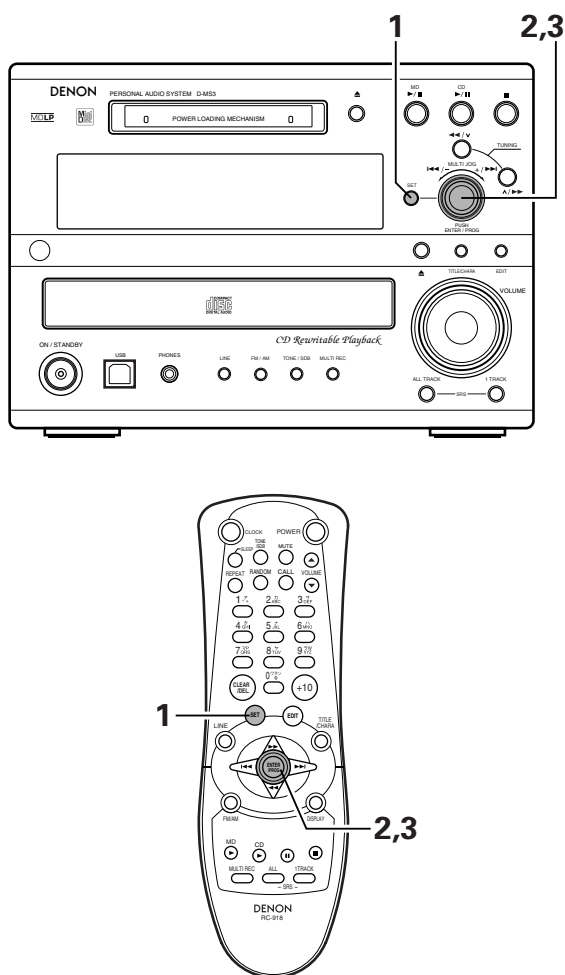
グループ機能については、60ページをご覧ください。

### グループ録音のイメージ図

グループモードの設定がONのときA、B、Cディスクを順番に録音すると、次のようにグループ管理されます。



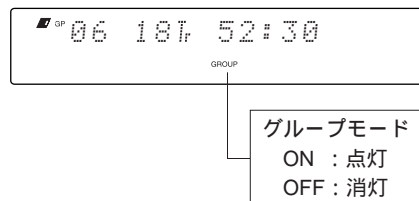
グループモードの設定をOFFにするには



### 【グループとして録音したくないとき】

- 1 SET (本体) または SET (リモコン) を押す。  
“GROUP ON/OFF?” が表示されます。
- 2 PUSH ENTER / PROG (本体) または ENTER / PROG (リモコン) を押す。  
MULTI JOG (本体) を回すか (リモコン) を押すと“ON”、“OFF”を選択できます。
- 3 PUSH ENTER / PROG (本体) または ENTER / PROG (リモコン) を押す。

### 【ディスプレイ表示】



# 録音をする前に(つづき)

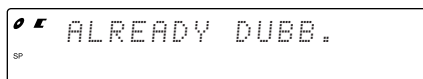
## (3) 高速録音(2倍速録音/4倍速録音)

本機では、CDをMDに等速/2倍速/4倍速で録音することができます。  
CDを従来の約1/2または約1/4の時間で録音することができます。

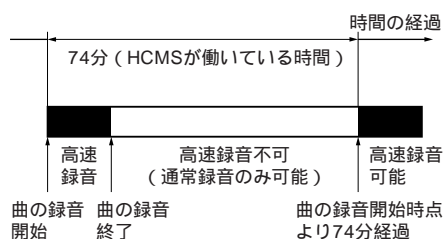
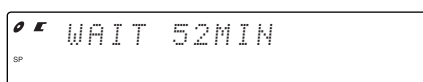
### HCMSについて

ある曲を高速録音すると、録音をはじめた時点から74分間は、同一の曲を高速録音することができません。ハイスピードコピーマネージメントシステム(HCMS)では、CDの曲ごとに固有なデータ(ISRC: International Standard Recording Code)をもとに、録音しようとしている曲が74分以内に録音されているかどうかを判定します。

高速録音しようとしている曲が74分以内に録音されていると以下のように表示され、高速録音できません。



すでに高速録音された曲を再び高速録音した場合、“ALREADY DUBB.”が表示され、再録音(高速)が可能になるまでの時間が表示されます。



高速録音を曲の途中で止めたり、曲の録音中にMDの残り時間がなくなると...

その曲はMDに記録されます。この場合、記録された曲を消去して高速録音をしてください。

高速録音中に本機の電源を切ったり、スリープタイマーで電源が切れると...

その曲はMDに記録されます。この場合、記録された曲を消去して高速録音をしてください。

本機のCDプレーヤーで作ったプログラムを高速録音するときは...

HCMSは曲の録音の可否を1曲ごとに判定するため、同一の曲がプログラムされていると、高速録音できません。

例えば、CDの1 2 3 2曲目の順番でプログラムされている場合、高速録音しようすると“CD SAME TRACK”を表示させ、高速録音を禁止します。

一度に100曲まで録音できます。

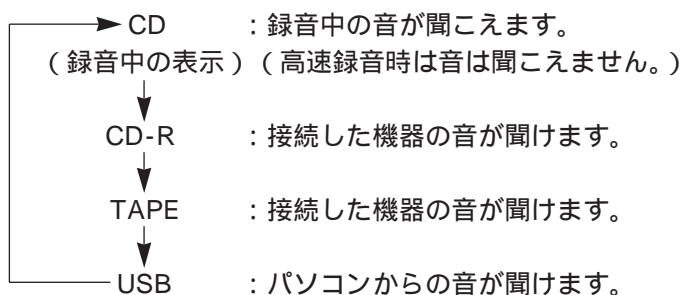
高速録音を始めて、74分以内に100曲の録音が終了した場合、最初に高速録音を始めた時点から74分が経過するまで、101曲目の録音はできません。

録音途中で100曲目の録音が終了したとき、“CANNOT SRS”を表示した後、録音が終了します。

## (4) 裏再生機能について

CDを録音中に他のファンクションを聞くことができます。

録音中に または を押すと、次のようにファンクションが切り替わります。  
(本体) (リモコン)



### ご注意

ピックアップのときは機能しません。  
OPTに接続した機器の音は聞けません。

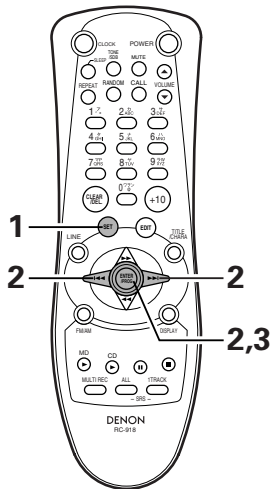
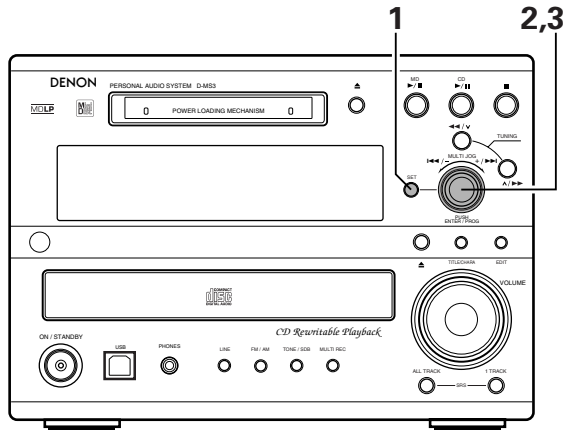
# 録音をする前に (つづき)

## (5) 曲番について

### オートトラックインクリメント機能 (ATM機能)

アナログ録音のときに約3秒の無音部分を曲間とみなして、自動的に次の曲番を付ける機能です。お買い上げのときは『ON』に設定されており、ディスプレイの“ATM”表示が点灯しています。

ATM機能の設定をOFFにするには



### 【ディスプレイ表示】



ATM機能  
ON : 点灯  
OFF : 消灯

### 【曲番を付けたくないとき】

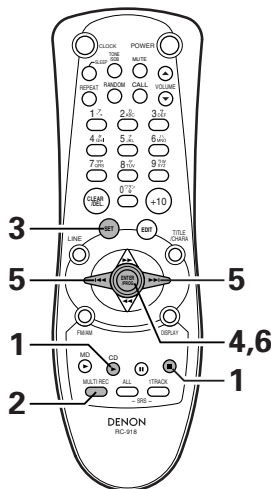
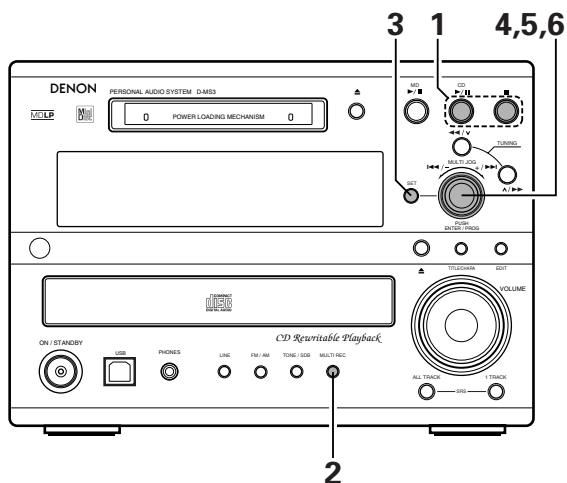
<b>1</b>	<p>SET (本体) または SET (リモコン) を押す。</p>
<b>2</b>	<p>MULTI JOG +/- (本体) を回すか &lt;&lt; &gt;&gt; (リモコン) を押して “ANALOG A.T.M?” が表示されたら、PUSH ENTER / PROG (本体) または ENTER / PROG (リモコン) を押す。</p> <p>A.T.M. ON OFF</p> <p>MULTI JOG +/- (本体) を回すか &lt;&lt; &gt;&gt; (リモコン) を押すと “ON”、“OFF” を選択できます。</p>
<b>3</b>	<p>“OFF” を点滅させ、PUSH ENTER / PROG (本体) または ENTER / PROG (リモコン) を押す。</p> <p>“A.T.M. OFF” が約3秒間表示されます。</p> <p>デジタル録音のときは、ATM機能がOFFであっても“ATM”は点灯します。</p> <p>ATM機能がOFFでデジタル録音のとき</p> <p>A.T.M. OFF CD 017 00:01</p>

# 23 録音レベルを調節する

MULTI RECボタンを使って録音する場合、ソース（音源）がCDまたはOPTからのときに録音レベルを調節することができます。

録音レベルは、ソース（音源）の違いによる録音レベルのバラツキを整えるときや録音レベルが大きすぎたり小さすぎるときに調節します。

## (1) 1曲目を調節するとき



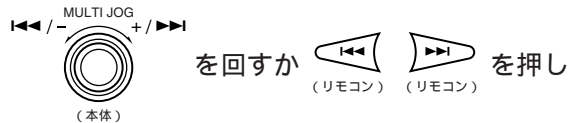
- 1** レベルを調節するCDを入れ、  
 または を押してから、  
(本体) (リモコン)  
 または を押す。  
(本体) (リモコン)  
 入力を『CD』にし、停止状態にします。
- 2** MULTI REC または を押して、  
(本体) (リモコン)  
 録音一時停止状態にする。
- 3** SET または を押す。  
(本体) (リモコン)  
 “REC LEVEL?”が表示されます。
- 4** または を押す。  
(本体) (リモコン)  
 自動的にCDの再生がはじまります。
- 5** を回すか を  
(本体) (リモコン) (リモコン) を  
 押して、調節をおこなう。  
 調節範囲は、 - ~ +12dBです。  
 最も大きなレベルでレベルメーターが“OVER”  
 の位置まで点灯しないように調節します。
- 6** または を押す。  
(本体) (リモコン)  
 録音一時停止状態に戻ります。



# 録音レベルを調節する(つづき)

## (2) 途中の曲を調節するとき

操作2の録音一時停止状態で



を回すか を押し

で希望する曲を選び、操作3～6を操作する。  
リモコンのダイレクトボタンで選ぶこともできます。

### ご注意

外部機器やチューナーのアナログ録音の録音レベル調節はできません。

録音レベルは、- ~ +12dB (1dB単位) の範囲で調節できます。お買い上げ時は『00dB』に設定されています。

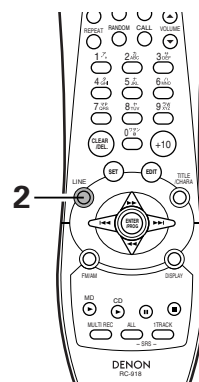
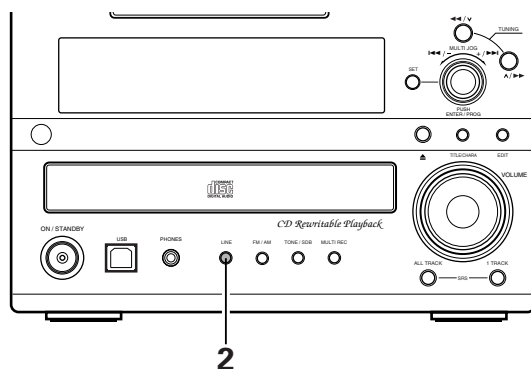
設定した録音レベルは、以下の操作で00dBに戻ります。

操作6の状態でのマルチジョグダイヤル または リモコンのダイレクトボタン が押され

たとき

録音が終了したとき

## (3) OPTの録音レベルを調節するとき

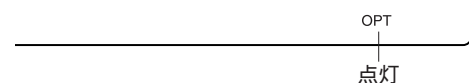


### 1 デジタル機器を接続し、再生する。

LINE または LINE を押して、  
(本体) (リモコン)

『OPT』を選ぶ。  
OPTICAL IN端子に正しく接続されていると、ディスプレイの“OPT”が点灯します。

### 2



“OPT”が消灯しているときに

MULTI REC または MULTI REC が押されたときは、  
(本体) (リモコン)

“DIN UNLOCK”が表示され、録音一時停止状態になりません。

### 3

48ページの『1曲目を調節するとき』の操作2～6を操作する。

### ご注意

以下の操作をおこなったとき、一瞬音が途切れますが、故障ではありません。

MULTI REC または MULTI REC が押され、一時停止状態  
(本体) (リモコン)

になったとき

一時停止状態でマルチジョグダイヤル または リモコンのダイレクトボタン が押され

たとき

SCMSによりデジタルコピー禁止のソースの場合、“COPY PROHIBIT”が表示され、録音一時停止状態になりません。

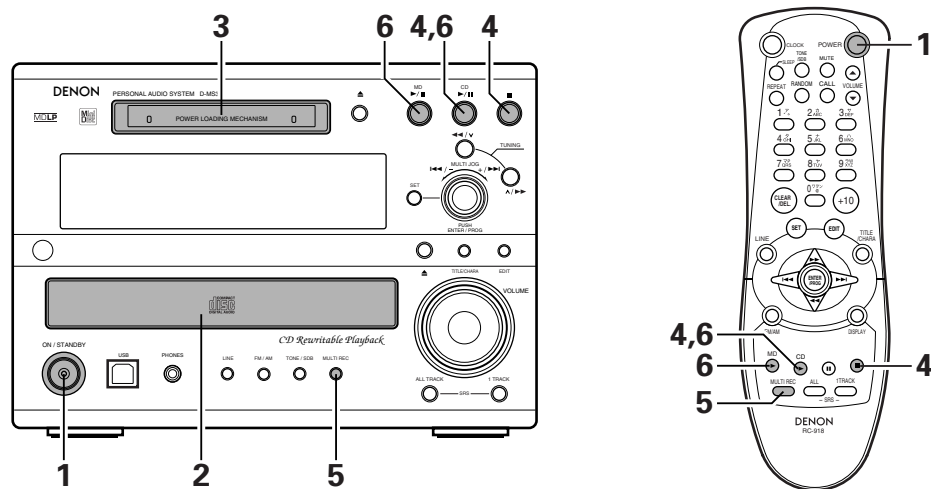
# 24 CDからMDへ録音する

録音済みのMDを使用するときは、残り時間にご注意ください。(43ページ参照)

録音済みのMDの内容をすべて消去して、MDの頭から録音したいときは、全曲消去操作をおこなってから録音してください。(84ページ参照)

録音をおこなうときは、誤録音/誤消去防止ツメをずらして孔を開けてください。(10ページ参照)

録音中に他のファンクションが聞けます。(裏再生機能：46ページ参照)



<b>1</b>	<p>ON / STANDBY</p> または  を押して、 (本体) (リモコン) 電源を入れる。
<b>2</b>	再生するCDを入れる。
<b>3</b>	録音用MDを入れる。
<b>4</b>	<p>CD </p> または  を押してから、 (本体) (リモコン) または  を押す。 (本体) (リモコン) 入力を『CD』にし、停止状態にします。
<b>5</b>	<p>MULTI REC </p> または  を押す。 (本体) (リモコン) 通常録音一時停止状態になります。 必要に応じて録音レベルを調節してください。 (48ページ参照)

**6** 録音を開始する。

CD または を  
(リモコン) (本体) (リモコン) (本体)  
押す。

一時的に録音を止めるには

録音中に または を押す。  
(本体) (本体) (リモコン)

録音一時停止状態から録音を続けるには

または を押す。  
(本体) (リモコン) (本体) (リモコン)

録音を止めるには

または を押す。  
(本体) (リモコン)

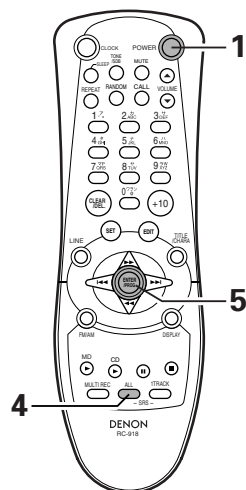
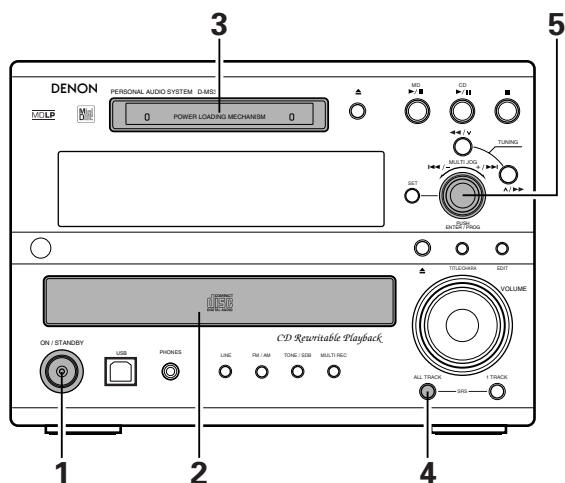
**ご注意**

MDが停止すると、TOC情報を書き込みます。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅します。このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。



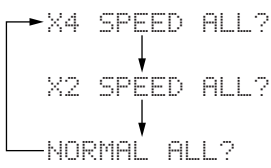


# 25 CDのすべての曲を録音する(オールトラックシンク口録音)

高速録音ができます。

録音中に他のファンクションが聞けます。(裏再生機能：46ページ参照)



**ご注意**  
 高速録音をおこなう際、ディスクによってはノイズが録音される場合があります。このような場合は、等速で録音をおこなってください。

<b>1</b>	<p>ON / STANDBY</p>  または  を押して、 (本体) (リモコン) 電源を入れる。
<b>2</b>	再生するCDを入れる。
<b>3</b>	録音用MDを入れる。
<b>4</b>	<p>ALL TRACK</p>  — SRS または  — SRS — を押す。 (本体) (リモコン) 押すたびに、  と切り替わるので、希望する録音スピードを選ぶ。
<b>5</b>	<p> または  を押す。                  (本体) (リモコン)                  ディスクチェックモードに入り、ディスクの状態を確認します。</p>  <p>問題がなければ、自動的に録音を開始します。4倍速 (X4 SPEED)、2倍速 (X2 SPEED) 録音のときは、CDの音を聞くことができません。</p>

## ディスクチェックモード

録音するCDがSCMSによりデジタルコピー禁止のソースが確認します。

禁止ソースの場合、アナログ録音となります。(自動的に切り替わります。)



アナログ録音時は等速録音になります。

## 録音を止めるには

 または  を押す。  
 (本体) (リモコン)

MDが停止すると、TOC情報を書き込みます。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。

## REC ERROR表示

ディスクチェックモードから録音終了までの間にCDの汚れや傷などで録音が途中で停止したときに表示します。

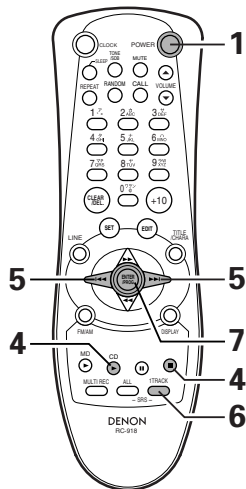
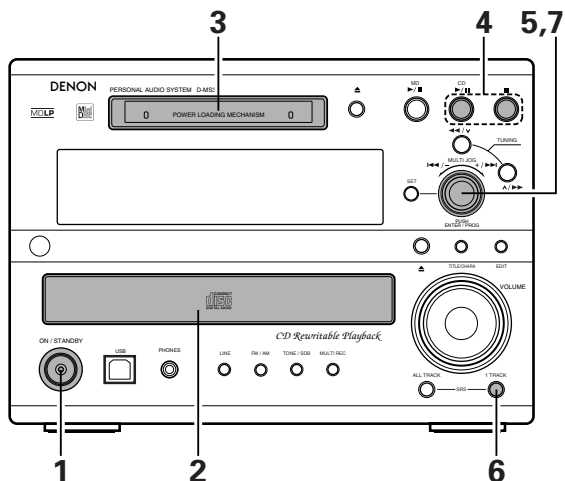


ボリューム、ボタン操作がない限り表示を解除しません。

# 26 CDの任意の1曲を録音する (1トラックシンクロ録音)

高速録音ができます。

録音中に他のファンクションが聞けます。(裏再生機能：46ページ参照)



**ご注意**  
 高速録音をおこなう際、ディスクによってはノイズが録音される場合があります。このような場合は、等速で録音をおこなってください。

<b>1</b>	<p>ON / STANDBY</p> <p>または  を押して、          (本体) (リモコン)</p> <p>電源を入れる。</p>
<b>2</b>	再生するCDを入れる。
<b>3</b>	録音用MDを入れる。
<b>4</b>	<p> または  を押してから、          (本体) (リモコン)</p> <p> または  を押す。          (本体) (リモコン)</p> <p>入力を『CD』にし、停止状態にします。</p>
<b>5</b>	<p> を回すか   を          (本体) (リモコン) (リモコン)</p> <p>押して、曲番を選ぶ。</p>
<b>6</b>	<p> または  を押す。          (本体) (リモコン)</p> <p>押すたびに、</p> <pre>         X4 SPEED?         ↓         X2 SPEED?         ↓         NORMAL SPEED?         </pre> <p>と切り替わるので、希望する録音スピードを選ぶ。</p>

**7**

または を押す。  
 (本体) (リモコン)

ディスクチェックモードに入り、ディスクの状態を確認します。

問題がなければ、自動的に録音を開始します。  
 4倍速 (X4 SPEED)、2倍速 (X2 SPEED) 録音のときは、CDの音を聞くことができません。

**録音を止めるには**

または を押す。  
 (本体) (リモコン)

MDが停止すると、TOC情報を書き込みます。  
 書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。

ディスクチェックモード (51ページ参照)  
 REC ERROR表示 (51ページ参照)

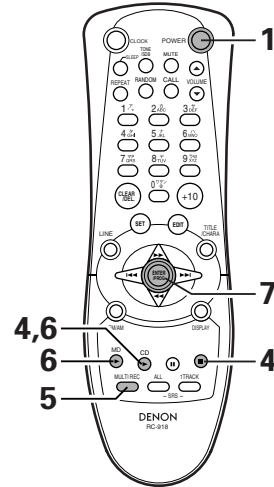
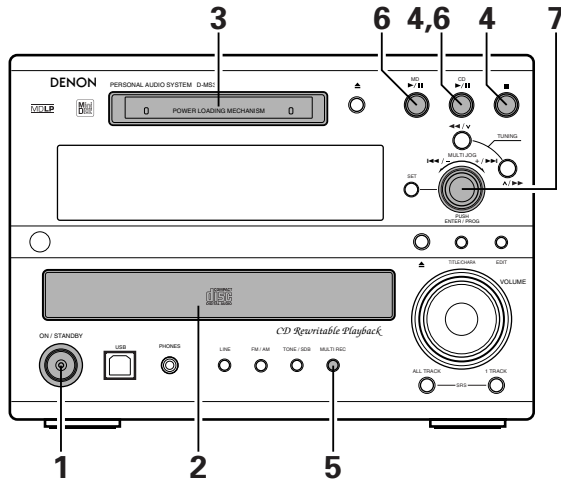
# 27 曲の途中でその曲の始めから録音する

本機をピクレックモードにすることにより、CDやチューナーなどで曲を聞きながら、曲の途中で録音操作をおこなえます。(ピクレック機能)

ピクレック機能で録音できるのは、ピクレックモードにしてピクレックをはじめたときからの内容です。曲の途中でピクレックモードにしたときは、その曲の頭から録音することができません。

## (1) CDからのピクレックのはじめかた

チューナーからのピクレックは、59ページをご覧ください。  
他の機器からのピクレックは、90ページをご覧ください。




<b>1</b>	<p>ON / STANDBY または POWER を押して、電源を入れる。</p>
<b>2</b>	再生するCDを入れる。
<b>3</b>	録音用MDを入れる。
<b>4</b>	<p>または  を押してから、   または  を押す。          入力を『CD』にし、停止状態にします。</p>
<b>5</b>	<p>または  を2回押して、“PICK REC”を表示させる。          ピクレック一時停止状態になります。          必要に応じて録音レベルを調節してください。(48ページ参照)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>点灯</p> </div>

<b>6</b>	<p>または  を押す。          “PICK REC”を表示後ピクレック可能時間が表示され、ピクレックモードになります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center;">録音可能時間</p> </div>
<b>7</b>	<p style="text-align: center;"><b>ピクレック中の曲番を選択するとき</b></p> <p>その曲番の再生が終わるまでに</p> <p>または  を押す。          “PICK REC”表示が点滅して、その曲番が選択されます。          曲番が変わると“PICK REC”表示が点灯に変わります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> </div> <p style="text-align: center;"><b>ピクレック中の曲番を選択しないとき</b></p> <p>何も操作しない。          “PICK REC”表示が点灯している曲番は、選択されません。</p>



# 曲の途中でその曲のはじめから録音する(つづき)

入力ファンクションが『CD』のときは、不要な曲番

を  または  (リモコン) で次の曲番へ

送ることができます。

“PICK REC”表示が点灯中(曲番を選択していないとき)は、

 を右に回すか  (リモコン)

を押してください。

“PICK REC”表示が点滅中(曲番を選択しているとき)は、

 または  を押して、

“PICK REC”表示を点灯に変えてから

 を右に回すか  (リモコン) を押してくだ

さい。

ピックアップをおこなっている場合、曲の途中で曲番が変わることがあります。

録音したい曲番は、

すべて  または  を押してください。

操作Aで  または  を押した後で

録音が不要になったときは、その曲番の選択中に

もう一度  または  を押してくださ

い。

“PICK REC”表示が点灯に変わり、選択を取り消します。

## ピックアップ可能時間について

ピックアップをはじめてからのピックアップ可能時間は、録音用MDの録音可能時間になります。できるだけ長時間録音できるMDを使用するとともに、ピックアップ中はディスプレイの可能時間表示を確認して、残り時間に注意してください。

ピックアップ可能時間がなくなったときには、自動的に停止します。この場合は、55ページの『ピックアップの止めかた』によりMDへの書き込みを完了させてください。

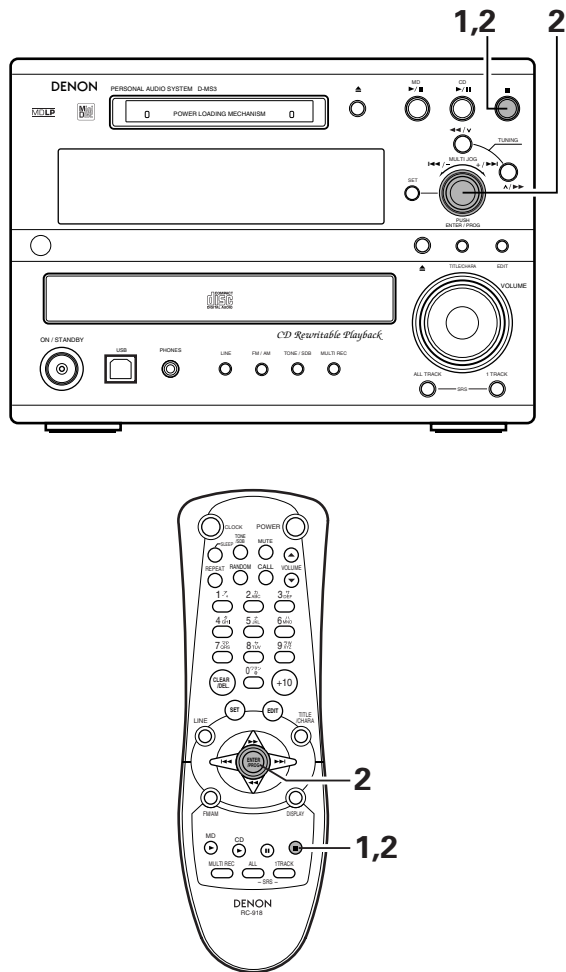
ピックアップ可能時間が残っていても、ピックアップをはじめてからの曲番が36以上になると、“PICK REC”表示が2回点滅をくり返します。“PICK REC”表示が2回点滅した後は、録音する/しないの選択ができませんので、一度ピックアップを止めて、MDへの書き込みを完了させて再度ピックアップをはじめてください。

## ご注意

ピックアップのときは、裏再生機能はできません。

# 曲の途中でその曲のはじめから録音する (つづき)

## (2) ピックレックの止めかた



1

○ または (リモコン) を押す。  
(本体)

録音が停止して “P-REC OK?” が表示されます。  
(ピックアップ可能時間がなくなったときには、自動的に停止して “P-REC OK?” が表示されます。)

### 録音する曲の選択がうまくいかなかったとき

○ または (リモコン) を押す。  
(本体)

“P-REC CANCEL” が表示され、ピックアップをはじめてから再生された曲番すべてがMDに記録されます。

### 録音する曲の選択がうまくいったとき

2

○ または (リモコン) を押す。  
PUSH ENTER/PROG (本体)      ENTER/PROG (リモコン)

“P-REC EDIT” が表示されます。

ピックアップ中に ○ または (リモコン) を押して、『選択する』を選択した曲番のみをMD内に記録します。

“P-REC EDIT” が表示されているときは、他の操作をおこなわないでください。記録された内容が損なわれたり、正しく記録されない場合があります。

ON / STANDBY

ピックアップ中に ○ または POWER ○ で  
(本体)      (リモコン)

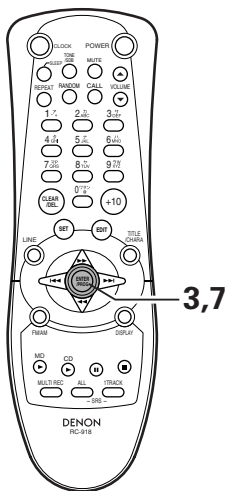
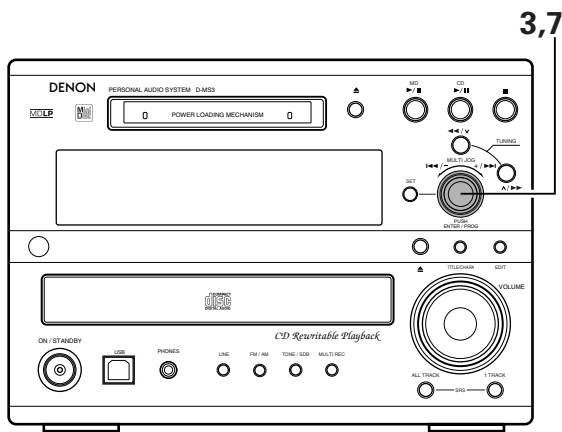
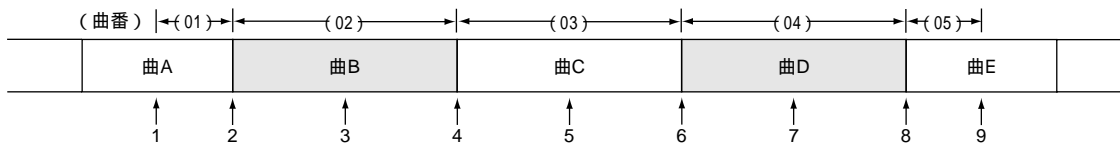
スタンバイにした場合は、ピックアップをはじめてから再生された曲すべてがMDに記録されます。

ピックアップをはじめてから数秒で止めた場合でも “P-REC OK?” が表示されますが、1曲も録音されていないことがあります。

# 曲の途中でその曲のはじめから録音する(つづき)

## (3) ピックレックの使用例

音楽CDをピックアップする例を説明します。(ブランクディスクを使用)



1	53ページの操作5、6をおこなって、ピックアップをはじめます。曲番：01 “PICK REC”表示が点灯します。
2	曲番が変わる。曲番：02 “PICK REC”表示は点灯のままです。
3	曲Bを録音するとき  または  を押す。 (リモコン) “PICK REC”表示が点滅になります。
4	曲番が変わる。曲番：03 “PICK REC”表示が点灯に変わります。
5	曲Cを録音しないとき 何も操作しない。 “PICK REC”表示は点灯のままです。
6	曲番が変わる。曲番：04 “PICK REC”表示は点灯のままです。
7	曲Dを録音するとき  または  を押す。 (リモコン) “PICK REC”表示が点滅になります。
8	曲番が変わる。曲番：05 “PICK REC”表示が点灯に変わります。
9	音楽CDが終了したら、55ページの操作1、2の『録音する曲の選択がうまくいったとき』をおこなって、ピックアップを止める。 MDには曲Bと曲Dだけが録音されます。 曲番は曲Bが01、曲Dが02に編集されます。

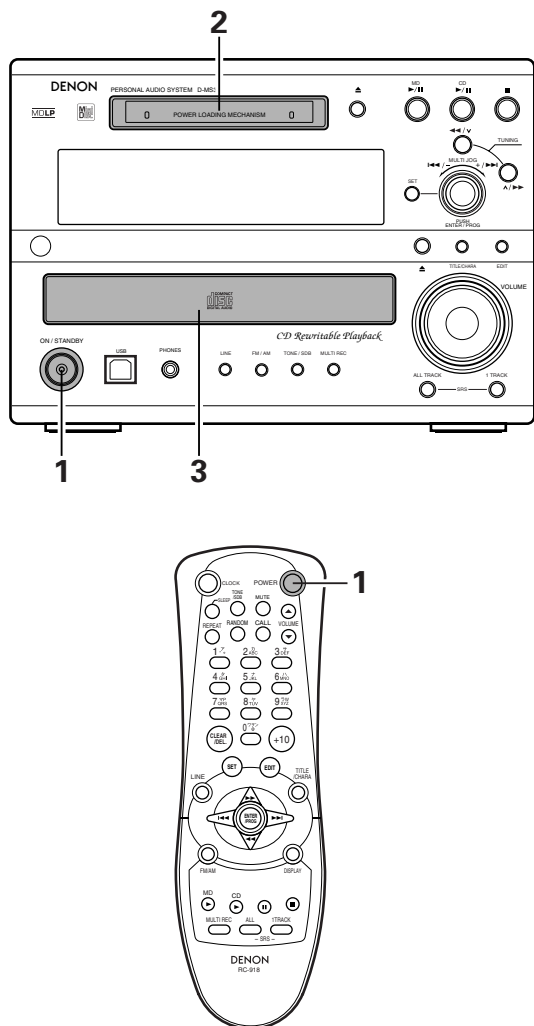
### ご注意

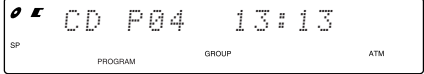
アナログ入力の場合、操作2、4、6、8で約3秒以上無音部がないと自動的に曲番が変わりません。  
この場合は、ピックアップ終了後、55ページの『ピックアップの止めかた』の操作2の『録音する曲の選択がうまくいかなかったとき』をおこなってから、76、77ページの『曲を分割する』および82、83ページの『曲を消去する』を参照して、分割と消去をおこなってください。



# 28 プログラム録音


CDの好きな曲を好きな順に登録して、MDに録音することができます。  
録音終了後もプログラムは残りますので、同じ順番で再び再生したいときに便利です。



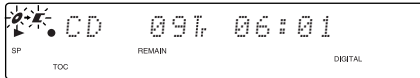
<p>1</p>	<p>ON / STANDBY</p> <p>または POWER (リモコン)</p> <p>を押して、電源を入れる。</p>
<p>2</p>	<p>録音用MDを入れる。</p>
<p>3</p>	<p>再生するCDを入れてプログラムする。 (41ページ参照)</p> 
<p>4</p>	<p><b>通常録音をおこなうとき</b></p> <p>50ページの操作5、6をおこなってください。</p> <hr/> <p><b>高速録音をおこなうとき</b></p> <p>オールトラックシンクロ録音 51ページの操作4、5をおこなってください。</p> <p>1トラックシンクロ録音 52ページの操作6、7をおこなってください。</p>
<p>1トラックシンクロ録音で録音するときは、プログラムした最初の曲しか録音できません。 通常録音、高速録音のときは、裏再生機能が可能です。(46ページ参照)</p>	

# 29 録音状態を確認する

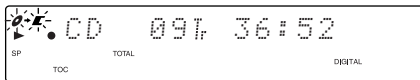
## CDを録音しているとき

録音中、 を押すたびに、  
ディスプレイの表示が切り替わります。

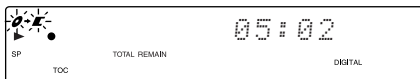
再生中の曲の残り時間



全体の経過時間




全体の残り時間

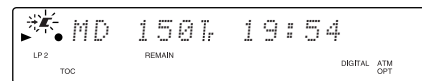


解除


## 『FM/AM』『CD-R』『TAPE』『OPT』を録音しているとき

録音中、 を押すたびに、  
ディスプレイの表示が切り替わります。

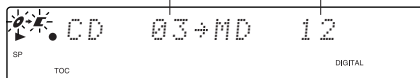
【例】『OPT』をデジタル録音しているとき



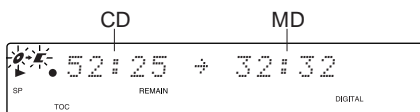
解除

録音中、 を押すたびに、  
ディスプレイの表示が切り替わります。

CDとMDの曲番  
再生している曲番    録音している曲番

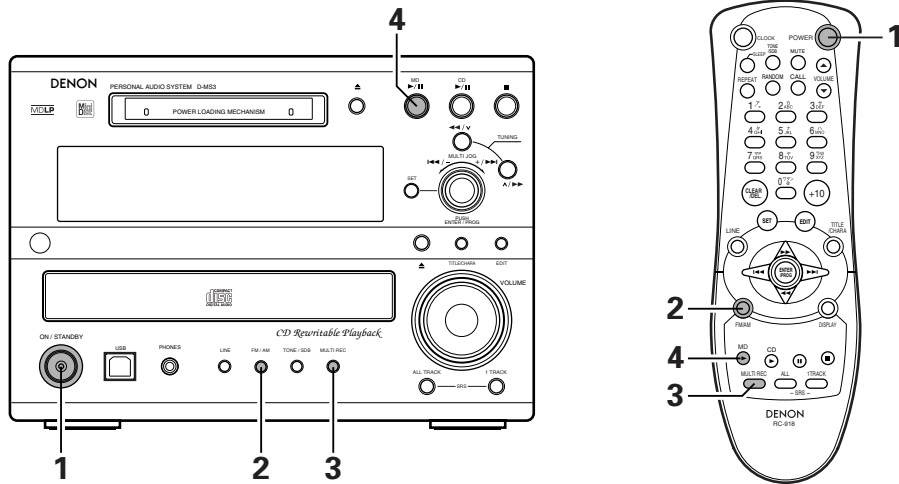


CD全体の残り時間とMDの録音可能時間





解除

# 30 ラジオ放送をMDへ録音する



1	<p>ON / STANDBY</p>  <p>または  を押して、 (本体) (リモコン)</p> <p>電源を入れる。</p>
2	<p>FM / AM</p>  <p>または  を押す。 (本体) (リモコン)</p> <p>録音したい放送局を受信する。 (37ページ参照)</p>
3	<p>MULTI REC</p>  <p>または  を押す。 (本体) (リモコン)</p> <p>通常録音一時停止状態になります。</p>
4	<p>録音を開始する。</p>  <p>または  を押す。 (本体) (リモコン)</p>

## 一時的に録音を止めるには

録音中に  または  を押す。  
(本体) (リモコン)

## 録音一時停止状態から録音を続けるには

 または  を押す。  
(本体) (リモコン)

## 録音を止めるには

 または  を押す。  
(本体) (リモコン)

## MDへの録音可能時間を確かめるには

58ページをご覧ください。

## ピックレックをおこなうには

操作3で  または  を2回押して  
(本体) (リモコン)

“PICK REC” を表示させ、

 または  を押す。  
(本体) (リモコン)

録音している番組が終了したら、55ページの操作1、2をおこなってピックレックを終了させてください。

## ご注意

ピックレックでの曲の選択がうまくいかなかったときは、ピックレック終了後、55ページの『ピックレックの止めかた』の操作2の『録音する曲の選択がうまくいかなかったとき』をおこなってから、76、77ページの『曲を分割する』および82、83ページの『曲を消去する』を参照して、分割と消去をおこなってください。

ATM ONで録音すると、録音する番組によっては短い時間の間に曲数が増え続ける場合があります。(トーク番組など)

チューナーを録音するときは、ATM OFFで録音することをおすすめします。

## 31 MDグループ機能について

MDグループ機能とは、新しい機能としてMDに収録されている曲をグループ管理する機能です。本機では、MDLP (MD LONG PLAY) フォーマット対応により、通常録音時間の2倍長または4倍長のステレオ録音ができます (MDLP録音)。しかし、従来よりも多くの曲が録音できるようになりましたが、再生するときに曲を見つけるのが大変です。このために録音された曲をグループに分割して管理し、簡単に再生、検索ができるようにしました。

本機のグループ機能は下記のような操作ができます。

### 1. グループを作る

MDに収録されている連続した複数の曲をグループとして登録し、グループを作ります。

本機でMD1枚に登録できるグループ数は最大10グループです。

収録後のグループ登録の変更などができます。

### 2. 聞きたいグループを再生する

1グループ再生：1グループを再生する場合の機能です。

グループプログラム再生：登録したグループをプログラム再生する場合の機能です。

### 3. グループの中の曲を変更およびグループを解除する

グループに登録されている曲を消去、分割、結合および移動できます。

グループを解除できます。

### 4. グループのタイトルをつける、変更する

登録したグループにグループ名をつけることができます。

登録したグループのグループ名を変更できます。

本機で入力できるグループ名の文字数の合計は約100文字です。

### ご注意

グループ機能を搭載していない機器での編集  
グループ登録したディスクをグループ機能を搭載していない機器で1曲消去、曲の移動などの編集をしないでください。グループとして登録した曲番が編集前と異なり、グループ機能が正しく動作しなくなります。

グループ機能を搭載していない機器でのグループ情報の表示

グループ情報は、実際はディスク名情報の格納部に書かれています。そのため、グループ機能を搭載していない機器でディスク名を表示させると以下のような表示になりますが、故障ではありません。

0 ; ディスク名//1-5 ; グループ名1//6-9 ; グループ名2//...

本機のグループ機能の制限

本機で扱えるグループは最大10グループです。

グループ名の文字数合計は約100文字です。

この制限を超えたMDを使用した場合、また、曲番登録のないグループはグループとして認識しません。



本機で編集作業をおこなうと、本機の制限を超える情報は消去されます。


グループタイトル

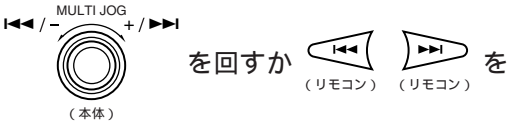
1つのグループに多くの文字入力をする、登録できるグループ数が減ってしまいます。10グループすべてを登録してタイトルを付けるには、『1グループ10文字前後の文字入力』をおすすめします。






# グループを作る (つづき)


**7**  または  を押す。  
最初の曲番が確定されます。




**8**  を回すか を を  
押し、グループ登録したい最後の曲番を表示させる。





**9**  または  を押す。





↓




**10**  または  を押す。  
グループタイトル入力モードになります。



タイトルの入力のしかたは、『ディスク名をつける』(70、71ページ)の操作を参照してください。

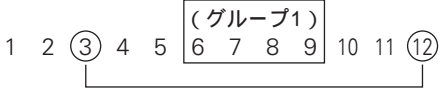
**11**  または  を押す。

**12**  を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。

TOC情報を書き込み、MDを排出します。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。

- ・録音を停止したとき
- ・録音一時停止を停止したとき
- ・電源を切ったとき(スタンバイ状態)

下図のようにグループにする最初の曲(3曲目)と最後の曲(12曲目)は、グループ管理されていなくても、間にグループがはさまれているとグループを作ることはできません。



このような場合は、『グループを解除する』(85ページ)の操作をして、グループを解除してからグループを作り直してください。

**ご注意**

一度グループに登録された曲は選択できません。10グループがすでに登録されている場合、“GROUP OVER”を表示します。ディスク名、グループ名の文字数に制限があるため、10グループ登録できない場合があります。(“TITLE FULL”や“CANNOT EDIT”が表示されます。)  
全トラックがすでにグループ登録されている場合は、“CANNOT EDIT”が表示されます。

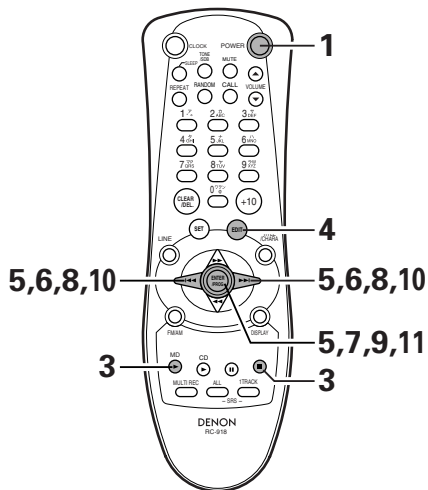
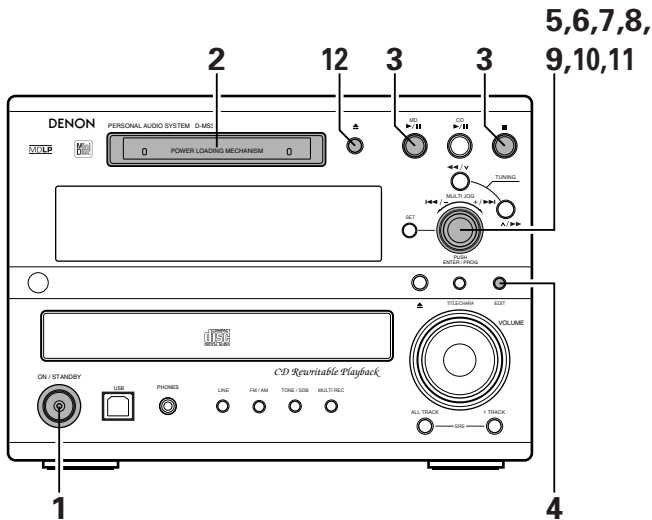
# グループを作る (つづき)

## グループの曲を変更する

グループ内の曲を変更できます。

グループとして管理されていない曲の前後にグループがある場合、グループにすることができます。

[例] グループ2 (4曲目~8曲目) を3曲目~9曲目に変更するとき



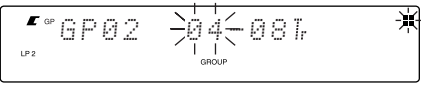





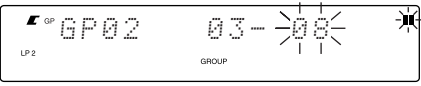



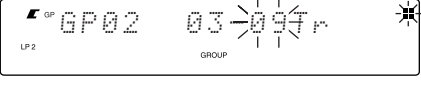






- 1 または を押して、  
(本体) (リモコン)  
電源を入れる。
  - 2 編集するMDをMD挿入口に入れる。  
ディスプレイの“GROUP”表示が点灯していることを確認してください。  
消灯しているときは、グループモードを『ON』に設定してください。(45ページ参照)
  - 3 または を押してから、  
(本体) (リモコン)  
 または を押す。  
(本体) (リモコン)  
停止状態になります。
  - 4 または を押す。  
(本体) (リモコン)
  - 5 を回すか を押して“GP MODIFY?”が表示されたら、  
(本体) (リモコン) (リモコン)  
 または を押す。  
(本体) (リモコン)
- LP2 GP MODIFY? GROUP

↓

LP2 GP01? 01- 02 GROUP
- 6 を回すか を  
(本体) (リモコン) (リモコン)  
押して、変更したいグループを選択する。

# グループを作る (つづき)

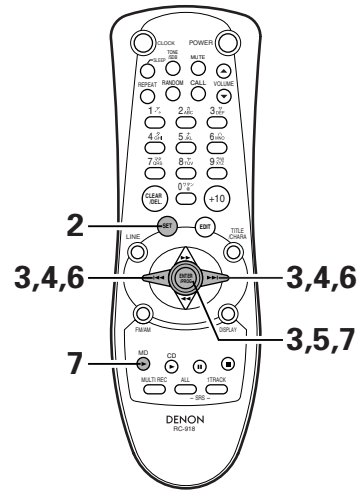
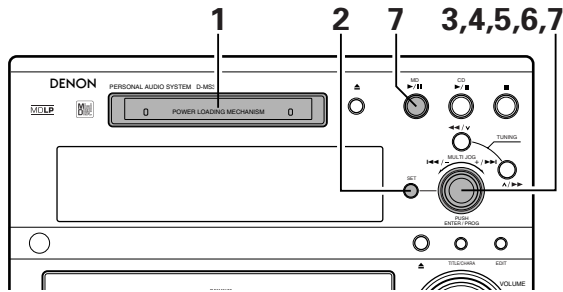
7	<p>  または  を押す。         </p> 
8	<p>  を回すか   を         </p> <p>押し、変更したい最初の曲番を表示させる。</p>
9	<p>  または  を押す。         </p> 
10	<p>  を回すか   を         </p> <p>押し、変更したい最後の曲番を表示させる。</p> 
11	<p>  または  を押す。         </p> <p>“COMPLETE”表示後、停止状態になります。</p>
12	<p>  </p> <p>  を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。         </p> <p>TOC情報を書き込み、MDを排出します。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・録音を停止したとき</li> <li>・録音一時停止を停止したとき</li> <li>・電源を切ったとき（スタンバイ状態）</li> </ul>















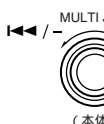









# 33 グループを再生する

## (1) 1グループのみを聞く


まず『グループを作る』の操作をおこなってください。



<b>1</b>	MD挿入口にグループ登録したディスクを入れ、入力を『MD』にして停止状態にします。
<b>2</b>	 または  を押す。 <small>(本体) (リモコン)</small>
<b>3</b>	 を回すか   <small>(本体) (リモコン) (リモコン)</small> を押して“1-GROUP?”が表示されたら、  または  を押す。 <small>(本体) (リモコン)</small> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">1-GROUP? *</div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">1-GP ON/OFF *</div>
<b>4</b>	 を回すか   <small>(本体) (リモコン) (リモコン)</small> を押して、“ON”を点滅させる。
<b>5</b>	 または  を押す。 <small>(本体) (リモコン)</small> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">1-GROUP ON</div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> <small>SP</small> 10 267 76:37  <small>1-GROUP</small> </div> <p>グループ登録のないIMDのときは“NO GROUP”が表示されます。</p>



<b>6</b>	 を回すか   <small>(本体) (リモコン) (リモコン)</small> を押して、グループを選ぶ。
<b>7</b>	 ,  または  ,  を押す。 <small>(本体) (リモコン) (本体) (リモコン)</small> 選んだグループに登録されている曲が再生され、再生が終わると自動的に停止します。
再生中は  を回すか   を押すと、再生中のグループ内の曲番を頭出しします。	

**CALLボタンでの選びかた**

操作6で  を押してもグループを選ぶことができます。  
再生中に押すと、次のグループに切り替わります。

**ご注意**

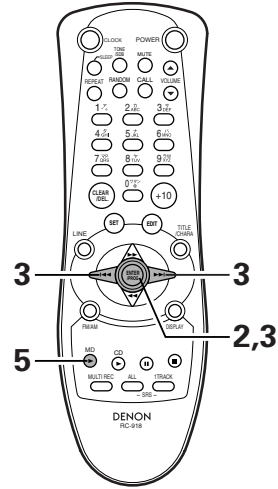
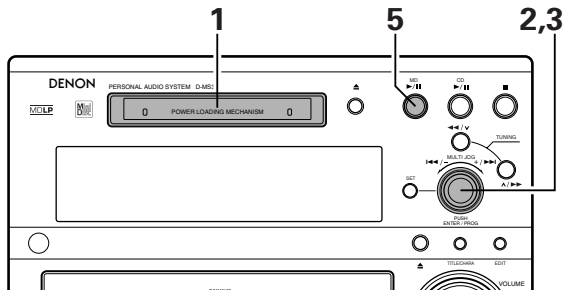
1-GROUPモードは、プログラムまたはランダムモードにすると自動的に解除されます。

1-GROUPモードは  ~  を使って  
(リモコン) (リモコン)  
 ダイレクト再生をすると解除されます。

# グループを再生する(つづき)

## (2) グループプログラム再生

まず『グループを作る』の操作をおこなってください。



**1** MD挿入口にグループ登録したディスクを入れ、入力を『MD』にして停止状態にします。

**2** または を押して、“GROUP PROGRAM”を選ぶ。  
ボタンを押すたびに次のようになります。

```

    MD停止状態(解除)
    ↓
    TRACK PROGRAM
    ↓
    GROUP PROGRAM ← これを選ぶ。
  
```

**3** を回すか (リモコン) を押して、聞きたいグループを指定して または を押す。

(リモコン) ~ (リモコン) でも指定できます。

**グループを間違えたとき**

登録中に (リモコン) を押すと、最後に選んだグループが取り消されます。続けて押すと、順に取り消されます。

**4** 3の操作をくり返して、聞きたいグループを順に指定する。  
プログラムの総再生時間が“999:59”を超えると“---:---”が表示されますが、記憶はされています。

**5** または (リモコン) を押す。

**登録した順番を確かめるには**

(リモコン) を押す。  
登録したグループが順に表示されます。

**登録を取り消すには**

停止中に または を押す。  
(MD取り出しボタン(▲)を押してMDを取り出したときも登録は取り消されます。)


**ご注意**


同じグループを登録することはできません。すべてのグループを登録後に操作3をおこなうと、“FULL”が表示されます。

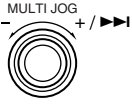





# グループを再生する (つづき)

プログラム内容を訂正するには

[例] 2番目にプログラムした3グループを  
1グループに訂正するとき

**1**  を押して、訂正するグループを表示させる。  
“PROGRAM”表示が点滅します。

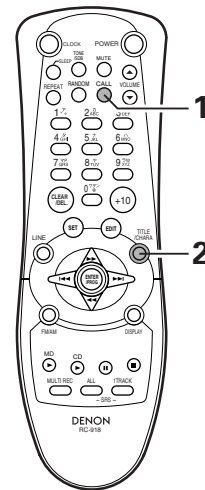
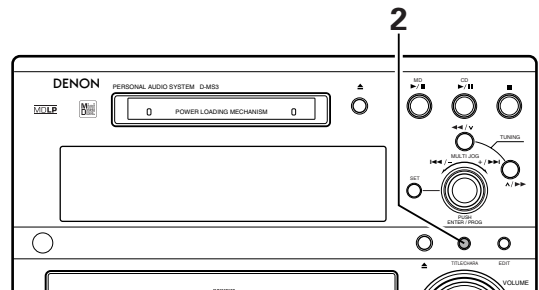



**2** “PROGRAM”表示が点滅している間に  
 を回すか   (リモコン) を押して “01” を表示させ、  
 または  を押す。  
 を押しても訂正できます。

## ご注意

すべてのグループが登録されている場合、訂正はできません。



## (3) グループ名の確認方法



**1** **停止中**  
 を押す。  
 (リモコン)  
 押すたびに次のようになります。

```

    graph TD
      A[CALL (リモコン)] --> B[MD停止状態 (解除)]
      B --> C[グループ1のグループ名をスクロール後、登録曲の範囲を表示]
      C --> D["(グループ2~グループ10)"]
    
```

**2** **再生中**  
 または  を押す。  
 (本体) (リモコン)  
 押すたびに次のようになります。

```

    graph TD
      A[TITLE/CHARA (本体) または (リモコン)] --> B[MD再生状態 (解除)]
      B --> C[再生曲の曲名を表示]
      C --> D[再生曲のグループ名を表示]
    
```





# 34 MDの編集のしかた

編集機能を使用すると、曲番を付けたり、曲をつないだり、不要な部分を消したりすることができます。また、MDや曲ごとにタイトルを付けることもできます。いろいろなMDの便利な編集操作を存分にお楽しみいただけます。

## (1) MD編集機能の紹介

本機の編集機能には、通常編集機能とグループ編集機能があります。

### 通常編集機能

	項目	機能	参照ページ
1	 DIVIDE	曲の途中や必要ところにトラックマークを追加して曲を分けます。	76、77
2	 COMBINE	トラックマークを削除して指定した曲とその1つ前の曲を1つの曲にまとめます。	78、79
3	 MOVE	曲を移動します。	80、81
4	 ERASE	1曲消去：消したい曲を選んで消去します。 全曲消去：MDの内容をすべて消去します。	82～84

### グループ編集機能

	項目	機能	参照ページ
1	GP NAME IN?	指定したグループのグループ名を入力します。	72
2	NEW GROUP?	グループとして管理されていない連続している曲を選んでグループにします。1曲でもグループにすることができます。	61、62
3	GP MODIFY?	グループ内の曲を変更できます。	63、64
4	GP CANCEL?	指定したグループのグループ管理を解除します。	85
5	GP ALL CANCEL?	MD内のすべてのグループのグループ管理を解除します。	86
6	G-NAME ERASE?	指定したグループのグループ名を消去します。	75
7	GP ERASE?	選んだグループを消去します。	87

は次の場合、表示されません。

グループモードがオフのとき（45ページ参照）

グループ録音されていないMDを編集するとき

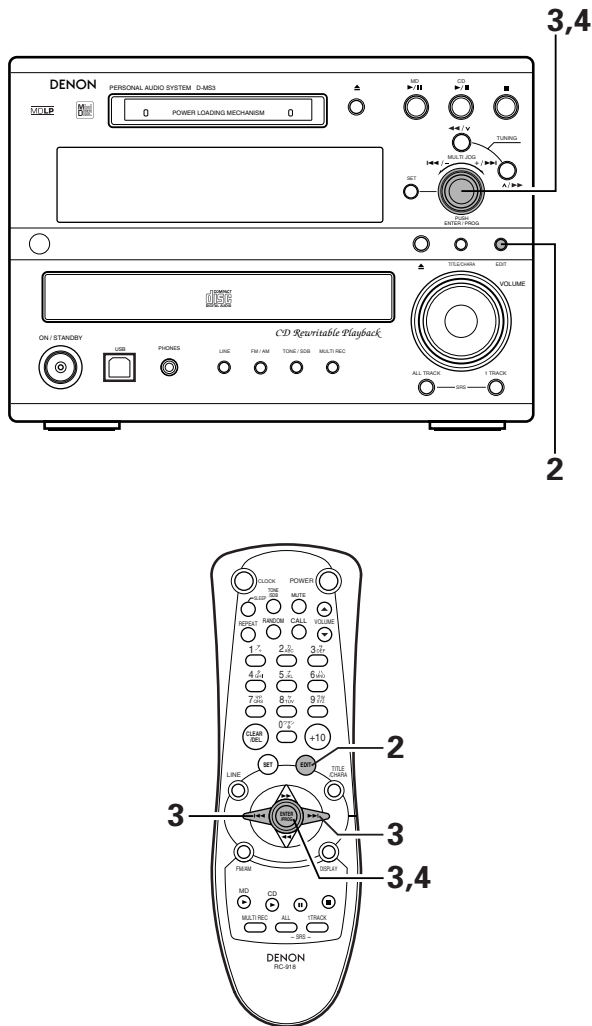
### ご注意

1. 本機で編集作業をおこなうと、本機の制限を超える情報は消去されます。
2. グループ録音されたMDをグループ機に対応していない他の機器で再生すると、ディスク名にグループ管理のために数字・記号が表示されます。この数字・記号を編集により削除すると、グループ登録が消去されます。ご注意ください。
3. 編集およびタイトル入力をおこなうときは、誤録音/誤消去防止ツメをずらして孔を閉じて録音できる状態にしてください。（10ページ参照）
4. MDが『PROGRAM』または『RANDOM』モードのときは、編集ボタン（EDIT）を押しても、編集モードに入れません。

# MDの編集のしかた(つづき)

## (2) 編集内容を取り消す

MDを取り出す前に次の操作をすると、MDを入れたときと同じ状態に戻すことができます。  
取り出した後、あらためて各編集の操作をしてください。



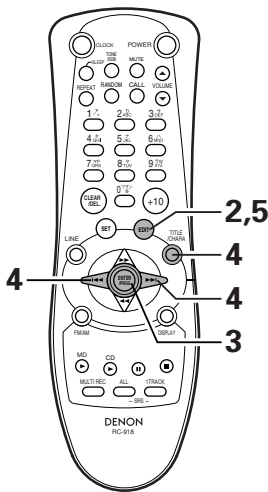
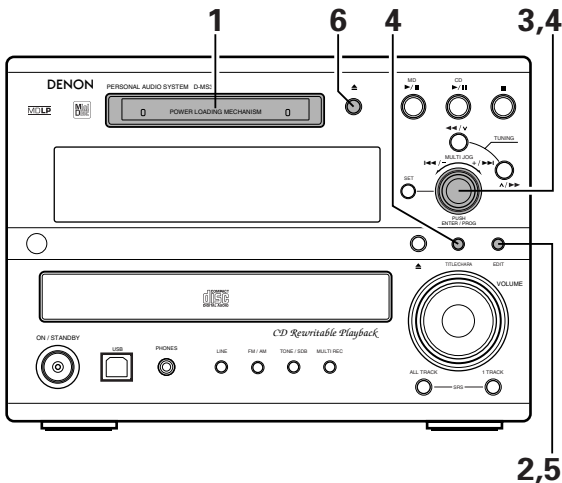
1	<p>編集後、ディスプレイの“TOC”表示が点灯していることを確認する。</p> <p>点灯</p>
2	<p>停止中に  または  を押す。 (本体) (リモコン)</p>
3	<p> を回すか   を (本体) (リモコン) (リモコン) を 押して“EDIT CANCEL?”が表示され たら、 または  を押す。 (本体) (リモコン)</p>
4	<p> または  を押して、 (本体) (リモコン) 編集内容の取り消しを確定する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p>
<p>次のようなときは編集内容の取り消しはできません。 TOC情報の書き替えをおこなったとき (本機をスタンバイ状態にしたとき、 ▲ および  を押したときなど) (本体)</p> <p>録音一時停止状態から停止したとき 新たに録音をおこなったとき 停電したときは、編集内容が取り消されます。</p>	

# MDの編集のしかた(つづき)

## (3) 録音したMDにタイトルをつける

英大文字、英小文字、特殊文字、カタカナで曲名やディスク名を入力することができます。  
 曲名やディスク名、グループ名はそれぞれ約100文字(英数字の場合)まで入力することができます。  
 (グループ名の文字入力制限については、60ページをご覧ください。)

### 1 ディスク名をつける



**1** MD挿入口にディスク名をつけるMDを入れる。

**2** 停止中に または を押す。  
EDIT (本体) (リモコン)

LP 2 GROUP

D-NAME IN?

**3** “D-NAME IN?”が表示されているときに、 または を押す。  
PUSH ENTER/PROG (本体) (リモコン)

タイトル入力待ちを表すカーソルが点滅します。

または を押して入力モード  
TITLE/CHARA (本体) (リモコン)

を選び、 を回すか を押し、 または を押してタイトル文字を入力する。  
MULTI JOG (本体) (リモコン) (リモコン) (リモコン)



本機で入力できても他の機種では表示されない特殊文字がありますので、ご注意ください。


など

**4** または を押すたびに、入力モードが変わります。(カーソルの形が変わります。)

- ..... 英大文字、特殊文字入力モード  
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
 空白! " # \$ % & ' ( ) \* + , - . / : ;  
 < = > ? @ [ ¥ ] \_ ` { | } . ' k .
- ..... 英小文字、特殊文字入力モード  
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
 空白! " # \$ % & ' ( ) \* + , - . / : ;  
 < = > ? @ [ ¥ ] \_ ` { | } . ' k .
- ..... 数字入力モード  
 0123456789
- ..... カタカナ文字入力モード  
 アイウエオカキクケコサシスセソタチツテ  
 トナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤヨ  
 ラリルレロワン\* ロアイウエオヤヨツ  
 -

# MDの編集のしかた(つづき)

5 文字の入力が終わったら、  
 または  を押して確定する。  
 確定したディスク名がスクロールします。

6  を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。  
 TOC情報を書き込み、MDを排出します。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。

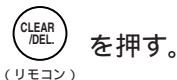
- ・録音を停止したとき
- ・録音一時停止を停止したとき
- ・電源を切ったとき(スタンバイ状態)

## 文字を消去するには

操作5で確定する前に



消したい文字にカーソルを合わせてから



## 文字を修正するには



修正したい文字を消去してから、もう一度文字を入力する。











濁音(゛)または半濁音(゜)を付けた文字を消去するときは、濁音または半濁音も合わせて消去されます。

## リモコンのタイトル入力文字対応表


操作4でタイトル文字を入力する場合、

 ~  を押してもできます。

ボタン	英大文字 (  )	英小文字 (  )	数字 (  )	カタカナ (  )
			1	アイウエオ <small>アイウエオ</small> ・ <sup>°</sup> -
	ABC	abc	2	カキクケコ
	DEF	def	3	サシスセソ
	GHI	ghi	4	タチツテトッ
	JKL	jkl	5	ナニヌネノ
	MNO	mno	6	ハヒフヘホ
	PQRS	pqrs	7	マミムメモ
	TUV	tuv	8	ヤユヨ <small>ヤユヨ</small>
	WXYZ	wxyz	9	ラリルレロ
	特殊文字		0	ワラン

## 【特殊文字で表示するキャラクター】

空白	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	
,	-	.	/	:	;	<	=	>	?	@	[	¥
]	_	`	{		}	^	~	。	「	」	、	・

 で選択します。

## ご注意

本機でつけたカタカナのタイトルは、カタカナ入力に対応していない他の機器では正しく表示されません。また、一部のカタカナ入力対応機器では正しく表示されない場合があります。

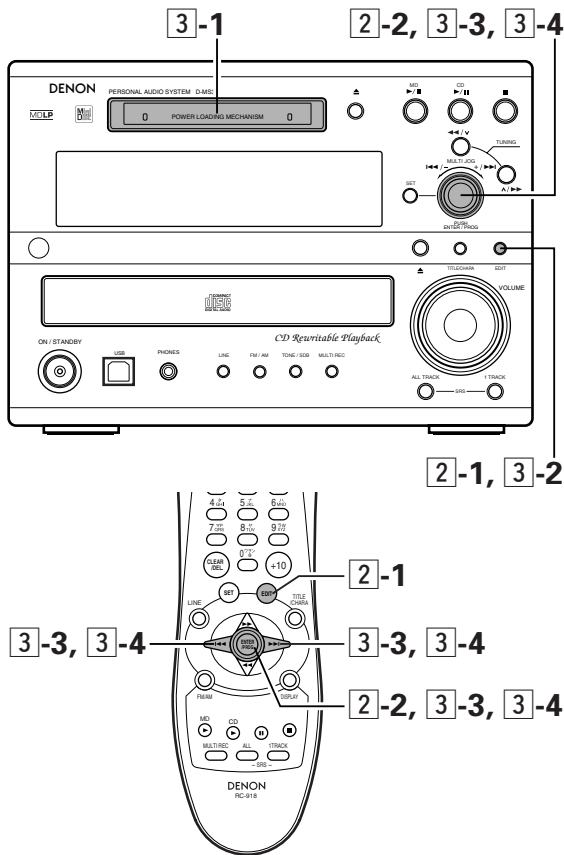
他のMDレコーダーで記録されたカタカナと特殊記号を組み合わせたタイトルは、正しく表示されない場合があります。このような場合は、本機でタイトルを再入力し直すことをおすすめします。

ディスク名と曲名は、それぞれ約100文字(英数字の場合)まで入力することができます。(グループ名の文字数合計は約100文字です。)約100文字を超えるとディスプレイに“TITLE FULL”が表示されます。

ディスク名、グループ名と曲名を合わせて約1000文字(英数字の場合)まで入力できます。文字数を超えるとディスプレイに“TITLE FULL”が表示されます。但し、本機で2倍/4倍長時間録音(LP2/LP4)した曲はその情報(LP: )が記録されるため、約1000文字以下でも“TITLE FULL”が表示されることがあります。

カタカナ文字は1文字当たりのデータ量が多いため、入力できる文字数が英数字に比べて少なくなります。

# MDの編集のしかた(つづき)



## 2 曲名をつける

<b>1</b>	<p>名前をつける曲の再生中に</p> <p> または  を押す。</p> <p>EDIT (本体) (リモコン)</p>
<b>2</b>	<p>“T-NAME IN?”が表示されているときに、 または  を押す。</p> <p>PUSH ENTER / PROG (本体) (リモコン)</p> <p>タイトル入力待ちを表すカーソルが点滅します。</p>
<b>3</b>	<p>タイトルを入力する。</p> <p>タイトルの入力のしかた以降は、『ディスク名をつける』の操作4～6を参照してください。</p>
<p>停止中に曲を選んでいるときや、一時停止中にも曲名をつけることができます。</p> <p>名前を付ける曲の再生が終わり次の曲になると、タイトル入力モードは解除されます。</p> <p>文字の消去・修正は、71ページを参照してください。</p>	

## 3 グループ名をつける

<b>1</b>	<p>MD挿入口にグループ名をつけるMDを入れる。</p> <p>ディスプレイの“GROUP”表示が点灯していることを確認してください。</p> <p>消灯しているときは、グループモードを『ON』に設定してください。(45ページ参照)</p>
<b>2</b>	<p>停止中に  または  を押す。</p> <p>EDIT (本体) (リモコン)</p>
<b>3</b>	<p> を回すか   を</p> <p>押し“GP NAME IN?”が表示されたら、 または  を押す。</p> <p>PUSH ENTER / PROG (本体) (リモコン)</p>
<b>4</b>	<p> を回すか   を</p> <p>押しグループ名を付けたいグループを選び、 または  を押す。</p> <p>PUSH ENTER / PROG (本体) (リモコン)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>タイトル入力待ちを表すカーソルが点滅します。</p>
<b>5</b>	<p>タイトルを入力する。</p> <p>タイトルの入力のしかた以降は、『ディスク名をつける』の操作4～6を参照してください。</p> <p>文字の消去・修正は、71ページを参照してください。</p>

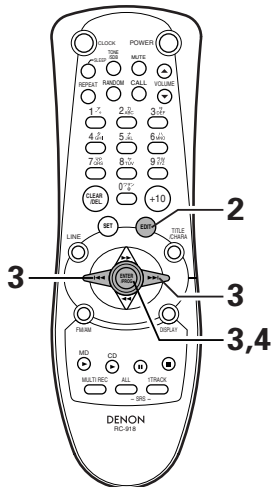
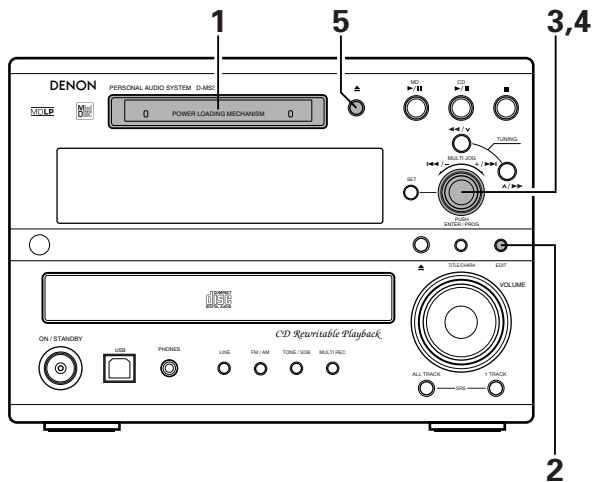


# MDの編集のしかた(つづき)

## (4) タイトルを消去する

ディスク名、曲名やグループ名を消去することができます。

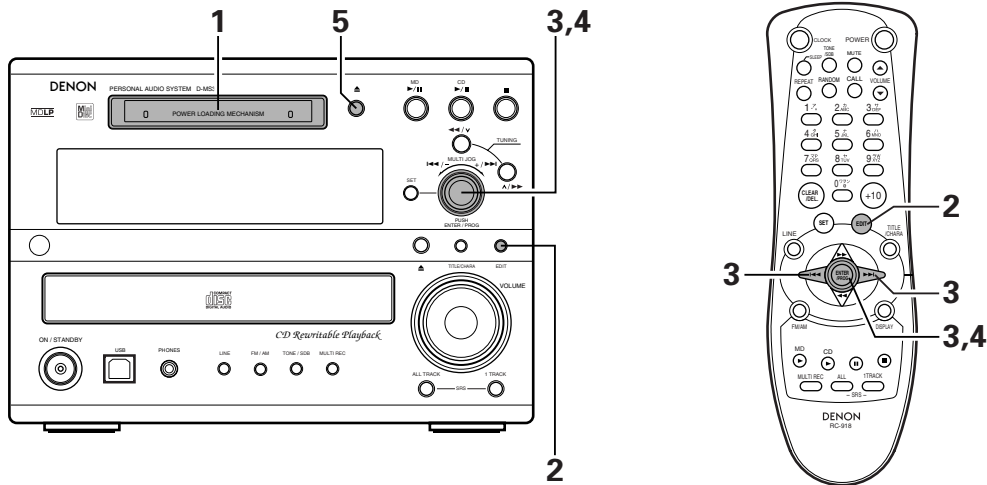
### 1) ディスク名を消去する



<b>1</b>	MD挿入口にディスク名を消去したいMDを入れる。
<b>2</b>	停止中に  または  を押す。 (本体) (リモコン)
<b>3</b>	を回すか   を押して “D-NAME ERASE?” が表示されたら、 または  を押す。 (本体) (リモコン)
<b>4</b>	“ERASE OK?” が表示されたら、 または  を押す。 (本体) (リモコン)
 ↓ 	
<b>5</b>	を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。 TOC情報を書き込み、MDを排出します。 書き込みをはじめると “TOC” 表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。 編集した情報が記録されません。 TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。 ・録音を停止したとき ・録音一時停止を停止したとき ・電源を切ったとき(スタンバイ状態)

# MDの編集のしかた(つづき)

## 2 曲名を消去する



**1** MD挿入口に曲名を消去したいIMDを入れる。

**2** 曲名を消去したい曲の再生中に  
 または を押す。  
EDIT (本体)      EDIT (リモコン)

**3** を回すか を を  
(本体)      (リモコン)      (リモコン)  
 押して“T-NAME ERASE?”が表示され  
 たら、 または を押す。  
PUSH ENTER / PROG (本体)      ENTER / PROG (リモコン)

**4** “ERASE OK”が表示されたら、  
 または を押す。  
PUSH ENTER / PROG (本体)      ENTER / PROG (リモコン)

↓

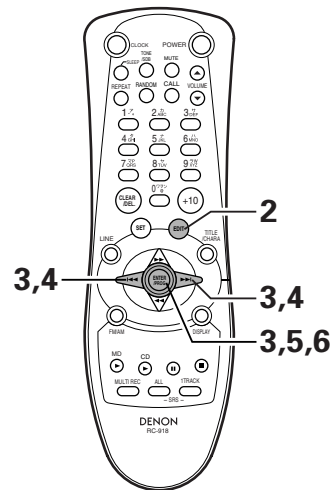
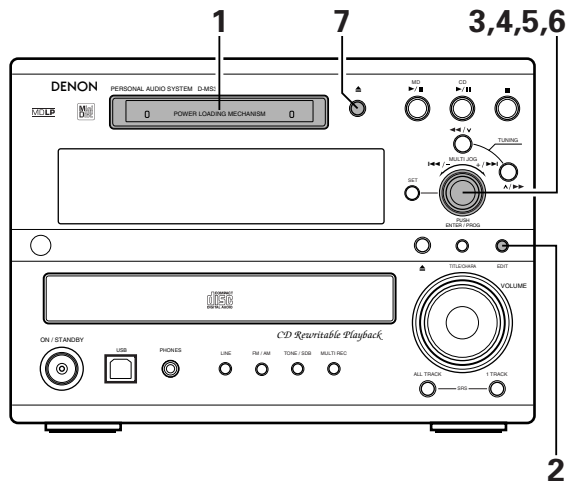
**5** を押し、MDへの書き込み動作を完了  
(本体)  
 させる。  
 TOC情報を書き込み、MDを排出します。  
 書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅し  
 ますので、このとき電源プラグをコンセントから  
 抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。  
 編集した情報が記録されません。  
 TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこ  
 なえます。

- ・録音を停止したとき
- ・録音一時停止を停止したとき
- ・電源を切ったとき(スタンバイ状態)

停止中に曲を選んでいるときや、一時停止中にも曲  
 名を消去することができます。  
 名前を消去する曲の再生が終わり、次の曲になると  
 タイトル消去モードは解除されます。

# MDの編集のしかた(つづき)

## 3 グループ名を取り消す



<b>1</b>	<p>編集するMDをMD挿入口に入れる。</p> <p>ディスプレイに“GROUP”表示が点灯していることを確認してください。消灯しているときは、グループモードを『ON』に設定してください。(45ページ参照)</p>
<b>2</b>	<p>停止中に  または  を押す。</p> <p>(本体) (リモコン)</p>
<b>3</b>	<p> を回すか   を押して、“G-NAME ERASE?”が表示されたら、 または  を押す。</p> <p>(本体) (リモコン) (リモコン)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>LP 2 GP 01? GROUP</p> </div> <p style="text-align: center;">グループ名を表示</p>
<b>4</b>	<p> を回すか   を押して、グループ名を消去したいグループを選ぶ。</p> <p>[例] グループ3のグループ名を消去したいとき</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>LP 2 GP 03? DENON GROUP</p> </div>

<b>5</b>	<p> または  を押す。</p> <p>(本体) (リモコン)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>LP 2 ERASE OK? GROUP</p> </div>
<b>6</b>	<p> または  を押す。</p> <p>(本体) (リモコン)</p> <p>“COMPLETE”表示後、停止状態になります。</p>
<b>7</b>	<p> を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。</p> <p>TOC情報を書き込み、MDを排出します。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・録音を停止したとき</li> <li>・録音一時停止を停止したとき</li> <li>・電源を切ったとき(スタンバイ状態)</li> </ul>

# MDの編集のしかた(つづき)

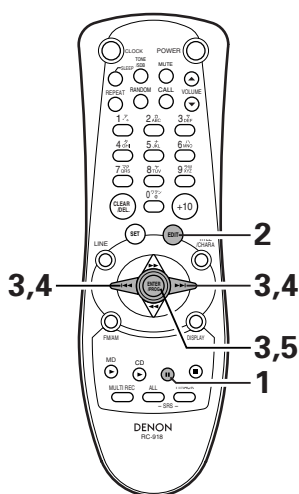
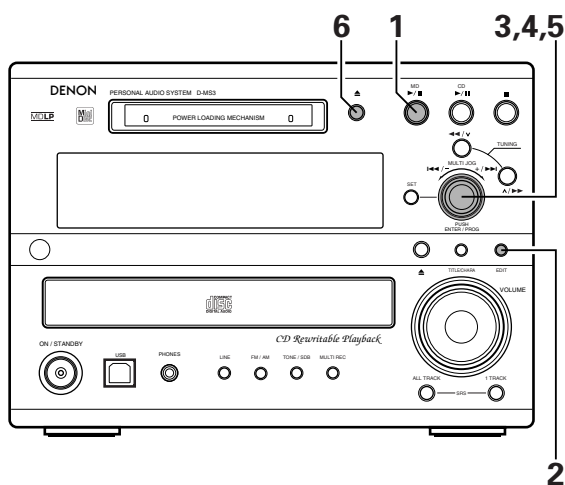
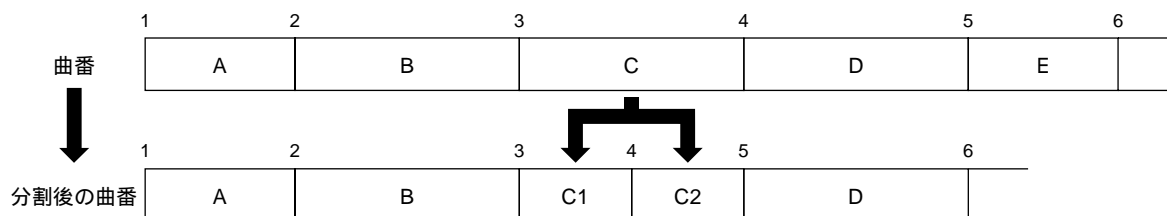
## (5) 通常編集機能

### 1 曲を分割する




録音後に曲を分割して、曲番を付けることができます。  
好きなところで曲番を付けることができ、選曲を簡単におこなうことができます。

[例] 3曲目を分割するとき



<b>1</b>	再生中に、曲を分けたいところで MD ▶/   または  を押して、 (リモコン) (本体) 一時停止させる。
<b>2</b>	一時停止中に  または  を押す。 EDIT (リモコン) (本体)
<b>3</b>	を回すか   を (リモコン) (リモコン) を (本体) 押して“DIVIDE?”が表示されたら、 または  を押す。 PUSH ENTER / PROG (リモコン) (本体) 曲を分割する部分が数秒間くり返し再生されま す。  ↓ 

# MDの編集のしかた(つづき)

4	 <p>を回すか   を</p> <p>(本体) (リモコン) (リモコン)</p> <p>押し、分割する位置を移動させる。          “ ±ポイント数 Point ” が表示されます。          微調整できる範囲は、最大 - 128 ~ + 127ポイントまでです。(1ポイントは約0.064秒)          微調整後の分割する部分が数秒間くり返し再生されます。</p> 
5	 <p>または  を押し、</p> <p>(本体) (リモコン)</p> <p>曲の分割を確定する。</p>  <p style="text-align: center;">↓</p> 
6	 <p>を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。</p> <p>TOC情報を書き込み、MDを排出します。          書き込みをはじめると“ TOC ”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。          編集した情報が記録されません。          TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・録音を停止したとき</li> <li>・録音一時停止を停止したとき</li> <li>・電源を切ったとき(スタンバイ状態)</li> </ul> <p>曲名が付いている曲を分割したときは、後ろの曲には曲名が付きません。</p>

## 曲の分割を止めるには

操作5の前に



を押す。

## 分割した曲を元に戻すには

78、79ページの『曲を結合する』を参照してください。

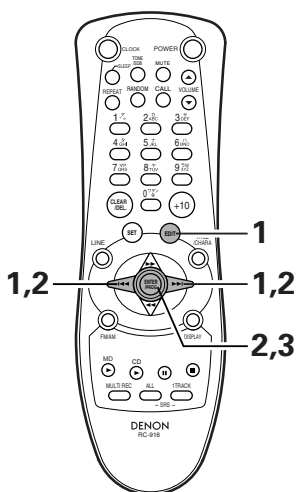
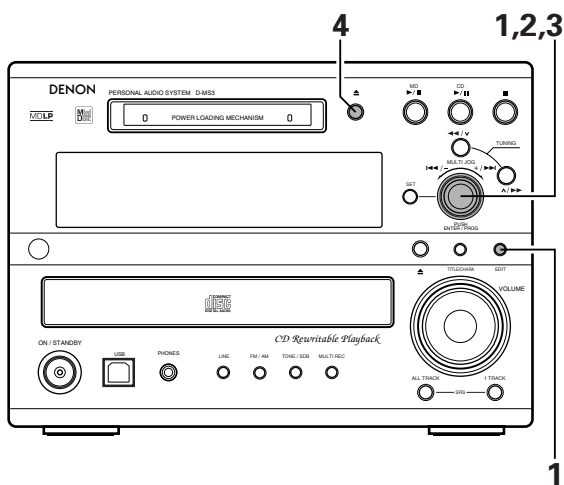
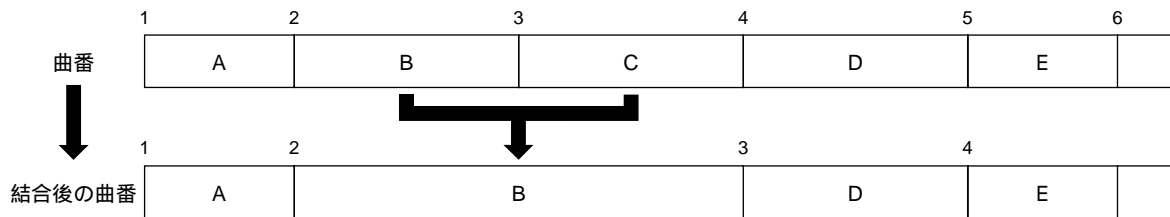
# MDの編集のしかた(つづき)

## 2 曲を結合する



連続した2つの曲をつないで、1曲にすることができます。

[例] 2曲目と3曲目をつないで、1曲にするとき



**1**

停止中に を回すか を回すか

を押して、結合する後ろの曲を表示させ、 または を押す。

---

**2**

を回すか を回すか を押して“COMBINE?”が表示されたら、 または を押す。

LP2 COMBINE?

↓

LP2 COMBINE OK?

---

**3**

もう一度 または を押して曲の結合を確定する。



LP2 TOC COMPLETE

↓

LP2 MD 27: 79:07

# MDの編集のしかた(つづき)

4

  
 を押し、MDへの書き込み動作を完了  
(本体)

させる。

TOC情報を書き込み、MDを排出します。  
書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅します  
ので、このとき電源プラグをコンセントから  
抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。  
編集した情報が記録されません。

TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこな  
えます。

- ・録音を停止したとき
- ・録音一時停止を停止したとき
- ・電源を切ったとき(スタンバイ状態)

グループ名/曲名は結合した2つのグループ/曲の前  
のグループ名/曲名が付きます。

但し、そのグループ/曲にグループ名/曲名が付いて  
いないときはグループ名/曲名が付きません。

一時停止中でも曲を結合することができます。この  
場合、一時停止している曲とその前の曲が結合され  
ます。

## 曲の結合を止めるには

操作3の前に

 または 、 を押し。  
(本体) (リモコン) (リモコン)

## 結合した曲を元に戻すには

76、77ページの『曲を分割する』を参照してく  
ださい。

### ご注意

デジタル入力から録音された曲とアナログ入力から  
録音された曲を結合することはできません。

15秒以下の短い曲では、結合できないことがあり

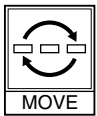
ます。(操作3で  または  を押し  
(本体) (リモコン)

たときに、“CANNOT EDIT”が表示されます。) 録音モード  
(SP/LP2/LP4)が異なる曲を結合することはできません。

離れた2つの曲を結合するには、あらかじめ『MOVE』  
を使って2つの曲を連続させてから結合させてくだ  
さい。

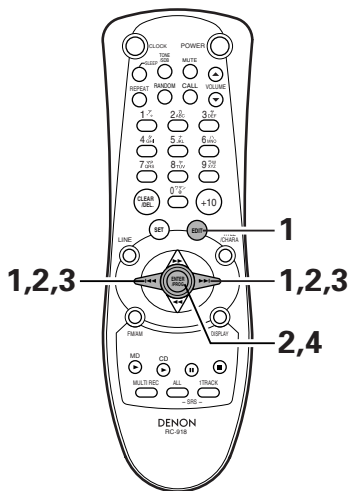
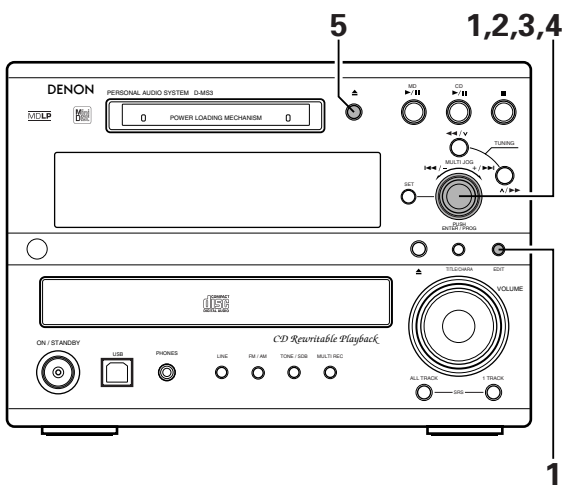
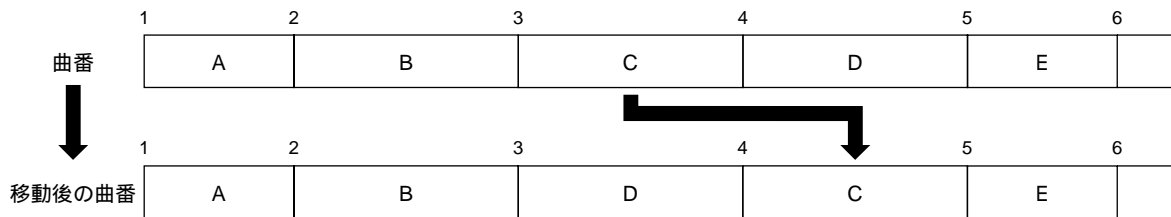
# MDの編集のしかた (つづき)

## 3 曲を移動する



移動させたい曲を選んで、目的の曲番へ移動します。  
前後の曲番は自動的に調整されます。

[例] 3曲目を移動するとき



**1** 停止中に を回すか (リモコン) を回すか (リモコン) を回すか

(リモコン) を押して移動したい曲番を表示させ

または (リモコン) を押す。

---

**2** を回すか (リモコン) を回すか (リモコン) を回すか

押して“MOVE?”が表示されたら、

または (リモコン) を押す。

LP2 MOVE?

↓

LP2 03Tr → 04Tr

---




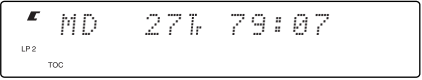

**3** を回すか (リモコン) を回すか (リモコン) を回すか

押して、移動したい曲番を選ぶ。

LP2 03Tr → 04Tr



# MDの編集のしかた(つづき)

4	<p> または  を押して、</p> <p>PUSH ENTER / PROG (本体)                      (リモコン)</p> <p>曲の移動を確定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"></div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"></div>
5	<p>▲</p> <p> を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。</p> <p>(本体)</p> <p>TOC情報を書き込み、MDを排出します。 書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。 編集した情報が記録されません。 TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・録音を停止したとき</li><li>・録音一時停止を停止したとき</li><li>・電源を切ったとき(スタンバイ状態)</li></ul> <p>一時停止中でもその曲を移動することができます。</p>

## 曲の移動を止めるには

操作4の前に

 または 、 を押す。

(本体)                      (リモコン)                      (リモコン)

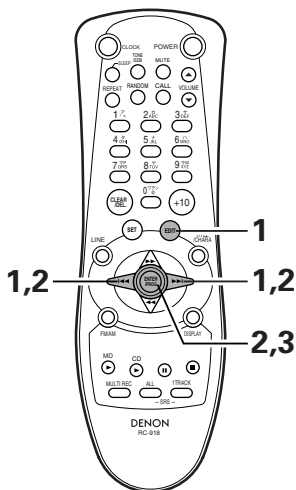
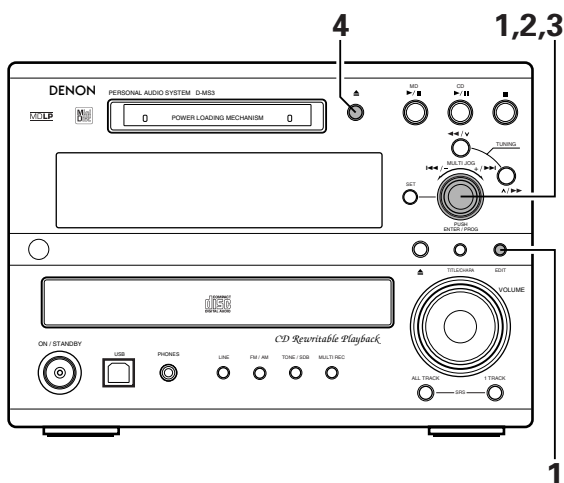
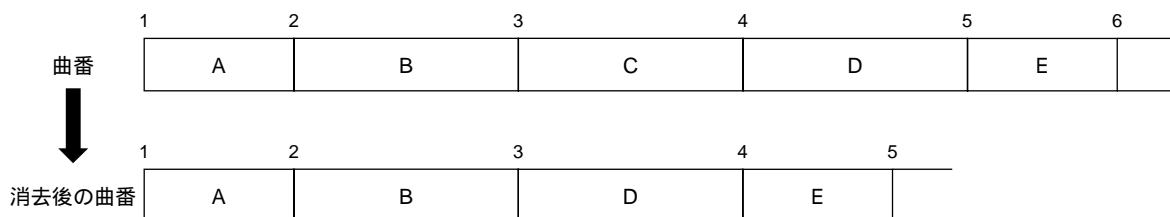
# MDの編集のしかた(つづき)

## 4 曲を消去する



【1曲ずつ消去する】

[例] 3曲目を消去するとき



1 停止中に を回すか (リモコン) を押して、消去したい曲番を表示させ、 または (リモコン) を押す。

2 を回すか (リモコン) を押して“TRACK ERASE?”が表示されたら、 または (リモコン) を押す。

3 もう一度 または (リモコン) を押して、1曲消去を確定する。  
動作が完了すると、停止状態になります。曲が消去されると、消去された曲の後ろの曲番が順に前詰めされた番号になります。

# MDの編集のしかた(つづき)

4



 を押し、MDへの書き込み動作を完了  
(本体)

させる。

TOC情報を書き込み、MDを排出します。  
書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅します  
ので、このとき電源プラグをコンセントから  
抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。  
編集した情報が記録されません。  
TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこ  
なえます。

- ・録音を停止したとき
- ・録音一時停止を停止したとき
- ・電源を切ったとき(スタンバイ状態)

一時停止中の曲を消去することができます。

その場合、一時停止中に  または  を  
EDIT (本体) EDIT (リモコン)

押して操作2からはじめてください。動作が完了す  
ると、消去した次の曲番の頭で一時停止状態になリ  
ます。

## 1曲消去を止めるには

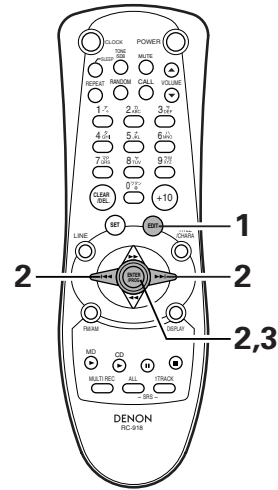
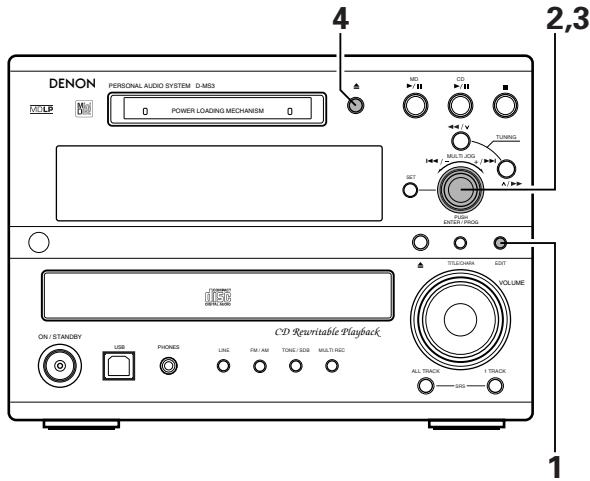
操作3の前に

 または  、  を押す。  
(本体) (リモコン) (リモコン)

# MDの編集のしかた(つづき)



【すべての曲を消去する】



**1** 停止中に または を押す。  
(本体) (リモコン)

**2** を回すか を押して “ALL ERASE?” が表示されたら または を押す。  
(本体) (リモコン)

**3** もう一度 または を押して 全曲消去を確定する。

LP2 COMPLETE

LP2 BLANK DISC

**4** を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。  
(本体)

TOC情報を書き込み、MDを排出します。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。

- ・録音を停止したとき
- ・録音一時停止を停止したとき
- ・電源を切ったとき(スタンバイ状態)

全曲消去すると、同時にディスク名も消去されます。

全曲消去を止めるには  
操作3の前に

または を押す。  
(本体) (リモコン) (リモコン)

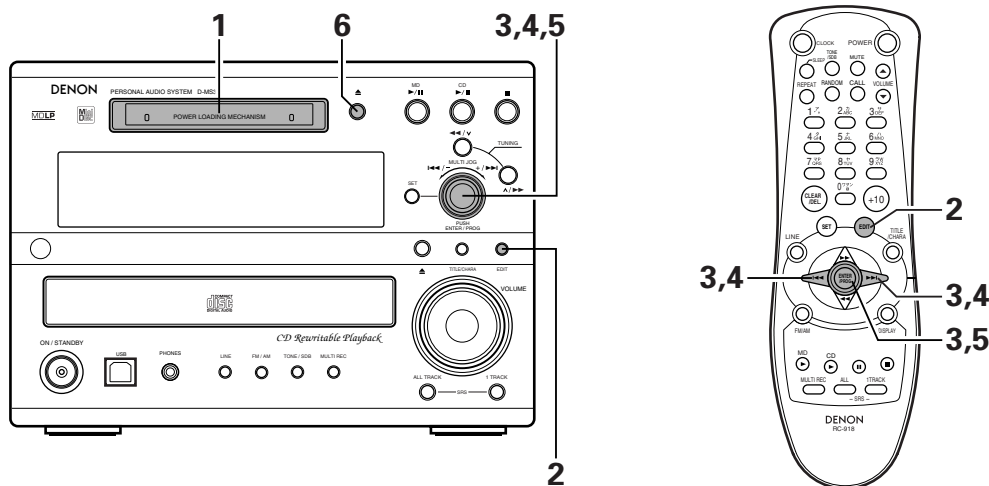
**ご注意**  
一度消去された曲はTOC情報の書き替えをおこなう前であれば、69ページの『編集内容を取り消す』で元に戻すことができますが、必ず確認してから消去してください。

# MDの編集のしかた(つづき)

## (6) グループ編集機能

### 1 グループを解除する

【指定したグループを解除する】



**1** 編集するMDをMD挿入口に入れる。  
ディスプレイに“GROUP”表示が点灯していることを確認してください。消灯しているときは、グループモードを『ON』に設定してください。(45ページ参照)

**2** 停止中に または を押す。  
(本体) (リモコン)

**3** を回すか を押すか を押して“GP CANCEL?”を表示させ、  
 または を押す。  
(本体) (リモコン)

ディスプレイ表示: GP CANCEL? (GROUP)

↓

ディスプレイ表示: GP 01? (GROUP)

グループ名

**4** を回すか を押して、解除したいグループを設定する。  
[例] グループ3を解除するとき

ディスプレイ表示: GP 03? DENON (GROUP)

**5** または を押す。  
“COMPLETE”表示後、停止状態になります。

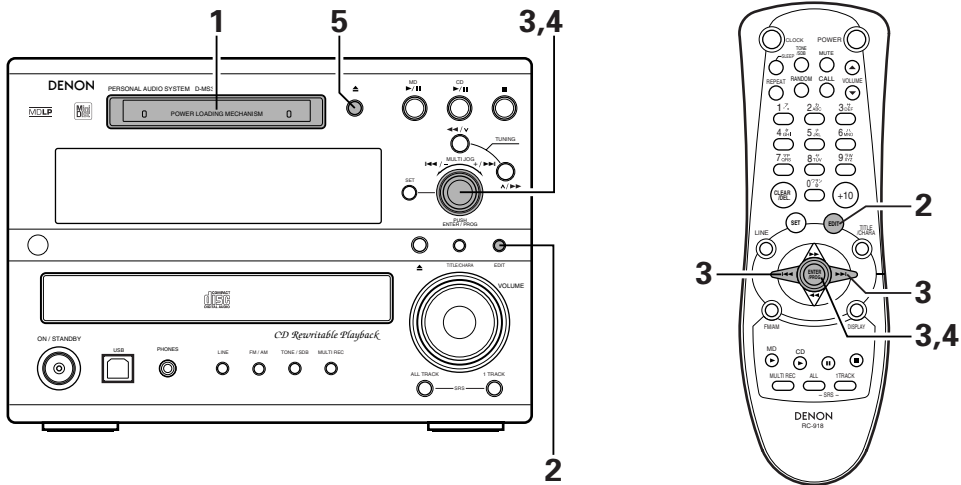
**6** を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。  
TOC情報を書き込み、MDを排出します。書き込みを始めたとき“TOC”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。












- ・録音を停止したとき
- ・録音一時停止を停止したとき
- ・電源を切ったとき(スタンバイ状態)


# MDの編集のしかた(つづき)

## 【すべてのグループを解除する】

MD内のすべてのグループを解除します。

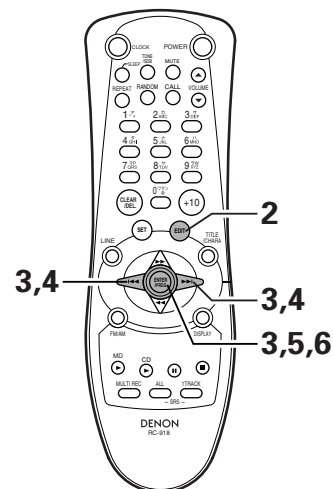
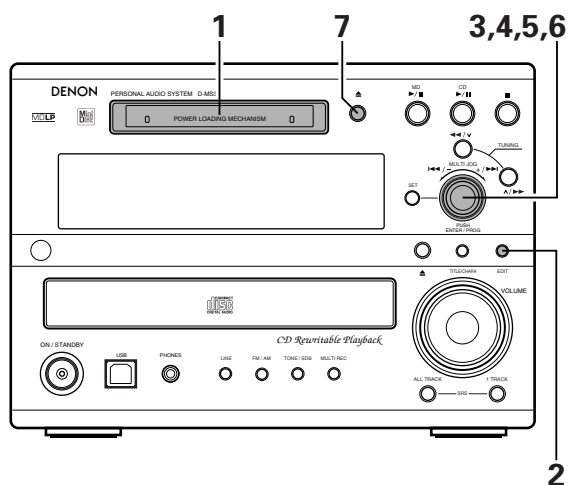


<b>1</b>	<p>編集するMDをMD挿入口に入れる。</p> <p>ディスプレイに“GROUP”表示が点灯していることを確認してください。消灯しているときは、グループモードを『ON』に設定してください。(45ページ参照)</p>
<b>2</b>	<p>停止中に  または  を押す。</p> <p>(本体) (リモコン)</p>
<b>3</b>	<p> を回すか   を (リモコン) を</p> <p>押しして“GP ALL CANCEL”を表示させ、   または  を押す。</p> <p>(本体) (リモコン)</p> <div style="text-align: center;">     </div>
<b>4</b>	<p> または  を押す。</p> <p>(本体) (リモコン)</p> <p>“COMPLETE”表示後、停止状態になります。</p>

<b>5</b>	<p> を押し、MDへの書き込み動作を完了 (本体) させる。</p> <p>TOC情報を書き込み、MDを排出します。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・録音を停止したとき</li> <li>・録音一時停止を停止したとき</li> <li>・電源を切ったとき(スタンバイ状態)</li> </ul>
----------	--

# MDの編集のしかた(つづき)

## 2 指定したグループを消去する

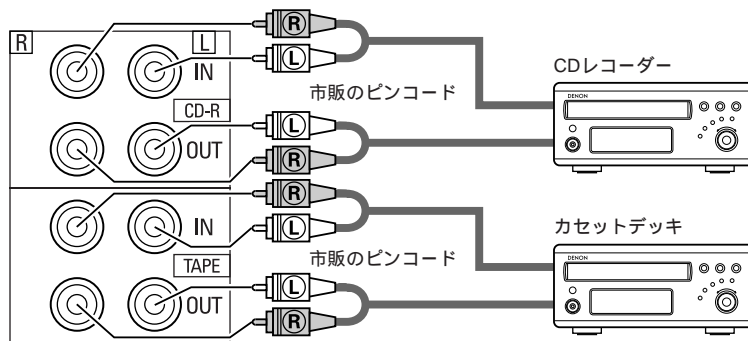


<b>1</b>	<p>編集するMDをMD挿入口に入れる。</p> <p>ディスプレイに“GROUP”表示が点灯していることを確認してください。消灯しているときは、グループモードを『ON』に設定してください。(45ページ参照)</p>
<b>2</b>	<p>停止中に  または  を押す。</p> <p>(本体) (リモコン)</p>
<b>3</b>	<p> を回すか   を (リモコン) (リモコン) を</p> <p>押して“GP ERASE?”を表示させ、  または  を押す。</p> <p>(本体) (リモコン)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>GP ERASE? *</p> <p>LP2 GROUP</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>GP 01? *</p> <p>LP2 GROUP</p> </div> <p style="text-align: center;">グループ名</p>
<b>4</b>	<p> を回すか   を (リモコン) (リモコン) を</p> <p>押して、消去したいグループを選ぶ。</p> <p>[例] グループ3を消去したいとき</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>GP 03? DENON *</p> <p>GROUP</p> </div>

<b>5</b>	<p> または  を押す。</p> <p>(本体) (リモコン)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>GP ERASE OK? *</p> <p>LP2 GROUP</p> </div>
<b>6</b>	<p> または  を押す。</p> <p>(本体) (リモコン)</p> <p>“COMPLETE”表示後、停止状態になります。</p>
<b>7</b>	<p> を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。</p> <p>TOC情報を書き込み、MDを排出します。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・録音を停止したとき</li> <li>・録音一時停止を停止したとき</li> <li>・電源を切ったとき(スタンバイ状態)</li> </ul>

# 35 他の機器と接続して使う

接続する前には、各機器の電源を切ってください。  
各プラグは確実に差し込んでください。



LINE

○ を押して選ばれたソースがCD-R OUT端子またはTAPE OUT端子から出力されます。  
(本体)

LINE

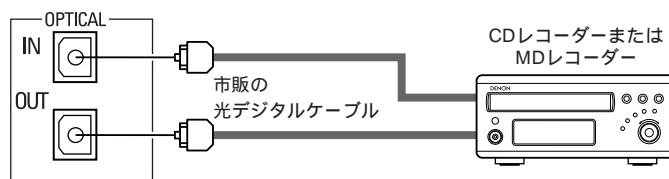
本機のソースを外部の機器で録音している間は、○ を押さないでください。  
(本体)

## ご注意

LINE

本機のソースを外部の機器で録音中に ○ を押すと、録音するソースが切り替わってしまいます。  
(本体)

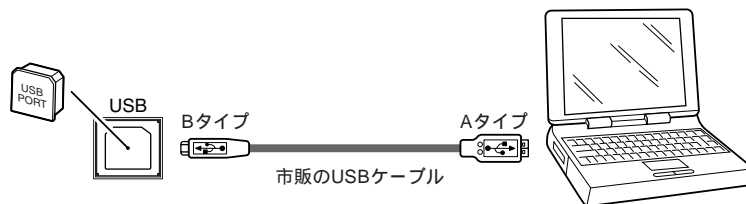
## OPTICAL端子



デジタル機器を接続するときは、OPTICAL IN/OUT端子に接続します。光デジタル入力端子に入力されるのは音声信号のみです。

## USB端子

市販のUSBケーブルを使って、本機とパソコンを接続します。



操作方法は、91～93ページをご覧ください。  
USBケーブルを接続するときは、防塵ゴムキャップを外してください。  
使用後は、防塵ゴムキャップをはめることをおすすめします。

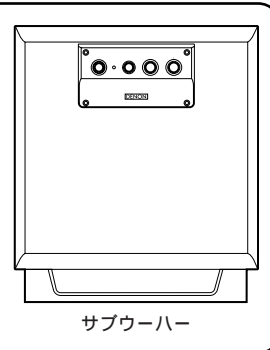


時計機能を内蔵しているため、本機の電源コードは常時通電されている壁の電源コンセントに接続してください。

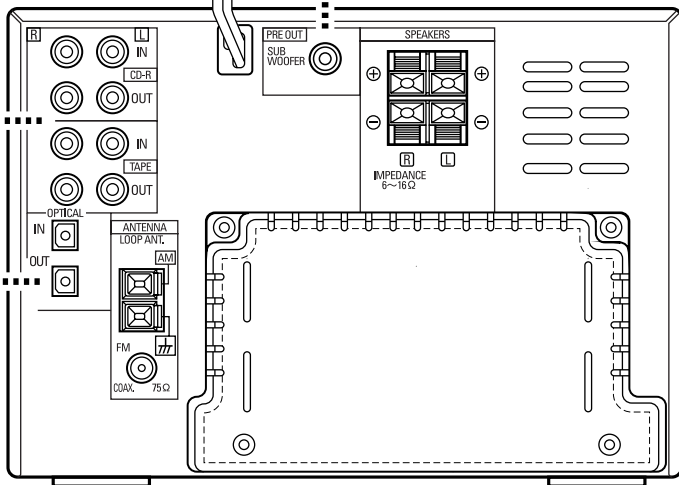


電源コンセント  
AC100V 50/60HZ

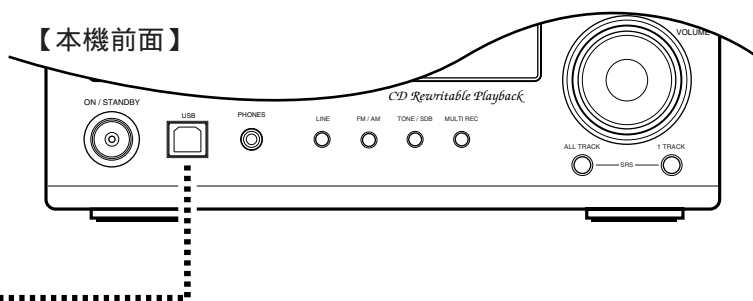
市販のピンコードをご使用ください。



【本機背面】



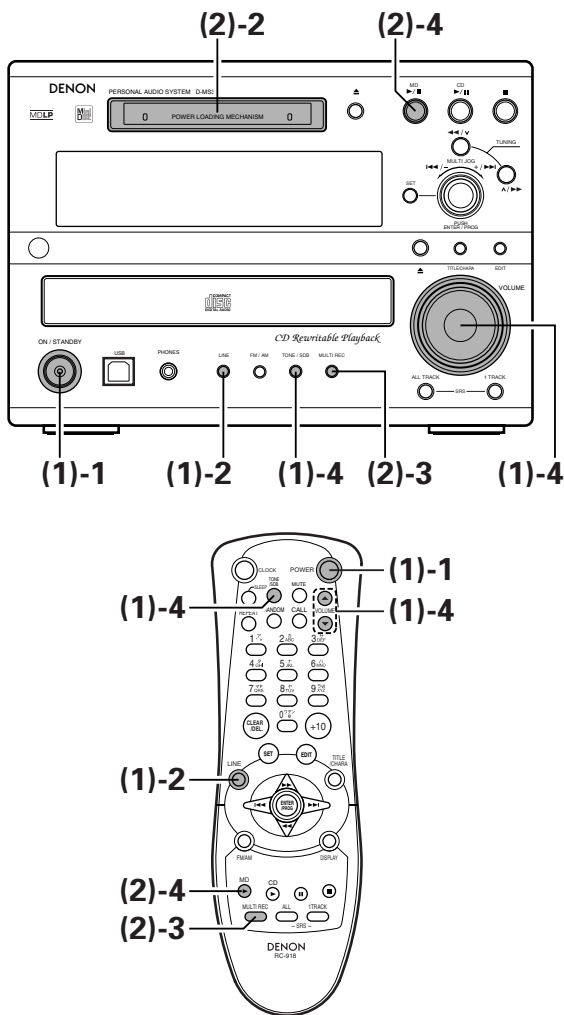
【本機前面】



### ご注意

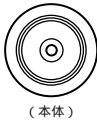

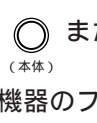

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。接続コード（ピンコード）のプラグは、図のように正しくLとL（白） RとR（赤）を接続してください。プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。スピーカー端子とスピーカーは必ず同じ極性（⊕と⊕、⊖と⊖）を接続してください。極性を間違えて接続しますと、中央の音が抜けたようになり、楽器の定位がはっきりせず、ステレオの方向感が損なわれます。一度電源コードをコンセントから抜いた場合は、約5秒経ってからもう一度コンセントに差し込んでください。接続コードと電源コードを一緒に束ねますと、ハムや雑音の原因になることがあります。大変危険ですので、アンテナ端子やアース端子をガス管に接続しないでください。

# 他の機器と接続して使う(つづき)





## (1) 他の機器の再生音を聞く

はじめに他の機器の電源を入れます。

<b>1</b>	<p>ON / STANDBY</p>  または  を押して、 (本体) (リモコン) 電源を入れる。
<b>2</b>	<p>LINE</p>  または  を押して、接続した (本体) (リモコン) 機器のファンクションを表示させる。 次のように切り替わります。 <p style="text-align: center;">             CD-R → TAPE → OPT → USB              ↑         </p> <p>USBのときは、91～93ページをご覧ください。</p>
<b>3</b>	接続した機器を再生する。
<b>4</b>	音量や音質を調整する。 (22、23ページ参照)

## (2) 他の機器の再生音を録音する

<b>1</b>	『(1) 他の機器の再生音を聞く』の操作1、2をおこなう。
<b>2</b>	MD挿入口に録音用MDを入れる。
<b>3</b>	<p>MULTI REC</p>  または  を押す。 (本体) (リモコン) 通常録音一時停止状態になります。 OPTのときは、必要に応じて録音レベルを調節してください。(49ページ参照) ファンクションが『USB』のときは、録音できません。
<b>4</b>	録音を開始する。  または  を押す。 (本体) (リモコン)
<b>5</b>	<p>接続した機器を再生する。</p> <p>ピククレックをおこなうときは、操作3で MULTI REC</p>  または  を2回押して“PICK REC” (本体) (リモコン) を表示させ、  または  を押します。 (本体) (リモコン) <p>ピククレックは、55ページの操作1、2をおこなって終了させてください。</p>

### ご注意

USB端子を利用して音楽を再生しているときは、本機の電源を切ったりしないでください。パソコンの誤動作の原因になります。

USB端子使用中はUSBケーブルを抜かないでください。USBケーブルを抜くときは、音楽再生中のソフトを閉じてからおこなってください。

パソコンが本機を検出しないときは、USBケーブルをもう一度接続し直してください。それでも検出されないときはWindows 98、Windows Me、Windows 2000またはWindows XPを再起動してください。

# 36 パソコンと接続して使う

USB端子にパソコンを接続することで  
パソコンからの音声を聞くことができます。

## (1) ご使用の前に

USB接続するためには、次の条件を満たすパソコンが必要です。

Microsoft社のWindows 98、Windows Me、Windows 2000またはWindows XPの日本語版がプリインストールされていて、USB端子を持ち、CPUがIntel MMX 166MHz以上のパソコン。

本機と接続する前に、次のことを確認してください。

Windows 98、Windows Me、Windows 2000またはWindows XPの日本語版が正しく起動できること。  
BIOSの設定でUSB機能が『使用する』に、USB IRQが『AUTO』または使用可能なIRQに設定されていること。

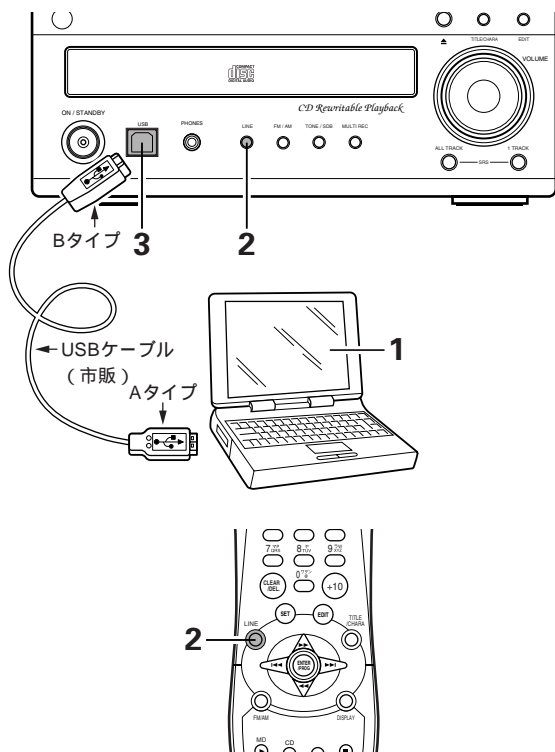
必要条件を満たすパソコンであっても、パソコン固有の仕様やお客様の使用環境の違いにより本機が正常に動作しなかったり、正しい音質で再生されない場合があります。

MMX、PentiumはIntel Corporationの登録商標です。

Microsoft、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XPは、米国 Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

本文中では、®マークは明記していません。

## (2) パソコンからの音声を聞く



### ご注意

本機のUSB端子に接続したパソコンからの音声は、本機のMDで録音できません。  
パソコンからの音声が出ているときは、USBケーブルを抜かないでください。故障の原因になります。

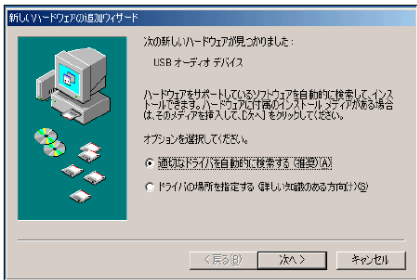
1	パソコンの電源を入れて、起動する。 正しく起動できることを確認してください。
2	LINE (本体) または LINE (リモコン) を押して、“USB”を選ぶ。
3	本体のUSB防塵ゴムキャップを取り外し、USBケーブル（市販品）を使って本機とパソコンを接続する。 初めて接続したときは、92ページのドライバーのインストールに進んでください。 2回目以降のときは操作4へ進んでください。
4	パソコンに本機が検出されたら、音声ファイルを再生する。 音声ファイルにはMP3、WMAなどがあります。再生のしかたは、パソコンまたはアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。
5	本機で音量や音質の調整をする。 パソコンの音声ファイルを再生中は、本機の電源を『切』にしないでください。次回電源を『入』にしたときに正しく動作しません。このような場合は、操作1からやり直してください。

# パソコンと接続して使う(つづき)

## (3) はじめてパソコンに接続する【ドライバーのインストール】

はじめて本機のUSB端子にパソコンを接続した場合ドライバーをインストールする必要があります。ドライバーのインストールは、パソコンの指示によりおこないます。一度おこなえば次回からはインストールする必要はありません。パソコンによってはOSインストール用のCD-ROMが必要になる場合があります。インストールの際にはパソコンに付属の取扱説明書もご覧ください。

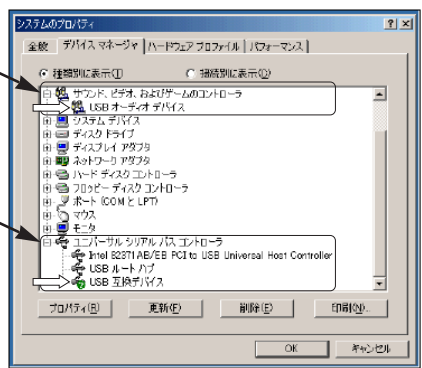
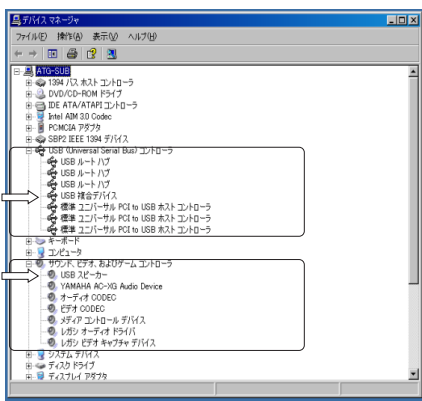
### ドライバーのインストール

<b>1</b>	パソコンの電源を入れ、OSを起動させる。
<b>2</b>	本機の電源を入れる。
<b>3</b>	<p>USBケーブルを使って、本機とパソコンを接続する。(91ページ参照)</p> <p>&lt;Windows 98、Windows Me&gt;のとき パソコンが本機を自動検出し、必要なドライバーインストールのウィザードが起動します。</p> <p>[例] Windows MeでUSBオーディオデバイス のとき</p>  <p>ウィザードでは、特に問題がないときは[次へ]をクリックしていきます。 [次へ]がクリックできないとき、またはパソコンのウィンドウに指示が出ているときは、その指示にしたがって操作をしてください。</p> <p>&lt;Windows 2000、Windows XP&gt;のとき パソコンが本機を自動検出し、必要なデバイス(OS標準のドライバー)が自動的にインストールされます。</p> <p>インストールされない場合は、モニターに表示される指示に従って操作してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>検出中は、USBケーブルの抜き差しはしないでください。</p> </div>

### ご注意

パソコンが本機を検出しないときは数秒間待っても本機が検出されないときは、USBケーブルをもう一度接続し直してください。それでも検出されないときは、Windows 98、Windows Me、Windows 2000またはWindows XPを再起動してください。

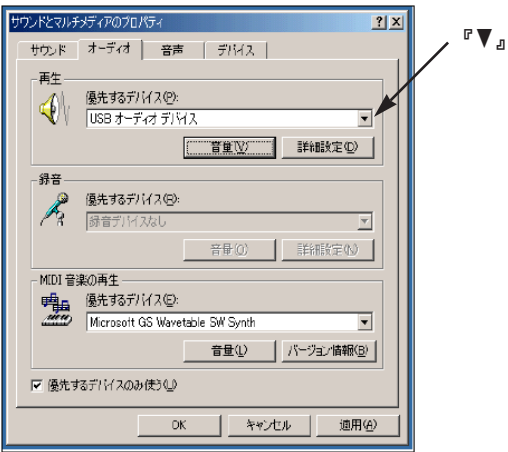
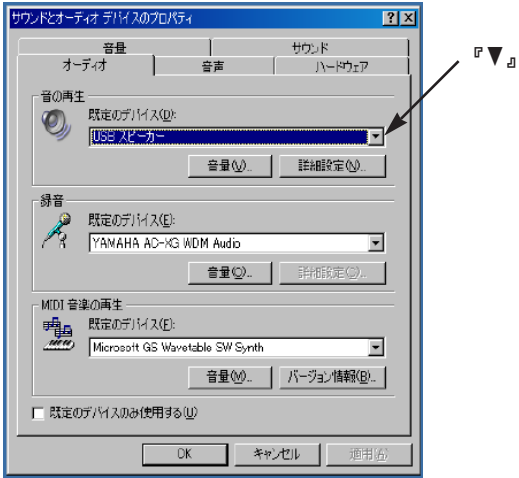


### 正しくインストールされているか確認する

<b>1</b>	『スタート』メニューから『設定』『コントロールパネル』を選び、クリックする。
<b>2</b>	コントロールパネルの画面が出てきたら、『システム』のアイコンをダブルクリックする。
<b>3</b>	『デバイスマネージャー』のタブをクリックする。 Windows 98、Windows Meのとき、“種類別に表示”にチェックが入っているか確認してください。
<b>4</b>	<p>各項目の『+』をクリックして、それぞれの項目内のデバイスを確認する。</p> <p>&lt;Windows 98、Windows Me&gt;のとき 『サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ』の項目の中に『USBオーディオデバイス』がある。 『ユニバーサルシリアルバスコントローラ』の項目の中に『USB互換デバイス』がある。</p>  <p>(画面は、Windows Meです。)</p> <p>&lt;Windows 2000、Windows XP&gt;のとき 『USB (Universal Serial Bus) コントローラ』の項目の中に『USB複合デバイス』がある。 『サラウンド、ビデオおよびゲームコントローラ』の項目の中に『USBスピーカー』がある。</p>  <p>(画面は、Windows XPです。)</p>

# パソコンと接続して使う(つづき)

## (5) パソコンからの音声が聞こえないとき

パソコンからの音声が聞こえないときは、次のことを確認してみてください。

1	『スタート』メニューから『設定』『コントロールパネル』を選び、クリックする。	
2	<Windows 98、Windows Me> のとき コントロールパネルの画面が出てきたら、『サウンドとマルチメディアのプロパティ』を選び、ダブルクリックする。	<Windows 2000、Windows XP> のとき コントロールパネルの画面が出てきたら、『サウンドとオーディオデバイスのプロパティ』を選び、ダブルクリックする。
3	『サウンドとマルチメディアのプロパティ』の画面が出てきたら、『オーディオ』のタブをクリックする。	『サウンドとオーディオデバイスのプロパティ』の画面が出てきたら、『オーディオ』のタブをクリックする。
4	[再生]の優先するデバイスが『USBオーディオデバイス』になっているか確認する。	[音の再生]の既定のデバイスが『USBスピーカーオーディオデバイス』になっているか確認する。
5	<p style="text-align: center;">なっていない場合</p> <p>▼をクリックして、プルダウンメニューの中から『USBオーディオデバイス』を選ぶ。</p>  <p style="text-align: center;">(画面は、Windows Meです。)</p>	<p style="text-align: center;">なっていない場合</p> <p>▼をクリックして、プルダウンメニューの中から『USBスピーカー』を選ぶ。</p>  <p style="text-align: center;">(画面は、Windows XPです。)</p>
6	<p>『音量』の項目がある場合は、クリックして音量の設定を確認する。</p>  <p style="text-align: center;">(画面は、Windows Meです。)</p> <p>音量が最小になっていたり、『ミュート』をクリックマークがついていないかを確認します。</p>	<p>『音量』の項目がある場合は、クリックして音量の設定を確認する。</p>  <p style="text-align: center;">(画面は、Windows XPです。)</p> <p>音量が最小になっていたり、『ミュート』をクリックマークがついていないかを確認します。</p>

## 37 タイマーの使いかた

タイマーを利用して次のようなことができます。

### 音楽で目覚める

設定した時刻にMD、CD、ラジオ放送を聞くことができます。

### 留守中に録音する

設定した時刻にラジオ放送をMDに録音することができます。

### 音楽を聞きながらおやすみになる

設定した時刻にMD、CD、ラジオ放送を停止することができます。(スリープタイマー)

## (1) タイマーを使う前に

必ず現在時刻を設定してください。  
現在時刻を設定していないと、タイマーは使用できません。(スリープタイマーは機能します。)

再生や録音の準備をする。

再生用または録音用のMDを入れてください。  
ラジオ放送を聞いたり録音するときは、放送局を登録してください。

### ご注意

他の機器は、この製品のタイマー設定では操作することができません。

電源がONの状態では、タイマーは動作しません。

次のとき、タイマー録音はできません。

- ・再生専用のMDが入っているとき
- ・MDが誤消去防止状態になっているとき
- ・MDに録音できる部分がないとき

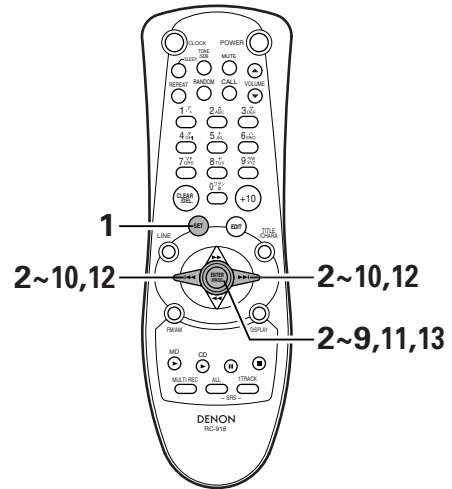
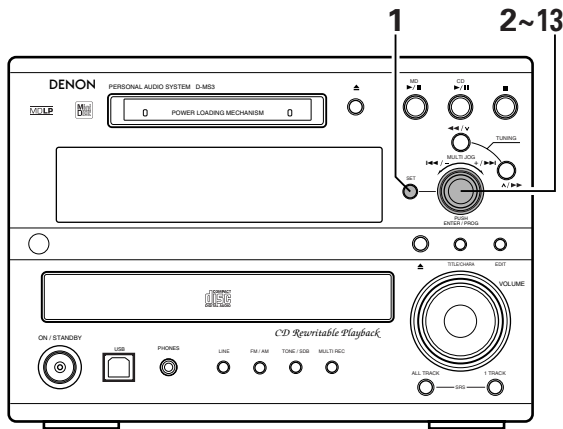
(“TITLE FULL”“DISC FULL”状態など)

USB端子を利用して音楽を再生しているときに本機の電源を切ると、パソコンの誤動作の原因となりますので注意してください。

# タイマーの使いかた(つづき)

## (2) 音楽で目覚めたり、留守中に録音する

### 1 1 タイマーを設定する



**1** または を押す。  
(本体) (リモコン)

**2** を回すか を押して、“TIMER CHECK?”が表示されたら、 または を押す。

TIMER CHECK? ↓  
CHECK ADJUST

**3** を回すか を押して、“ADJUST”を点滅させ、 または を押す。

ON 12:00

現在時刻が設定されていないと“CLOCK ERROR”が表示され、自動的に時間設定モードになります。(26ページ参照)  
現在時刻設定後、再度操作1から設定し直してください。

**4** を回すか を押して、時の桁を設定し、 または を押す。

ON 12:00

**5** を回すか を押して、分の桁を設定し、 または を押す。

OFF 12:30

タイマー開始時刻が12時30分に設定されました。

(次ページに続く)

# タイマーの使いかた(つづき)

**6**

MULTI JOG + / - を回すか (リモコン) (リモコン) を  
 (本体) 押し、時の桁を設定し、  
 PUSH ENTER / PROG (本体) または ENTER / PROG (リモコン) を押す。

OFF 13:30

---

**7**

MULTI JOG + / - を回すか (リモコン) (リモコン) を  
 (本体) 押し、分の桁を設定し、  
 PUSH ENTER / PROG (本体) または ENTER / PROG (リモコン) を押す。

タイマー終了時刻が13時56分に設定されました。

OFF 13:56

↓

PLAY

---

**8**

タイマー再生するには  
 “PLAY” “TUNER ⇄ MD” の表示切り替えのとき  
 MULTI JOG + / - を回すか (本体)  
 (リモコン) (リモコン) を押し、“PLAY”表示のとき  
 PUSH ENTER / PROG (本体) または ENTER / PROG (リモコン) を押す。

TUNER

**9**

聞きたいソースの設定  
 MULTI JOG + / - を回すか (リモコン) (リモコン) を  
 (本体) 押し、聞きたいソースを選び、  
 PUSH ENTER / PROG (本体) または ENTER / PROG (リモコン) を押す。

次のように切り替わります。

TUNER ↔ CD ↔ MD

『TUNER』を選んだときは...  
 操作11に進んでください。  
 『CD』『MD』を選んだときは...  
 操作13に進んでください。

---

**10**

TUNERを選んだとき  
 MULTI JOG + / - を回すか (リモコン) (リモコン) を  
 (本体) 押し、プリセット番号を選ぶ。

FM 82.5 MHz 3

---

**11**

PUSH ENTER / PROG (本体) または ENTER / PROG (リモコン) を押す。

VOLUME 12

---

**12**

MULTI JOG + / - を回すか (リモコン) (リモコン) を  
 (本体) 押し、ボリュームレベルを調整する。

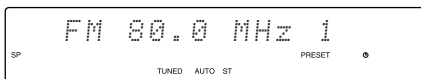
VOLUME 27



# タイマーの使いかた(つづき)



13

 または  を押す。






タイマー設定項目が表示された後、タイマー設定前の表示に戻ります。

スタンバイ状態(ECOモード:ON)のときに、タイマーがON状態であるか確認するときは、

 または  を押して“CLOCK”を表示

させ、 または  を2回押してください。

“”表示と現在時刻が約5秒間点灯します。“”表示が点灯している間は、毎日同じ時刻に予約されたタイマーが動作します。

タイマー動作をおこなわないときは、タイマー設定をOFFにして“”表示を消灯させてください。

タイマー予約は、スタンバイ状態(ECOモード:ON)のときでもおこなうことができます。

MDまたはCDが入っていない状態でタイマーがはじまったとき、本機はチューナーモードになります。

停電になったときや電源コードをコンセントから抜いたときには、タイマーの設定は消えてしまうことがあります。

タイマーおよびチューナーのプリセット内容が消えていた場合は、もう一度プリセットし直してください。

## 2 タイマーの予約内容の確認

『タイマーを設定する』(95ページ)の操作3で“CHECK”を点滅させ、

 または  を押す。

設定内容が確認できます。

## 3 タイマーの『ON』を設定する

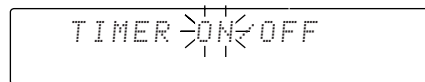
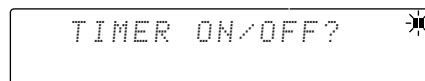
1  または  を押す。

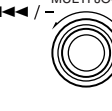


 を回すか   を

押して“TIMER ON/OFF?”が表示され

たら、 または  を押す。

2



 を回すか   を

を押すと“ON”、“OFF”を選択できます。

3

“ON”を点滅させて、

 または  を押す。

## 4 タイマーを動作させる

ON / STANDBY  または  を押して、

電源をスタンバイ状態にする。

必ずスタンバイ状態にしてください。

ECOモードがOFFのとき



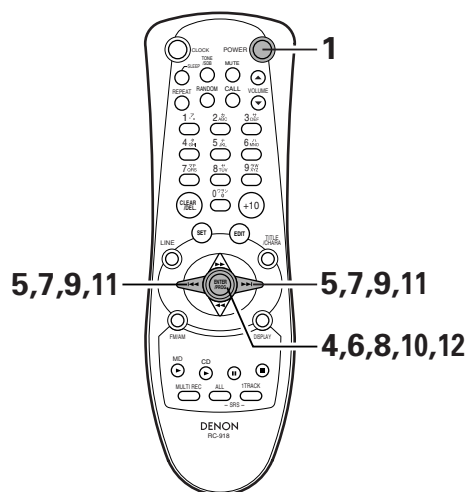
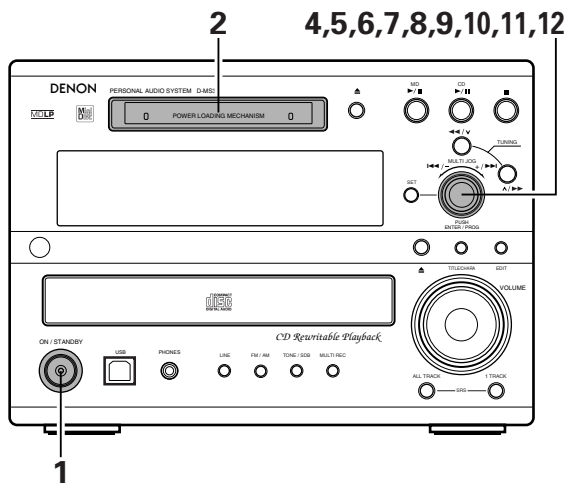
ECOモードがONのとき








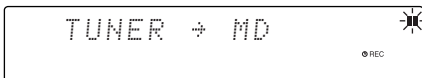
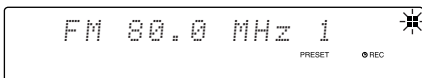



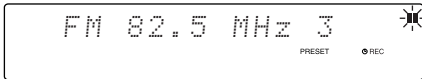


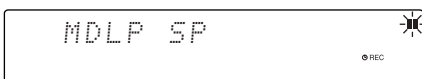


(スタンバイ状態のときは、すべての表示を消灯します。)

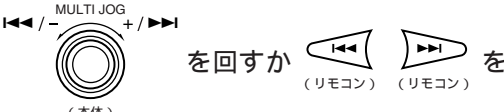


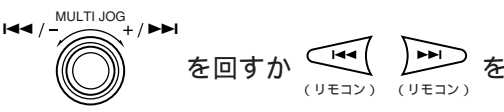

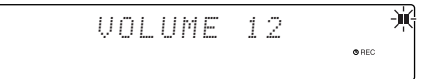
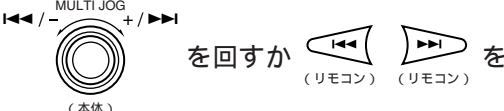


# タイマーの使いかた(つづき)

## 5 留守中に録音する



<b>1</b>	ON / STANDBY  または  を押して、 <small>(本体)</small> <small>(リモコン)</small> 電源を入れる。
<b>2</b>	MD挿入口にMDを入れる。
<b>3</b>	『タイマーを設定する』(95、96ページ)の1~7の操作をおこなう。
<b>タイマー録音するには</b>	
<b>4</b>	 を回すか   を <small>(本体)</small> <small>(リモコン)</small> <small>(リモコン)</small> を 押して、“TUNER → MD”表示のとき  または  を押す。 <small>PUSH ENTER / PROG (本体)</small> <small>(リモコン)</small>
 ↓ 	
<b>5</b>	 を回すか   を <small>(本体)</small> <small>(リモコン)</small> <small>(リモコン)</small> を 押して、プリセット番号を選ぶ。 
<b>6</b>	 または  を押す。 <small>PUSH ENTER / PROG (本体)</small> <small>(リモコン)</small> 

# タイマーの使いかた(つづき)

7	<p style="text-align: center;">録音モードの設定</p> <p>            を回すか (リモコン) (リモコン) を          押して、録音モードを選ぶ。          録音モードは、次のように切り替わります。          MDLP SP ↔ MDLP LP2 ↔ MDLP LP4       </p>
8	<p>            または を押す。       </p> <p style="text-align: center;">  </p>
9	<p style="text-align: center;">グループとして登録するか選択する</p> <p>            を回すか (リモコン) (リモコン) を          押して、選択する方を点滅させる。       </p>
10	<p>            または を押す。       </p> <p style="text-align: center;">  </p>
11	<p>            を回すか (リモコン) (リモコン) を          押して、ボリュームレベルを調整する。       </p>
12	<p>            または を押す。       </p> <p>タイマーの設定内容を順次表示され、タイマー設定前の表示に戻ります。</p> <p style="text-align: center;">  </p>
13	<p>『タイマーを動作させる』(97ページ)の操作をおこなう。</p>

録音済みのMDを使用するときは、録音可能時間を確認してください。(録音モード(SP/LP2/LP4)で、録音可能時間が異なります。)

MDへの録音は、タイマー開始時刻から約10秒後に録音をはじめます。

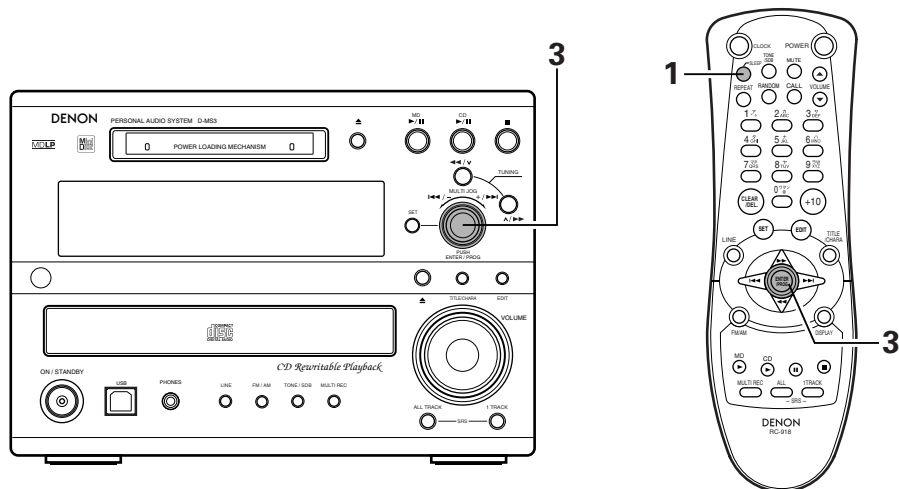
録音ミスを防ぐため、番組が始まる1分程度前の時刻に合わせることをおすすめします。

# タイマーの使いかた(つづき)

## (3) 音楽を聞きながらおやすみになる(スリープ)

電源が切れる時間を10分間隔で最大90分まで予約することができます。

[例] 80分後に電源を切るとき



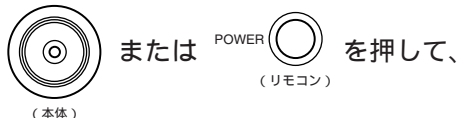
1	<p>聞きたい音楽を再生中に  を押す。 (リモコン)</p> <p></p> <p> を押すたびに次のように表示が切り替わります。</p> <p>90 → OFF → 10 → 20 → 30 → 40 80 ← 70 ← 60 ← 50 ←</p>
2	<p>“SLEEP 80” を表示させる。</p> <p></p>
3	<p> または  を押す。 (本体) (リモコン)</p> <p></p> <p>ディスプレイが暗くなり、スリープ設定前の表示に戻ります。</p>
<p>スリープタイマーのときは、ディスプレイの表示は明るくできません。</p>	

### スリープタイマー動作をおこなわないときには

操作1で“SLEEP OFF”を選び、



ON / STANDBY



電源を切る。

### スリープ時間を確認するには



電源が切れるまでの時間を約5秒間表示します。

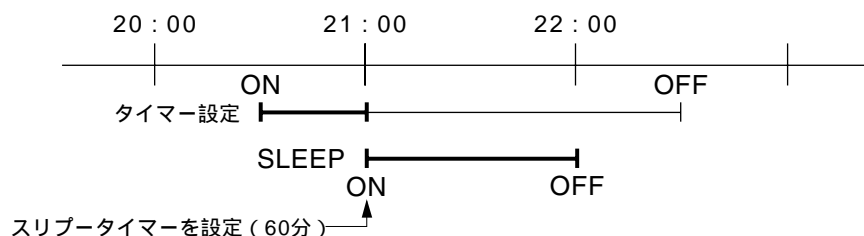
### ご注意

スリープタイマーとタイマーの設定時刻が重なっている場合はスリープタイマーが優先されます。

# タイマーの使いかた(つづき)

## (4) タイマーとスリープタイマーの優先順位について

タイマーの終了時刻は、スリープタイマーが優先します。(太線が実行を表します。)



タイマー中でも、タイマーで設定された終了時刻より早くスリープタイマーの残り時間がなくなると、その時点でタイマーは終了します。

## 38 MDの規格上の制約について

MDの規格は、カセットデッキなどの従来の録音方式と異なる方式でおこなわれます。そのため、いくつかの規格上の制約があります。次のような現象が出てても故障ではありませんので、ご了承ください。

### (1) 曲数の制約

何も録音されていないMDやディスク名だけで何も録音されていないMDに1曲目から順次録音した場合は、最大255曲まで録音できます。しかし、編集を多く繰り返したりすると255曲まで録音できなくなることがあります。

デジタル録音のとき、エンファシス情報などの入切が多いと曲の区切りと同じ扱い(曲番は変わらない)になり、録音時間や曲数に関わらず録音できなくなることがあります。

### (2) 録音機能の制約

MDの最大録音時間に達しなくても、曲数が255になるとこれ以上録音できません。

録音は、約2秒単位でおこなわれます。それに満たない部分でも約2秒間分のディスクスペースを使用しますので、実際に録音できる時間は短くなります。

MDに傷があるとその部分は録音できませんので、その分の時間が減ります。

CDをデジタル録音するとき、CDの録音内容により数秒程度の無音部ができることがあり、曲数がCDと異なることがあります。

短い曲を消去してもMDの残り時間が増えないことがあります。これはMDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分を無視するためです。

### (3) 編集機能の制約

編集をおこなってできた短い曲を結合できない場合があります。

CDから録音した曲(デジタル録音)とラジオ放送から録音した曲(アナログ録音)をつなぐことはできません。

録音モード(標準録音(SP)、2倍長時間録音(LP2)、4倍長時間録音(LP4))の異なる曲をつなぐことはできません。

録音や編集を繰り返したMDでは、マニュアルサーチ中に音が途切れることがあります。

## 故障？ と思っても、もう一度確かめてみましょう

各接続は正しいですか  
取扱説明書に従って正しく  
操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜き取り、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客さま相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

	現象	原因	処置	関連ページ
共通部	電源が入らない。	電源プラグがコンセントから外れている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	18
	スピーカーから音が出ない。	音量を最小にしている。 ヘッドホンが差し込まれている。 スピーカーコードの接続が不完全である。	適当な音量にしてください。 ヘッドホンを外してください。 しっかり接続してください。	22、23 21 18、20
	高音が出ない。 音源の位置が不明瞭。	スピーカーの極性(⊕ ⊖)が合っていない。	スピーカーコードを正しく接続してください。	18、20
	リモコンが動作しない。	電源が入っていない。 乾電池が正しく入っていない。 乾電池が消耗している。	電源を入れてください。 乾電池を正しく入れ直してください。 新しい乾電池に入れ替えてください。	21、22 17 17
チューナ部	FM放送に“ザー”という音が入る。	アンテナの方向が悪い。 放送局の電波が弱い。	アンテナの方向を変えてください。 屋外アンテナを接続してください。	19 19
	AM放送に“シー”や“ザー”という音が入る。	テレビなどから雑音が入る。 放送局の干渉音が聞こえる。	テレビを消してください。 AM用ループアンテナの向きを変えてください。 屋外アンテナを接続してください。	— 19 19
	AM放送に“ブーン”という雑音(ハム)が入る。	電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調を受ける。	電源プラグの方向を逆に差し込んでみてください。	—
CDプレーヤ部	操作ボタンを押しても、動作しない。 曲の途中で止まってしまい、正しい再生をしなくなる。	CDの裏表を間違えている。 ディスクホルダーの中に異物が入っている。 CDが汚れている。 CDに傷がある。	CDを入れ直してください。 CDを取り出し、異物を取り除いてください。 CDをクリーニングしてください。 傷のないCDと交換してください。	31 9 9 9
	再生音が途切れる。	CDにほこりや指紋、つばなどが付いている。 CDに傷がある。 振動の多い、不安定な場所に置いてある。	CDをクリーニングしてください。 傷のないCDと交換してください。 振動の少ない安定した場所に置き換えてください。	9 9 —
	再生音に“ブーン”という音が混じる。	電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調を受ける。	電源プラグの方向を逆に差し込んでみてください。	—

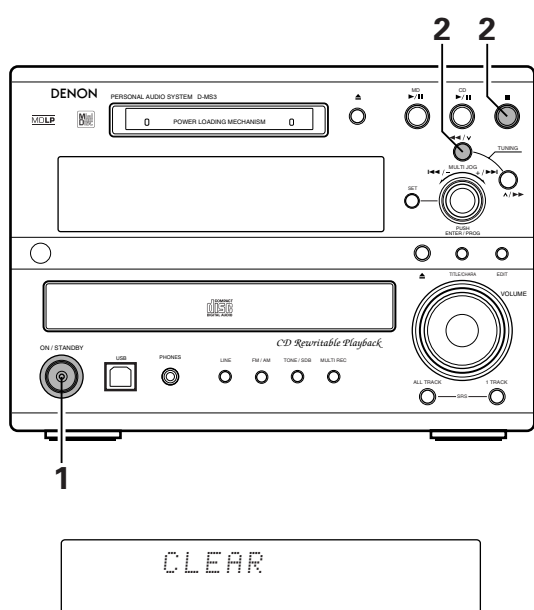
# 故障かな？と思ったら（つづき）





	現象	原因	処置	関連ページ
M D レ コ ダ 部	操作できない。	MDが入っていない。 MDが損傷または汚れている。	MDを入れてください。 他のMDと取り替えてください。	34 10
	再生できない。	MDに録音されていない。 （“BLANK DISC”または“NO TRACKS”が表示されます。）	録音されているMDと取り替えてください。	50、104
	録音できない。	MDが誤録音防止状態になっている。 （“PROTECTED”が表示されます。） MDに残り時間がない。 （“DISC FULL”が表示されます。）  255曲収録されたMDに録音しようとしている。 （“DISC FULL”が表示されます。） デジタル録音されたソースをMD録音ボタンからの操作でデジタル録音しようとしている。 （“COPY PROHIBIT”が表示されます。）	MDの誤録音防止ツメをずらして、孔を閉じた状態にしてください。 MDを取り替えてください。 不要な部分があれば消去して、録音時間を確保してください。 MDを取り替えてください。 不要な部分があれば消去して、録音時間を確保してください。 SCMSにより、デジタル録音することはできません。シンクロ録音ボタンからの操作でアナログ録音してください。	10、104 82、83、104 82、83、104 51、52、104
U S B 部	音が途切れる。 パソコンの画面がフリーズする。	音楽再生用ソフト以外のソフトを開いている。	音楽再生用ソフト以外のソフトを閉じてください。 音楽再生用のソフトを軽いものにしてください。	— —
	音が出ない。	パソコン本体の音量、音楽ソフトの音量を絞りにしている。 オーディオのプロパティの再生項目にある優先デバイスがUSBオーディオデバイス（USBスピーカー）になっていない。	パソコン本体の音量、音楽ソフトの音量を調整してください。 優先するデバイスを『USBオーディオデバイス（USBスピーカー）』にしてください。	93 92

## 異常が起きたら

この製品を使用中に強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに正しく表示しなくなったり、操作を受け付けなくなるなどの異常が発生することがあります。

このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。



- 1 電源コードをつないだまま  を押して、電源を『切』にする。
- 2 以下の順序で約2秒以内にボタンを押す。  
    
 “CLEAR”が表示され、本機がリセットされます。

リセットすると、登録した内容はすべて消えます。万一、異常な音・におい・煙りが出たときや異物が中に入ったときには、電源を切り、電源コードを抜いてお買い上げの販売店に連絡してください。

# 40 メッセージについて

## (1) MDのメッセージ

メッセージ	内 容
MD 00T, 00:00	MDが入っていません。
DISC FULL	MDの残り時間がなくなりました。 曲数が255曲を超えてしまいました。
TITLE FULL	グループ名/ディスク名/曲名が約100文字（英数字のとき）を超えています。 グループ名/ディスク名/曲名として入力した文字の合計が最大約1000文字（英数字のとき）を超えています。 タイトル入力の文字数の制限により、NEW GROUP、GROUP MODIFY、MOVE、DIVIDEの編集ができません。
BLANK DISC	何も録音されていないMDが入っています。
NO TRACKS	ディスク名はありますが、曲が入っていません。
READING	TOC情報を読み込んでいます。
WRITING	編集または録音時の各種情報を書き込んでいます。
DISC ERROR	記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか、他の障害により読み込むことができません。
CANNOT EDIT	編集できません。
CANNOT JOINT	つなごうとしている曲の録音モードが異なっているため、曲をつなぐことができません。 デジタル入力から録音された曲とアナログ入力から録音された曲は、つなぐことができません。
CANNOT REC	MDが動作中（READING、WRITINGなど）のため録音できません。 MDまたはCDが入っていないため、録音できません。 USB端子に接続したパソコンからの音声は、本機のMDで録音できません。
CANNOT SRS	MDが動作中（READING、WRITINGなど）のためSRS録音できません。 MDまたはCDが入っていないため、SRS録音できません。 高速録音を始めて74分以内に101曲目を録音しようとしています。
PROTECTED	MD誤録音防止状態になっています。 255曲入りのMDをALL ERASEしようとしています。 (このような場合は、曲数を減らしてからALL ERASEをおこなってください。)
PLAY ONLY	再生専用MDに録音や編集操作をおこなっています。
COPY PROHIBIT	SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により、デジタルコピー禁止のソースです。
ALREADY DUBB.	再生/録音用MDである曲を高速録音すると、録音をはじめた時点から74分間は、同一の曲を高速録音できません。
WAIT MIN	HCMS（ハイスピードコピーマネージメントシステム）が解除されるまでの時間です。
NOT AUDIO	オーディオ用の信号ではありません。
GROUP OVER	登録されているグループ数がすでに10グループを超えてグループの追加/編集ができません。
CANNOT GROUP	登録されているグループ数がすでに10グループを超えて録音後、グループの登録ができません。 タイトル入力の文字数の制限により、録音後、グループの登録ができません。
NO GROUP	グループ管理のないMDで、1-GROUPモードには入れません。
DIN UNLOCK	外部光入力端子からの信号が無いので録音できません。
REC ERROR	SRS録音中、CDのフォーカスエラーが発生して、録音できません。
FULL	プログラムされている曲数がすでに25曲を超えているため、プログラムの追加ができません。 すべてのグループをプログラムしているため、プログラムの追加ができません。



# メッセージについて(つづき)

## (2) CDのメッセージ

メッセージ	内 容
CD 00%, 00:00	CDが入っていません。
CD SAME TRACK	同じ曲をプログラムして、高速録音しようとしています。
ERROR	CDメカが正しく働いていません。 電源を切って、再度電源を入れてください。
FULL	プログラムされている曲数がすでに25曲を超えているため、プログラムの追加ができません。
DISC CHECKING	SCMS (シリアルコピーマネージメントシステム) 信号を確認しています。

# 41 主な仕様

## センター部 (USR-MS3)

### 《CDプレーヤー部》

形 式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
チャンネル数	2チャンネル、ステレオ
周波数特性	20Hz~20kHz

### 《MDレコーダー部》

形 式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮/伸長方式	ATRAC/ ATRAC3 24ビット演算方式
チャンネル数	2チャンネル、ステレオ
周波数特性	20Hz~20kHz

### 《チューナー部》

受信周波数	FM : 76.0~108.0MHz AM : 522~1629kHz
アンテナ	FM : 75 不平衡型 AM : ループアンテナ

### 《アンプ部》

音声入力端子	TAPE (PB) CD-R (PB)
音声出力端子	TAPE (REC) CD-R (PB) PREOUT (スーパーウーハー) ヘッドホン スピーカー (1系統)
実用最大出力	20W + 20W (EIAJ 6 )

### 《タイマー部》

タイマー形式	1日1動作 (オン/オフタイマー)
スリープタイマー	10、20、30、40、50、60、70、 80、90分
時計表示	24時間表示 (時計精度 月差1~2分)

### 《共通部》

最大外形寸法	(幅) 210mm (高さ) 150mm (奥行き) 353mm
質 量	約7.6kg

## スピーカー部 (USC-MS3) : 1本当たり

形 式	2ウェイ・バスレフ型
ス ピ ー カ ー	ウーハー : 12cm ツイーター : 2.5cm
入力インピーダンス	6
最大入力	50W
最大外形寸法	(幅) 155mm (高さ) 270mm (奥行き) 240mm
質 量	約3.2kg

## パーソナルオーディオシステム (D-MS3)

電 源	AC 100V (50/60Hz共用)
消 費 電 力	電源入 (ON) 時 : 48W 待機 (スタンバイ) 時 : 1.2W (ECOモード ON時)
最大外形寸法	(幅) 520mm (高さ) 270mm (奥行き) 353mm
質 量	14kg

EIAJ規格とは、(社)電子情報技術産業協会(略称: JEITA)が制定した規格です。

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。  
本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。  
本機は国内仕様です。  
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。  
AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

## 42 著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

放送やCD、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、『日本音楽著作権協会』（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先  
（社）私的録音補償金管理協会  
☎ 03（5353）0336

### （社）日本音楽著作権協会（JASRAC）

本 部	☎ 03（3481）2121
北 海 道 支 部	☎ 011（221）5088
盛 岡 支 部	☎ 019（652）3201
仙 台 支 部	☎ 022（264）2266
長 野 支 部	☎ 026（225）7111
大 宮 支 部	☎ 048（643）5461
上 野 支 部	☎ 03（3832）1033
東 京 支 部	☎ 03（3562）4455
西 東 京 支 部	☎ 03（3232）8301
東京イベント・ コンサート支部	☎ 03（5286）1671
立 川 支 部	☎ 042（529）1500
横 浜 支 部	☎ 045（662）6551
静 岡 支 部	☎ 054（254）2621
中 部 支 部	☎ 052（583）7590
北 陸 支 部	☎ 076（221）3602
京 都 支 部	☎ 075（251）0134
大 阪 支 部	☎ 06（6244）0351
神 戸 支 部	☎ 078（322）0561
中 国 支 部	☎ 082（249）6362
四 国 支 部	☎ 087（821）9191
九 州 支 部	☎ 092（441）2285
鹿 児 島 支 部	☎ 099（224）6211
那 覇 支 部	☎ 098（863）1228

# 株式会社デノン

本 社 〒113-0034 東京都文京区湯島3-16-11  
TEL : ( 03 ) 3837-5321 ( 代表 )

後日のために記入しておいてください。

購 入 店 名 : 電 話 (    -    -    )

ご購入年月日 :            年            月            日